

# 日本古代印関係文献史料抄

## 【凡例】

- 本史料抄は、日本古代の印に関する基本的な文献史料を抄出、収録した。抄出・収録にあたっては、○○印・印・請印・捺印・印署・勘印等の文献にみえる印に関わる語句を採収し、末尾に索引を付した。
  - 史料は、編年順に配列した。令義解、令集解、延喜式、政事要略、朝野群載は編年史料の後に付した。
  - 返り点・送りがな等は省略し、注記・割書・細字部分は、へゝに収めた。見消は【 】に入れた。
  - 史料は適宜略した。中略した部分については(略)とし、前略と後略は省いた。
  - 字体は原則として常用漢字を使用した。正字を用いたものもある。おどり字は上の字に直した。
  - 収録した史料の出典は以下のとおりである。
    - 律・令義解・令集解・日本書紀・続日本紀・日本後紀・続日本後紀・日本文徳天皇実録・日本三代実録・類聚三代格・弘仁式・延喜式・延暦交替式・延喜交替式・日本紀略・類聚符宣抄・続左丞抄・朝野群載・扶桑略記・類聚国史・本朝世紀(以上新訂増補国史大系)・時範記(早川庄八『日本古代の文書と典籍』吉川弘文館一九九七年)・大日本古文书編年之部(『大古』と略)・平安遺文(『平』と略)・将門記(『千葉県の歴史』資料編 古代 千葉県 平成八年)・陸奥話記(日本思想大系 8 古代政治社会思想 岩波書店一九七八年)・内裏儀式(新訂増補故実叢書)・西宮記(神道大系 朝儀祭祀編二)・北山抄(神道大系 朝儀祭祀編三)
  - 参考として、大日本古文书(編年之部)・続左丞抄・内裏儀式・西宮記・北山抄・拾芥抄の印関係記事の一部を掲げた。
  - 令義解については、令集解で収録済の史料は重複を避け再収していない。
  - 類聚国史については、六国史と記事が重複するものについては六国史該当条に項目のみあげた。
  - 紙幅の都合上、類聚符宣抄の任符等については国史大系本の頭書のみをあげたものもある(\*を付した)。又、平安遺文については、文書名、文書番号及び印に関係する語句のみを( )に入れて採録したものもある。
- 本史料の編集は小川泰子(国立歴史民俗博物館研究部プロジェクト研究調査協力者)がおこなった。

- 1 ◆日本書紀 推古天皇即位前紀  
当于泊瀨部天皇五年十一月。天皇為大臣馬子宿祢見殺。嗣位既空。群臣請淳中倉太珠敷天皇之皇后額田部皇女。以將令踐祚。皇后辭讓之。百寮上表勸進至于三。乃從之。因以奉天皇璽印。
- 2 ◆日本書紀 舒明天皇元年 大臣及群卿共以天皇之璽印獻於田村皇子。  
將軍吹負既定倭地。便越大坂往難波。以餘別將軍等各自三道。進至于山前屯河南。即將軍吹負留難波小郡。而仰以西諸國司等。令進官鑰馭鈴傳印。
- 3 ◆日本書紀 天武元(672)・八・二十二  
將軍吹負既定倭地。便越大坂往難波。以餘別將軍等各自三道。進至于山前屯河南。即將軍吹負留難波小郡。而仰以西諸國司等。令進官鑰馭鈴傳印。
- 4 ◆日本書紀 持統六(692)・九・十四  
神祇官奏上神寶書四卷。鑰九箇。木印一箇。
- 5 ◆統日本紀 大宝元(701)・六・己酉  
是日。遣使七道。宣告依新令為政。及給大租之狀。并頒付新印樣。
- 6 ◆扶桑略記 大宝二(702)・二・二十八 諸國司等始賜印鑰。
- 7 ◆統日本紀 慶雲元(704)・四・甲子 令鍛冶司鑄諸國印。
- 8 ◆統日本紀 慶雲四(707)・三・甲子  
給鉄印于撰津伊勢等廿三國。使印牧駒積。
- 9 ◆統日本紀 和銅四(711)・十二・壬寅  
大初位上丹波史千足等八人。偽造外印假與人位。流信濃國。
- 10 ◆統日本紀 和銅五(712)・五・丙申  
太政官處分。凡位記印者。請於太政官。下諸國符印者申於弁官。  
(類聚國史 和銅五・五・二十八 政理/請印)
- 11 ◆統日本紀 和銅五・十二・丁巳  
有司奏。自今以後。公文錯誤。內印著了。事須改正者。少納言宜申官長。然後更奏印之。(類聚國史 和銅五・十二・二一 政理/雜公文・政理/請印)
- 12 ◆統日本紀 和銅七(714)・四・辛巳 給多祢嶋印一面。
- 13 ◆統日本紀 靈龜元(715)・五・辛巳  
始今。諸國百姓。往來過所。用當國印焉。
- 14 ◆統日本紀 靈龜元・五・己丑 始充京職印。
- 15 ◆統日本紀 靈龜二(716)・五・癸卯 充僧綱及和泉監印。
- 16 ◆統日本紀 養老二(718)・八・甲戌 齋宮寮公文。始用印焉。  
(類聚國史 養老二・八・十三 職官十二)
- 17 ◆統日本紀 養老三(719)・十二・乙酉  
充式部。治部。民部。兵部。刑部。大藏。宮内。春宮。印各一面。
- 18 ◆統日本紀 養老四(720)・五・癸酉  
太政官奏。諸司下國小事之類。以白紙行下。於理不穩。更請內印。恐煩聖聽。望請。自今以後。文武百官下諸國符。自非大事。差逃走衛士仕丁替。及催年料廻殘物。并兵衛采女養物等類事。便以太政官印印之。奏可之。

- (類聚国史 養老四・五・二十一 政理／請印)
- 19 ◆統日本紀 養老四・八・丁亥  
詔。諸請内印。自今以後。応作兩本。一本進内。一本施行。  
(類聚国史 養老四・八・七 政理／請印)
- 20 ◆統日本紀 神龜四(727)・七・丁酉  
筑紫諸国。庚午籍七百七十卷。以官印印之。
- 21 ◆統日本紀 天平四(732)・十・辛巳 給節度使白銅印。道別一面。
- 22 ◆正倉院文書 正集34 天平四年隱伎国正稅帳 『大古』 1-453  
鑰貳拾勾〈不動鑰四勾、留国、常鑰一十六勾、〉正倉印壹枚
- 23 ◆正倉院文書 正集36 天平九年長門国正稅帳 『大古』 2-36  
鑰伍勾〈印一面〉
- 24 ◆正倉院文書 正集18 天平十年駿河国正稅帳 『大古』 2-123  
鑰壹拾陸勾〈不動鑰七勾 格倉鑰一勾 不動七一口 常鑰七勾 塩倉鑰一勾  
正倉印一口〉
- 25 ◆正倉院文書 正集19 天平十一年伊豆国正稅帳 『大古』 2-199  
鑰壹拾貳勾  
不動倉鑰陸勾  
常鑰陸勾  
匙貳口不動〈略〉  
正倉印壹枚
- 26 ◆統日本紀 天平十六(744)・正・辛酉 給鎮西府印一面。
- 27 ◆統日本紀 天平十六・二・乙未朔 遣少納言從五位上茨田王子恭仁宮。取駅  
鈴内外印。又追諸司及朝集使等於難波宮。
- 28 ◆統日本紀 天平十六・二・丙申  
中納言從三位巨勢朝臣奈弓麻呂持留守官所給鈴印詣難波宮。
- 29 ◆統日本紀 天平十六・九・己丑 詔曰。今聞。僧綱任意用印不依制度。宜令  
進其印置大臣所。自今以後一依前例。僧綱之政亦申官待報。
- 30 ◆統日本紀 天平十七(745)・八・己丑 給大宰府管内諸司印十二面。
- 31 ◆統日本紀 天平十七・九・癸酉 天皇不予。勅平城恭仁留守固守宮中。悉  
追孫王等。詣難波宮。遣使取平城宮鈴印。
- 32 ◆統日本紀 天平宝字元(757)・七・戊午  
惡逆在奴久奈多夫礼。麻度比。奈良麻呂。古麻呂等伊逆党乎伊射奈比率而先内  
相家乎圍而其乎殺而即大殿乎圍而皇太子乎退而次者皇太后朝乎傾鈴印契乎取而  
召右大臣而天下尔号令使為牟。
- 33 ◆統日本紀 天平宝字二(758)・八・甲子  
以紫微内相藤原朝臣仲麻呂任大保。勅曰。(略)自今以後。宜姓中加惠美二字。  
別聽鑄錢拳稻及用惠美家印。
- 34 ◆統日本紀 天平宝字五(761)・八・癸丑朔  
美作介從五位下縣犬養宿祢沙弥麻呂。不經官長。恣行国政。独自在館。以印公

文。兼復不拋時備。抑買民物。為守正四位上紀朝臣飯麻呂所告失官。

35 ◆統日本紀 天平宝字八(764)・九・乙巳

太師藤原惠美朝臣押勝逆謀頗泄。高野天皇遣少納言山村王。収中宮院鈴印。押勝聞之。令其男訓儒麻呂等邀而奪之。

(類聚國史 天平宝字八・九・十一 刑法三 罪人中 藤原押勝)

36 ◆統日本紀 天平宝字八・九・丙午

高野天皇勅。今聞。逆臣惠美仲麻呂。盜取官印。逃去者。忝為人臣。飽承厚寵。寵極禍滿。自陷淫刑。仍復劫略愚民。欲為僥倖。若有勇士。自能謀計。急為剪除者。即當重賞。又北陸道諸國不須承用太政官印。

37 ◆統日本紀 天平宝字八・九・壬子

軍士石村村主石楯斬押勝伝首京師。押勝者。近江朝內大臣藤原朝臣鎌足曾孫。平城朝贈太政大臣武智麻呂之第二子也。(略)聽鑄錢。舉稱。及用惠美家印。(略)時道鏡常侍禁掖。甚被寵愛。押勝患之懷不自安。乃諷高野天皇。為都督使。掌兵自衛。准拋諸國試兵之法。管內兵士每國廿人。五日為番。集都督衛。簡閱武芸。奏聞畢後。私益其數。用太政官印而行下之。大外記高丘比良麻呂懼禍及己。密奏其事。及収中宮院鈴印。遂起兵反。

38 ◆統日本紀 天平宝字八・九・甲寅

詔曰。逆仁穢岐奴仲末呂伊詐奸流心乎以天兵乎堯朝廷乎傾動武止之天鈴印乎奪復皇位乎掠天先仁捨岐良比賜天之道祖我兄鹽燒乎皇位仁方定止云天官印乎押天天下乃諸國仁書乎散天告知之米復云久

39 ◆統日本紀 天平宝字八・九・癸亥

勅。逆賊惠美仲麻呂。(略)以今月十一日。兵起作逆。掠奪鈴印。竊立水上鹽

燒為今皇。造偽乾政官符。發兵三關諸國。奔拋近江國。亡入越前關。

40 ◆類聚三代格 18 器仗事

太政官符

出納兵庫器仗事

右被大納言從二位藤原朝臣永手官備。奉勅。出納庫兵。事可重密。故先下勅。內印施行已畢。而今中務監物仍承前例。唯与本庫知之。行符既重。檢司猶輕。自今以後。宜令諸司出納。

天平神護元年閏十月廿五日

41 ◆統日本紀 神護景雲元(765)・七・丁巳 初近衛從八位下物部磯浪。宝

字八年仲滿奪鈴印時。疾走告急。至是授外從五位下。

42 ◆統日本紀 神護景雲元・十一・癸亥

參議從三位治部卿兼左兵衛督大和守山村王薨。池辺雙槻宮御宇橘豐日天皇皇太子。久米王之後也。(略)于時高野天皇遣山村王収中宮院鈴印。

43 ◆統日本紀 神護景雲三(769)・七・乙亥 始用法王宮職印。

44 ◆統日本紀 寶龜二(771)・正・壬戌

自天平神護元年以來。僧尼度緣。一切用道鏡印。印之。至是復用治部省印。(◆類聚國史 寶龜二・一・四 政理/請印)

45 ◆統日本紀 寶龜二・八・己卯

初令所司鑄僧綱及大安。藥師。東大。興福。新藥師。元興。法隆。弘福。四天王。崇福。法華。西隆等寺印。各頒本寺。

46 ◆ 続日本紀 宝龜三(772)・十・庚午  
左大舍人從六位下石川朝臣長繼等。偽造外印行用。並依法配流。

細勘。後日捺印。當番案主亦宜知之。  
延曆十三年六月十五日

47 ◆ 続日本紀 宝龜八(777)・五・己巳  
自宝字八年乱以來。太政官印收於内裏。毎日請進。至是復置太政官。

55 ◆ 類聚三代格 17 文書并印事  
太政官符  
定百姓私馬牛印事 (長二寸 広一寸五分以下)  
右得上野国解僮。部内百姓等私馬牛印。過官印大。奸盜之徒盜取官馬。燒乱  
其印論亡明驗。若不加嚴制。奸偽難断者。右大臣宣。奉 勅。所申愆理。宜下  
符七道諸国。令依法作。  
延曆十五年二月廿五日

48 ◆ 最澄度縁案 延曆二・正・二十 『平』 4281 (国印)

49 ◆ 続日本紀 延曆五(786)・正・壬戌

左京大夫從三位兼右衛士督下總守坂上大宿祢苅田麻呂。苅田麻呂。正四位上  
犬養之子也。宝字中任授刀少尉。八年惠美仲麻呂作逆。先遣其息訓儒麻呂。邀  
一奪鈴印。

56 ◆ 日本紀略 延曆十五(796)・三・五 始賜主計主稅二寮印也。

50 ◆ 五百井女王家符案 延曆七・三・四 『平』 3 (御印/捺印)

57 ◆ 東大寺三綱牒 延曆十五・八・二 『平』 14 (印捺)

51 ◆ 続日本紀 延曆七(788)・五・庚午 中務大録正六位下中臣丸連淨兄。  
詐作印書。請受庫物。前後非一。事已發露。欲加推勘。聞而自經矣。

58 ◆ 多度神宮寺伽藍縁起資財帳 延曆二十(801)・十一・三 『平』 20  
桑名郡多度寺鎮三綱謹牒上  
神宮寺伽藍縁起并資財帳(略)  
鑑伍勾(之中詰鑑一 法堂料) 寺木印壹隻

52 ◆ 日本紀略 延曆十一(792)・七・五  
禁桑棗鞍橋。但旧者申所司燒印用之。

53 ◆ 大和国弘福寺文書目錄 延曆十三・五・十一 『平』 12  
(官印/国印/国郡印/内印/僧綱印)

59 ◆ 藤原葛野麻呂啓状 延曆二十三(804) 『平』 4296 (印書)  
60 ◆ 僧最澄牒 貞元二十一(805)・二 『平』 4302 (印)

54 ◆ 類聚符宣抄 6 請印事 / 外記職掌  
請印官符事

61 ◆ 僧最澄牒 貞元二十一・三・一 『平』 4303 (給印)

右官符。少納言外記加覆勘。後日捺印。而即日捺頓不能勘。自今以後。宜入日

62 ◆ 治部省牒 延曆二十四・九・十六 『平』 4315 (印署)

63 ◆日本後紀 大同元(806)・五・己丑

又上下殊等。所掌各別。若長官出行。須佐職留守。而或有據已上官。共離任所。付印主典。泰甚之至。一復如此。其奉使過限者。勅由申之。暇滿未來者。錄名同言。若隱忍不告者。事覺之日。准狀科附。不得阿容。

64 ◆日本後紀 大同元・閏六・戊子 賜諸道觀察使印。

65 ◆類聚三代格 17 文書并印事

太政官謹奏

奉行勅旨并内侍移文事

右大内記正六位上山名主等解狀云。謹檢神龜以降案内。内侍司送中務省牒。年月日下或署内記姓名。或署女史姓名。然則牒送中務。既令意。内記署名。未見何拠。望請。勅旨以外。准公式令内外諸司因事管驗式。令女史作移文。即年月日下署女史位姓名。各免僭違。從守職務者。臣等商量。所請合宜。伏望。依令改行。兼特聽女史署。但案職員令。掌侍不得奏請宣伝。准此論之。不聽掌侍署名移文。其内侍司印。行之已久。只請移文便令印之。謹以申聞。謹奏。奉勅。依奏。

大同元年八月二日

66 ◆類聚三代格 20 断罪贖銅事

太政官符

応勘言五位已上任意到来事

右案仮寧令云。五位已上欲出畿外奏聞。然則自非經奏不可出外。今右大臣宣。奉勅。如聞。或就私事恣赴畿外。量彼還迹良憲法。從今而後。非乖實内印。不得輒出。寂有犯録名申上。或国司阿容不申者。相「具」共科違勅罪。

大同二年二月一日

67 ◆日本後紀 大同三(808)・六・乙亥 勅。用印之事。応拠合格。宜諸

国觀察使印。一從停止。若事可行下。准諸司請印。

68 ◆類聚三代格 5 加減諸国官員并廢置事

太政官謹奏

佐渡国 今置椽一員

隱岐国 今置椽一員

右件两国僻在辺遠官員乏少。居上人若有事故者。則主典代之掌印。糺之道理良不穩便。伏乞。更置件員以備職務。謹録事狀。伏聽 天裁。謹以申聞。謹奏。聞。

大同四年二月十九日

69 ◆日本後紀 弘仁三(812)・五・丁卯 始賜大膳職印。

70 ◆日本後紀 弘仁四(813)・二・丙戌

治部省言。承前之例。僧尼出家之時。授之度縁。受戒之日。重給公驗。拠勘灼然。真偽易弁。勝宝以來。受戒之日。毀度縁停公驗。只授十師戒牒。此之為驗。於事有疑。如不改張。恐致奸偽。伏望不毀度縁。永為公驗者。許之。但其度縁。自今以後。僧者請太政官印。尼者用所司之印。至于受戒之時。省並於度縁末。注受戒年月并官人署名。即以省印印之。其・尼於外国受戒者。當所之官。准此行之。承前所授僧戒牒者。惣進僧綱。即送所司。所司計会。明知不詐。署一印其末。然後還授。進盡之期。斟量立限。限内不進。後賣白牒者。不得為驗。一同私度。若有身亡并還俗者。其度縁戒牒。早令進省。省即年終申官毀之。庶令姦人屏跡。源流自澄。(類聚国史 弘仁四・二・三 仏道一四/度縁)

71 ◆類聚符宣抄6 少納言職掌

右大臣宣。少納言依例所奏請印官符。理須候 御南大殿時即奏。而比來

怠慢。至廻御北大殿乃奏。遂煩聽覽。甚乖道理。自今以後。仰少納言。莫令更然。

弘仁五年七月廿日

大外記豐宗宿祢広人 奉

72 ◆類聚符宣抄 6 少納言職掌

季帳之數不少。仍至奏印。久累 御覽。今左大弁(安人)宣。被 內裏宣傳。凡如此之類。分三度奏之者。(以五十紙以下可為限)

弘仁八年二月七日

少納言高階真人淨階 奉

73 ◆僧最澄上表文 弘仁九(818)・五・十三 『平』4417 (官印)

74 ◆類聚符宣抄 6 請印事

中納言良岑朝臣(安世)宣。自今以後。外記立賜箱之處。勘捺印者。

弘仁十二年二月廿二日

少外記桑原公広田麻呂 奉

75 ◆類聚符宣抄 6 請印事

右大臣(冬嗣)宣。諸捺印并勘返之文。其參入外記之所知也。後有可問事。須問其外記。自今以後。令載其外記於日記。又勘返之旨。著于返文端。

弘仁十二年七月十三日

少外記桑原公広田麻呂 奉

76 ◆日本紀略 天長元(824)・五・十五 印遣渤海勅書。日月上一踏。

(類聚国史 天長元. 五. 十五 殊俗/渤海下)

77 ◆類聚符宣抄 6 少納言職掌

大納言清原卿宣。申政之時。少納言不參匪侍之狀。举申已訖。比及請印。後乃參来。須先申其由。後令參入。而專輒參入。事涉不遜。自今而後。不得更然。

天長八年十二月十七日

少外記高村宿祢武人 奉

78 ◆類聚符宣抄 6 請印事

大納言清原真人(夏野)宣。請印位記。若七十張已上。自今以後。須三四張捺印而後令參議踏印者。

天長九年九月十九日

少外記韓室諸成 奉

79 ◆統日本後紀 承和元(834)・三・丙寅 始充穀倉院印一面。

80 ◆統日本後紀 承和元・七・辛未 賜陸奥鎮守府印一面。元用國印。今殊賜之。

81 ◆統日本後紀 承和二(835)・二・壬寅 賜大學寮印一面。

82 ◆統日本後紀 承和二・三・庚申 鑄印一面。充冷然院。

83 ◆統日本後紀 承和三(836)・十一・丁酉

新羅国執事省牒 日本国太政官 紀三津詐稱朝聘兼有贄費。及檢公牒假偽非実者。

牒。得三津等状。奉本王命。專来通好。及開函覽牒。但云修聘巨唐。脱有使船漂着彼界。則扶之送過。無俾滯遏者。主司再發星使。設問丁寧。口与牒乖。虚妄莫弁。既非交隣之使。必匪由表之賂。事無據実。豈合虚受。且太政官印。篆跡分明。小野篁船帆飛已遠。未必重遣三津聘于唐国。不知嶋嶼之人。東西窺利。偷学官印。假造公牒。用備斤候之難。自逞「白水之」白水之遊。

84 ◆類聚符宣抄 8

\* 承和四(837)・七・二十七 応請印牒之日先具勘知并申給新国司任符事

85 ◆類聚国史 承和五(838)・十一・二十九 人部薨卒四位

左中弁從四位上藤原朝臣嗣宗卒。(略)承和五年正月七日。天皇將御豐樂院。於

紫宸殿南階。欲駕御輿。嗣宗以少納言祇候鈴奏。越立大庭。天皇更駐御輿。令書嗣宗正五位下位記。供奉諸司不知誰告身。相共恠之。至于踏印。嗣宗預之。乃知自分。不勝感悅。不覺淚下。

86 ◆類聚符宣抄 6 請印事

右大臣〈三守〉宣。少納言奏。數多詞長。久煩。天覽。於事無便。凡厥奏文。過五十張已上。密奏請印者。

承和六年閏正月廿日 少外記管野朝臣繼門 奉

87 ◆某家政所告狀案 承和八・二・十九 『平』 69 (□印)

88 ◆僧円珍受法印信 承和九・五・十五 『平』 4449 (印署)

89 ◆類聚三代格 8 調庸事  
太政官符

應令主計寮下知諸國調庸并副物封家未進數事

右得伊勢國解僞(略)謹案太政官去天長三年五月廿五日下午諸司符僞。和泉國解僞。進官雜物依期入京。至計返抄還多未進。何則綱領之員若欠銜銖。本司之例必拘返抄。至乃綱丁死亡本司遷代。檢拋失便終為未進。室家弊於重輸。國郡困於再貢。吏之與民弊莫大焉。望請。令檢納諸司錄其見納。捺本司印且與返抄者(略)望請。依件下知。且隨所納之物數令與返抄。即令主計寮每色勘會。具錄未進色目。每年下一知於國。如是者。雖不勞收文有何可煩。寮無勞計會。國易知未進。雖經年序事跡不惑。謹請。官裁者。右大臣〈源常〉宣。依請。諸國亦准此例。

承和十年三月十五日

90 ◆統日本後紀 承和十(843)・十・甲戌

始賜諸陵。凶書。雅樂。園池。正親寮司。印各一面。

91 ◆類聚三代格 17 文書并印事  
太政官符

應令出納諸司署於進官雜物收文給綱丁事

右得伊勢國守正五位下長岑宿祢高名解僞檢案內。依太政官度々符旨所納雜物收文一通。須捺本司印給綱領。而唯令作出納諸司并本司料收文各加署。每司分取不勞給綱領料。隔日之後。本司更寫案署印給之。申請之間。經日多煩。非唯人憂。兼涉嫌疑。望請。仰出納諸司。收文一通於諸司前捺本司印。即日給綱領人。謹請。官裁者。左大臣〈源常〉宣。依請。諸國收文亦宜准此。

承和十一年閏七月七日

92 ◆民部省符案 承和十二・九・十 『平』 77 (寺印)

93 ◆統日本後紀 承和十四(847)・七・乙丑 賜左相撲司印一面。

94 ◆統日本後紀 嘉祥元(848)・七・己未 勅准西市司。賜東市司「市」印一面。

95 ◆統日本後紀 嘉祥二(849)・三・甲子 伊賀國言。國印久歷年代。文字剝失。行用不明者。勅。宜鑄造充之。

96 ◆元興寺僧安高等施入狀 嘉祥二・九・十□ 『平』 91 (印券文)

97 ◆統日本後紀 嘉祥二・十一・己卯↓

類聚國史 承和五(838)・十一・二十九 人部薨卒四位に同じ



98 ◆統日本後紀 嘉祥三(850)・三・丙戌  
此日。織部司言。元來無印。行事有妨。勅鑄造充之。

99 ◆統日本後紀 嘉祥三・三・庚寅

鈴印櫃鳴聲如振。膳部八人之履共為鼠囓。又內印印盤褥為鼠喫亂。

(類聚國史 嘉祥三・三・十二 天皇不豫・山陵)

100 ◆日本文德天皇実録 嘉祥三・四・庚午 前春宮職印一枚獻于内裏。

101 ◆類聚三代格 12 諸使并公文事

太政官符

心諸神社諸寺及諸院家封戸調庸并雜物停作移返抄放捺印日收事

右得播磨國解僞。謹檢太政官去承和十年三月十五日下民部省符僞。得伊勢國解僞。謹檢太政官去天長三年五月廿五日下諸司符僞。和泉國解僞。(略)望請。令檢納諸司錄其見納。捺本司印。且與返抄者。(略)而頃年違此格旨。所納之封物且不与返抄。或放白紙日收或与丹封借収。其物納畢之日。綱領更至封家。勘先収文取移返抄。非唯一物之上再取返抄。即復請移之日奸偽更起。見進之色還作未進。十分之數更為一分。此則且不改印返抄之大弊也。格制間施未免此煩。望請。重仰諸封家所放日收必令捺印。有家司者。縱雖官員不備。而有一官署以印書為証。無家司者。若別当若事業署其収文捺踏印亦同。(略)右大臣(藤良房)宣。依請。其諸司素改移返抄者依件改行者。事須隨所納物數且放返抄。又當年之未進來年不究納。明年二月一日作未進結解移於主計寮。其移到時。使若雜掌依実弁申。如過期不移者。縱雖有未進。而不在准未進没公廢之限。自余諸國亦復准此。

齊衡三年六月五日

102 ◆円珍牒 大中十二(858)・閏一『平』124 (判印)

103 ◆円珍牒 大中十二・閏二『平』125 (判印)

104 ◆台州刺史嚴修牒 大中十二・四・八『平』4478 (印狀)

105 ◆日本三代実録 天安二(858)・十・七 新鑄銅印一面。賜讚岐國。先是。彼國司言。所在銅印久經年代。文字剝滅。仍賜之。

106 ◆日本三代実録 天安二・十二・二 前春宮職印一枚進於内裏。

107 ◆日本三代実録 貞觀元(859)・八・朔 新鑄印一面賜美作國。以國司申請旧印文字鈍滅不堪行用也。

108 ◆日本三代実録 貞觀二(860)・四・二十五 新鑄印一面。賜尾張國。

109 ◆日本三代実録 貞觀三(861)・三・七 新鑄銅印一面。賜東市司。

110 ◆日本三代実録 貞觀四(862)・十一・二十 先是。少主鈴從八位上美和真人清江言。鼠囓內印盤褥。至是。神祇官卜云。舐穢之人供神事。仍成祟。由是大被於建礼門前。以攘妖祥焉。

111 ◆日本三代実録 貞觀六(864)・正・二十九 銅印一面。鑄充伊勢齋宮主神司。

112 ◆日本三代実録 貞觀六・三・八 先是。律師法橋上人位最教申牒起請四事。(略)四事曰。戒壇院設印。捺於戒牒。太政官處分。依請。但其印便可用東大寺印。

113 ◆類聚符宣抄6 少納言代

比日少納言。举員依病不上。因茲請印之事。既致擁滯。右大臣（良相）宣。少納言等病瘳之間。宜權以弁大夫。礼請内外之印者。

貞觀六年六月四日

少外記滋野恒蔭 奉

同五日早朝少納言良岑朝臣經世參入。仍不行上件宣旨。

114 ◆日本三代実録 貞觀七（865）・二・九 新鑄銅印一面賜女官尉。

115 ◆類聚三代格 5 加減諸国官員並廢置事

太政官謹奏

加置諸国介掾事

甲斐国 周防国

右土国。今置介。

能登国 丹後国 石見国 長門国

土左国 日向国

右中国。今置介。

飛騨国

右下国。今置掾。

以前謹案令條。上国有介。中国無介。下国無掾。今件等国或前為上国未備介職。或国務稍繁官員猶少。或長官有故主典執印。論之政途事非穩便。伏請甲斐周防新備介職。自餘中国同置介。下国又置掾。以適交通。但至于安房。若狹。佐渡。大隅。薩摩。志摩等国。雖有中下之名不足備介掾之職。仍不入此等例。臣等商量具件如前。伏聽 天裁。謹以申聞。謹奏

貞觀七年三月九日

116 ◆日本三代実録 貞觀七・五・十六

是日。置諸国介掾。甲斐。能登。丹後。石見。周防。長門。土左。日向八国並

今置介。飛騨一國今置掾。先是。三月九日。太政大臣已下參議已上相言。（略）

今件等国。或前為上国。未備介職。或国務稍繁。官員猶少。或長官有故。主典執印。論之政途。事非穩便。

117 ◆日本三代実録 貞觀八（866）・四・朔 新鑄銅印一面。賜隼人司。

118 ◆日本三代実録 貞觀八・四・十八

若狹国言。納印公文。庫并兵庫鳴。下知国司曰。今月十六日。宣告彼国。戒慎兵戎。今言。兵庫自鳴。陰陽寮言。遠国之人當有來投。兵乱天行。成災相仍。擬益警衛兼防災疫。

119 ◆類聚国史 貞觀八・五・二十九 仏道6 諸宗

勅。今内供奉十禪師伝燈大法師位円珍弘伝真言止觀兩宗教。先是円珍奏言。祖師十禪師伝燈大法師位最澄。父師十禪師伝燈大法師位義真。延曆年中。奉勅入唐請益。帰朝之日。並蒙賜勅印公驗。

120 ◆左大史刑部真鯨書状 貞觀九（867）・正・一 『平』4495（捺印）

121 ◆類聚三代格 17 文書并印事

太政官符

応令封家用印事

右撰格所起請儀。印之為用。实在取信。公私拋此□決嫌疑。而案公式令。唯有諸司之印。未見臣家之印。爰有勢諸家皆私鑄作。進官文外。皆僭印之。積習成常。無復疑慮。夫事不獲己人所必行。於公无害理宜容許。加之。太政官去齊衡三年六月五日封家調庸雜物可放捺印日收之状。下知已訖。然而□用之制未詳。至今猶放白紙。家司雜掌爭論无絶。伏望。令諸封家皆得用印。但一寸五分以為其限。外於公家備於私用者。中納言兼左近衛大將從三位藤原朝臣基經宣。奉

勅。依請。

貞觀十年六月廿八日

122 ◆類聚三代格 19 禁制事

太政官符

一應禁制王臣家坊封郡司百姓等稻事

右撰格所起請儀。太政官去齊衡二年八月廿錄日下五畿内諸國符儀。太政官去承和十二年六月廿三日下五畿内諸國符儀。得撰津國解儀。取納租稅良由郡司。

須先究官物後及私事。而頃年王臣諸家各出家印稱有負物。競封郡司及富豪宅取其蓄之稱。若國司相論却以他故。非只侵損部内。還似与公家相爭。今須負諸家物人若在國中彼家牒國。國加追勘。拋法任理彼此得所。如此則公私公平。部内肅然。望請。早被下符永絕奸源。謹請官裁者。右大臣宣(橋氏公)(略)

貞觀十年六月廿八日

123 ◆日本三代実録 貞觀十一(869)・三・十六

新鑄銅印一面。賜陸奥國。前印剋也。

124 ◆日本三代実録 貞觀十一・七・二十六

納印鎰櫃置於承明門内東腋。無故自開。亦無鎖子。

125 ◆日本三代実録 貞觀十一・九・十四 新鑄銅印一面。賜造兵司。

126 ◆日本三代実録 貞觀十三(871)・六・二 新鑄銅印。充春日齋院。

127 ◆安祥寺伽藍緣起資財帳 貞觀十三・八・十七 『平』164

上件資財帳勘錄如右、若不請官印、恐後代輕忍、望請官印、以為公驗(中略)右大臣宣、安祥寺所申資財帳等捺印之事、須捺官印、而彼寺是太皇太后宮御願建立也、宜以職家印令捺之者、

128 ◆類聚国史 貞觀十五(873)・七・八 殊俗 渤海下

先是大宰府馳駢言。渤海國人崔宗佐。門孫宰等漂著肥後國天草郡。(略)遣大唐通事張建忠。覆問事由。審実情狀。是渤海國人唐之使。去三月著薩摩國逃去之一艦也。仍奉進宗佐等日記并所賣蠟封函子。雜封書。弓劍等。是日。勅討覆宗佐等申狀。知是渤海人。亦其表函牒書印封官衙等。蠟校先來入觀在此間者。符合如一。崔宗佐等既非同隙之奸寇。可謂善隣之使臣。其飄泊難涉。誠當矜恤宜令在所支濟衣料。所上蠟封函子。雜封書等。全其印封。莫煩披閱。

129 ◆日本三代実録 貞觀十五・九・二十五

新鑄銅印一面。賜伊勢國。旧印文字剋滅也。

130 ◆広隆寺資財帳 『平』168 貞觀十五年

壹寸參分銅印壹面

居白銅坏壹口

鉄鎮貳枚

已上納小櫃壹合、居机壹前、有鎖子壹具

131 ◆日本三代実録 貞觀十六(874)・三・七

新鑄銅印一面。賜武藏國。以旧印文剋盡也。

132 ◆類聚三代格 2 年分度者事

太政官符

應令廻心受戒僧進印驗預戒事

右得延曆寺牒儀。(略)今檢案内。廻心者本有所管領。請戒之日。拋於本貫。而不持公驗。私来自受。見聞往事非無偽濫。懲慎將來可有其驗。如當寺戒牒。既請官印。何以輕忽。望請。自今以後。在京者待本寺印文并僧綱押署。外國者責講說師等及國司明牒式以狀言上。而後登壇。然則濫自絕。戒珠增光。謹請

官裁者。左大臣（藤基經）宣。依請。

貞觀十六年四月十五日

133 ◆日本三代実録 元慶十八（876）・八・朔 新鑄銅印一面。賜右坊城使。

134 ◆近江国愛智莊定文 貞觀十八・十一・二十五 『平』172 （捺私印）

135 ◆日本三代実録 元慶元（877）・閏二・二十七

中台印奉充中宮職。元此印在太皇太后五條宮。今有 勅奉之。

136 ◆日本三代実録 元慶元・五・二 賜悠紀主基行事所印各一面。

137 ◆日本三代実録 元慶二（878）・九・八

改鑄銅印一面。賜安芸国。以前印文字剝滅也。

138 ◆日本三代実録 元慶三（879）・十・十五

勅令中務省。鑄充肥後国銅印一。以旧印剝也。

139 ◆日本三代実録 元慶五（881）・二・八

正三位行中納言兼右近衛大將皇太后大夫陸奥出羽按察使藤原朝臣良世奉表曰云々。  
願假臣后宫之一官。収臣内外之三印。不聽之。

140 ◆日本三代実録 元慶五・二・九 彈正台言。台印為偷兒所盜取也。

141 ◆日本三代実録 元慶六（882）・六・三

其四「日」応令治部玄蕃等省寮押署戒牒并捺印事。貞觀七年三月廿五日格曰。  
（略）伏望。自今以後。受戒之日。省寮威從共向戒場。子細勘會官符度縁。即

令登壇受戒。便収取受戒者戒牒。具注後紙。以其本籍姓名。省寮相共押署。  
捺以省印。五月以前下放僧綱。僧綱六月一日頒給受戒者。嚴 勅有司。不使  
違期。若有持白紙戒牒者。處以違勅。

142 ◆日本三代実録 元慶六・十・十

新鑄銅印一面。賜土左国。以前印文字剝盡也。

143 ◆河内国觀心寺縁起資財帳 元慶七（883）年九月十五日 『平』174

觀心寺勘録縁起資財帳事（略）

鑑

唐鎰四柄（略）

鎖子一具（略）

銅印一面

144 ◆扶桑略記 元慶八（884）・二・四

是日。天皇出自綾綺殿。遷幸一條院。時年十七。（略）但少納言不奏鈴。諸衛  
不稱警蹕。神璽宝剑鏡等依例相從。馱鈴伝符内印管鑰等。留置承明門内東廊。

145 ◆扶桑略記 元慶八・二・五

奉迎新帝。（略）遣從五位上守左近衛少將藤原朝臣高藤等。運内裡所留鈴印匙鑰  
等。置東宮南門内西掖。

146 ◆日本三代実録 元慶八・六・二十三

遣式部大丞正六位上坂上大宿祢茂樹。勘解由主典從七位下凡直康躬等於右見国。  
推訴訟事下知彼国司備。介外從五位下忍海山下連氏則等。去「月」六月六日  
解備。管邇摩郡大領外從八位上伊福部真人安道率部内百姓。來圍權守從五位下  
上毛野朝臣氏永。為政乖法。仍奪取印匙。以授傍吏。守氏永以劍擊傷氏則妻

下野屎子者。又守氏永同月十五日奏狀稱。傍吏發賊兵。擬殺氏永。即令凶賊奪一取印匙鈴等。以仗擊氏永。打杭地上。張着手足。鎖籠倉裏者。今如奏解狀。事緒各異。実情不同。非遣朝使。何決涇渭。仍為推問其由。差遣茂樹等。國宣承知聽使處分。

147 ◆日本三代実録 元慶八・七・五

推筑後國殺害使彈正少弼從五位下安倍朝臣肱主奏言。(略)而大宰府解備。望請於府推問。使還之日。依法責返抄。并印署日記。一准諸國之例。右大臣(源多)宣。奉 勅。依請下知。

148 ◆日本三代実録 仁和元(885)・二・八

治部省言。去元慶六年六月三日格稱。權僧正法印大和尚位遍昭狀稱。頃年受戒之輩。事多不法。只以戒牒。專為公驗。自稱真僧。眩人耳目。自今以後。受戒之日。省寮威從。共向戒壇。子細勘合官符度緣。即令登壇受戒。便取一取受戒者戒牒。具注後紙。以其本籍姓名。省寮相共押署。捺以省印者。(略)今尋物情。非無其違。凡押署者。被管會帳之後。所管長官押而署也。而今僧綱不署。省寮何押。古無蹤迹。今有疑殆。望請准於度緣。三司共署。捺以省印者。勅依請焉。

149 ◆日本三代実録 仁和元・二・二十一

天皇紫宸殿視事。大臣以下參議以上並侍。從「々」五位上行少納言兼侍從橘朝臣春行就版奏請。踏印官符。

150 ◆日本三代実録 仁和元・六・二十

是日。大宰府言。去四月十二日新羅國使判官徐善行。録事高興善等卅八人。乘船一艘。來着肥後國天草郡。問其來由。答曰。前年漂蕩。適着海岸。(略)今檢。寄事奉賀。牒貨相兼。只有執事省牒。無國王啓。其牒不納函子。以紙裹之。

題云。新羅國執事省牒上日本國。其上踏印五院。謹檢先例。事乖故実。仍寫牒并録貨物數進上。

151 ◆類聚符宣抄 8

\*仁和元。十。十三日宣旨 応能登權掾矢集安吉召名未刊正之間印任符事

152 ◆日本三代実録 仁和元・十二・二十三

先是。右京人散位從七位下大石忌寸福麻呂。私雕官印。捺偽官符。壳官地子穀百五十斛。欺取其直。左兵衛阿刀沢雄錢十二貫文。左衛門門部園部禪師磨錢六貫文。刑部省斷云。福麻呂彫官印。捺偽官符。(略)仍須一年之後。降先位二等。叙正八位下。(類聚國史 仁和元。十二。二十三 刑法一ノ斷罪)

153 ◆日本三代実録 仁和二(886)・二・十五 新鑄銅印一。賜備中国採銅使。

154 ◆日本三代実録 仁和二・五・十二

先是。石見國邇摩郡大領外正八位上伊福部直安道。那賀郡大領外正六位下久米岑雄等。發百姓二百七十七人。帶兵仗。圍守從五位下上毛野朝臣氏永。奪取印匙。取印等。授傍吏。

155 ◆日本三代実録 仁和三(887)・六・五

先是。出羽守從五位下坂上大宿祢茂樹上言。國印剝薄不堪行用。請被改鑄。由是。命所司新鑄賜之。

156 ◆類聚符宣抄 8

\*仁和三・六・十宣旨 応能登權目日下部好長召名未改正之間印任符事

157 ◆広隆寺資財交替実録帳 仁和三年 『平』 175

壹寸參分銅印壹面 〈居白銅环一口 鉄鎖二枚〉 納小櫃一合 居机一前在  
鎖子一具

158 ◆扶桑略記 延喜元(901)・四・十三

近江国正四位下建部神奉授從三位。位記請印。

159 ◆扶桑略記 延喜元・七・二

左馬寮乾角御坐從五位下生馬神被奉加一階。請印了。

160 ◆日本紀略 延喜四(904)・二・二十九 今日鑄春宮坊印。

161 ◆筑前国觀世音寺資財帳 延喜五年十月一日 『平』 194

「延喜五年資財帳 在庄々惣目錄」(略)  
銅印貳面

壹面〈古文觀字 方一寸二分〉

壹面〈在古文〉 符国師四字、方一寸八分(略)

銅印壹〈口径二寸三分深一寸二部重一斤二兩〉

162 ◆類聚符宣抄6 外記職掌

太政官 先式

凡庶務申太政官。若大臣不在者申中納言以上。其事重者臨時奏裁。自餘准例處分。其考選目錄及請印六位以下位記者。中務式部兵部三省不經弁官直申太政官。中務申夏冬時服。及式部補文学家令以下儻仗簡遣諸国使人亦直申。被左大臣〈時平〉宣備。諸司所申庶務。宜依天長九年十一月廿一日宣旨。必經外記令申者。

延喜七年七月十七日

大外記阿刀宿祢春正 奉

163 ◆類聚符宣抄6 請印事

左大臣〈時平〉宣。頃年所行。内印文書。滿五六十通。乃令捺印。若不及此。更無請印。其間公務稽擁。乖違旧例。今須内印官省符之類。一枚以上。多少隨有。依式檢察。每日捺印者。

延喜八年五月廿六日

大外記阿刀宿祢春正 奉

164 ◆扶桑略記 延喜九(909)・二・十七(裡書)

於弁官結政。令請印遣在唐僧中權牒狀。外記即受。入函書封。加沙金百兩。入木壺。以絹裹之。

165 ◆別聚符宣抄 延喜九・閏八・十五

每月旬庭上奏事

大外記阿刀宿祢春正仰云。右大臣〈源光〉宣。每月一。十一。十六。廿一并四箇旬日。帝皇可御南殿。宜仰監物印鑰之事每當彼日。令遶立奏者。

延喜九年閏八月十五日

大錄

166 ◆日本紀略 延喜九・十・二十三 今日。捺印延喜格。

167 ◆東大寺上座慶贊愁狀 延喜十一・四・十一 『平』 206 (署印)

168 ◆扶桑略記 延喜十六・正・二十八 有神位記并男位記請印事。

169 ◆類聚符宣抄8 \*延喜十六(916)・七・五宣旨 応越後守藤原遠成任符

雖未進本任解由入請印事

170 ◆類聚符宣抄8 \*延喜十七(917)・三・十六宣旨 応但馬介橘秘樹任符

不待本任阿波守放還請印事

- 171 ◆類聚符宣抄 8 \*延喜十七・四・十一宣旨 応武藏守藤原高風任符不待本任常陸介放還請印事
- 172 ◆政事要略 二六 年中行事十一月  
延喜十七年十一月十六日辛卯。是日新嘗祭也。仍無政。晚頭(略)天皇御神嘉殿。大臣以下扈從。仍不請印位記。
- 173 ◆類聚符宣抄 8 \*延喜二十(920)・三・二十八宣旨 応常陸介橋実範任符不待本任周防守放還請印事
- 174 ◆扶桑略記 延長六(928)・十一・九 有内印。山階大神奉授正四位下也。
- 175 ◆豐受大神宮司解 延長七・十一・二十七 『平』236 (内宮政印)
- 176 ◆類聚符宣抄 8 \*延長八(930)・六・二十宣旨 応常陸介藤原公葛越中守葛井清明任符雖不進本任解由入請印事
- 177 ◆源昇家領近江国土田荘田地注文 承平二・正・二十一 『平』239 (宅私印)
- 178 ◆扶桑略記 承平二(932)・五・二五  
印盤丹綿鼠乍散。去廿三日正庁内牛入。仍相並有御下。
- 179 ◆類聚符宣抄 1 神社修造 承平三(933)・三・四  
太政官符 伊勢国并大神宮司 〈内印〉  
使正六位上大中臣朝臣頼行
- 180 ◆扶桑略記 承平三・七・十一  
請印東海山陽諸国并丹波大宰府祈明神可勤警固由官符。是依南殿版位犬遺矢。可慎兵革賊之由占申之。
- 181 ◆類聚符宣抄 8 \*承平五(935)・三・七宣旨 下野守大中臣定行丹波守伴忠茂任符雖不進本任解由入請印事
- 182 ◆本朝世紀 承平五・六・十  
但去承平二年九月□日汲水之女墮於省井溺死也。彼時省申事由於官。官即定仰印与公文無穢之由。隨即件印公文等移度正藏院。充用公事之務。仍雜色人等稱有彼例。不触申官人等。有取度印公文等正藏院者。
- 183 ◆類聚符宣抄 8 \*承平五・六・十三宣旨 応薩摩守藤原作則任符不待本任大監放還入請印事
- 184 ◆本朝世紀 承平五・六・十三 治部省度縁請印
- 185 ◆本朝世紀 承平五・六・二十一有内印
- 186 ◆本朝世紀 承平五・六・二十八令捺印件幣帛使等官符。〈但不奏内案。又不經掌侍。上卿起座付藏人奏也〉
- 187 ◆本朝世紀 承平五・六・二十八 捺印伊勢大神宮使并諸社山陽南海西道神社使等官符之後。起陣座。
- 188 ◆類聚符宣抄 8 \*承平六(936)・二・二十七宣旨 応信濃守高階師尚任符不待本任周防守放還請印事
- 189 ◆類聚符宣抄 8 \*承平七(937)・九・十七宣旨 応阿波守藤原雅量任符

召名刊正之間請印事

- 190 ◆日本紀略 天慶元(938)・六・二十三 請印諸神并僧尼位記。
- 191 ◆本朝世紀 天慶元・七・五 着左仗座。中納言藤原師輔卿三位位記捺印。
- 192 ◆本朝世紀 天慶元・八・十三 仍有請印事。
- 193 ◆本朝世紀 天慶元・八・十六 有內印。治部省請印度緣。
- 194 ◆本朝世紀 天慶元・八・二十三 於結政所捺印也(故少監物源興國請取唐人蔣承勳貨物。不返行死去。仍以府庫布准給之狀)
- 195 ◆本朝世紀 天慶元・八・二十九 就結政所。捺印。
- 196 ◆本朝世紀 天慶元・九・五 位記捺印。
- 197 ◆本朝世紀 天慶元・九・十二 依齋王可向伊勢給五畿七道可解除官符八道。有捺內印之事。(略)令請印如恒。(略)就結政所令請印。
- 198 ◆本朝世紀 天慶元・九・二十七 有請印郡司位記事。
- 199 ◆本朝世紀 天慶元・十・八 又宇佐宮大宮司宇佐是憲叙外從五位下位記。并明日被發遣同宮奉幣神財使右近少將小野朝臣好古等許往還官符一通。并同好古朝臣給府庫調綿二百屯官符一通等請內印。(略)「令」請印。
- 200 ◆本朝世紀 天慶元・十・十七 有內印事之中。去四月十五日夜大地震。(略)仍仰五畿內并近江美濃丹波播磨合九箇國長官。專當其事。可令築造之由。官符下知已了。
- 201 ◆本朝世紀 天慶元・十一・二 二省為請印成選位記(略)欲申今日可請印位記之事。(略)仍停止位記請印事。(略)但位記納于辛櫃。加官人封。留置局文殿前。以明日可請印之由大略仰二省了。

202 ◆本朝世紀 天慶元・十一・三

今日。請印諸司大料畫并依伊豆國解可追捕平將武之由給駿河伊豆甲斐相模等國官符四通。衝後。為請印位記。(略)令着結政所請印二省位記者。(略)請印位記。

- 203 ◆本朝世紀 天慶元・十一・十 次有請印之政。
- 204 ◆本朝世紀 天慶元・十一・十四 有內印。
- 205 ◆本朝世紀 天慶二(939)・四・十九 昨日所被定官符等請結政請印。
- 206 ◆本朝世紀 天慶二・四・二十五 內印。兵部請印成選位記。
- 207 ◆本朝世紀 天慶二・五・三 治部請印度緣。
- 208 ◆本朝世紀 天慶二・五・七 諸卿參会太政大臣(忠平)家。被相定可給出越後國官符趣等。即於結政請印。於官庁給使畢。
- 209 ◆本朝世紀 天慶二・五・十五 使使官符請內印。
- 210 ◆類聚符宣抄。
- \*天慶二・五・十七宣旨 忖武藏守百濟王貞運任符不待本任上總介放還請印事
- 211 ◆本朝世紀 天慶二・五・十七 政。內印。
- 212 ◆本朝世紀 天慶二・五・二十五 政。內印。
- 213 ◆本朝世紀 天慶二・六・七 政。內印。
- 214 ◆本朝世紀 天慶二・六・十 政。又有結政請印事。
- 215 ◆本朝世紀 天慶二・六・二十一 政。請印書中。相模權介橘是茂。武藏權介小野諸興。上野權介藤條朝臣等可追捕件國々群盜官符。上野符捺漏也。外記申此由於上卿。請結政印。又下東海東山道丹波國并山陽西海等府國祈仏神可勤警固官符五通捺印。
- 216 ◆本朝世紀 天慶二・七・十 政。內印。



217 ◆本朝世紀 天慶二・七・十三 政後。上卿於陣行內印事。

218 ◆本朝世紀 天慶二・七・十八 有内外印事。給出羽国官符二枚也。

219 ◆本朝世紀 天慶二・閏七・二 內印盤上地蟠居。

220 ◆本朝世紀 天慶二・九・七 政。治部請印度緣。

221 ◆本朝世紀 天慶二・九・二十三 政。內印。

222 ◆本朝世紀 天慶二・十・七 位記請印。

223 ◆本朝世紀 天慶二・十二・五 政。內印。

224 ◆本朝世紀 天慶二・十二・十四 政。內印。式部請印郡司位記。

225 ◆本朝世紀 天慶二・十二・二十一 可召件純友官符等請内外印。下撰津丹波但馬播磨備前備中備後国等。

226 ◆本朝世紀 天慶二・十二・二十九 平将門等圍上野介藤原朝。下野前司大中富定行。新司藤原弘雅等館。奪取印鑑。(略) 勅符官符等請内外印。

227 ◆将門記 天慶二年 以天慶二年十一月廿一日、涉於常陸国、(略)国史跪二膝於泥上、当今、濫惡之日、烏景西傾、放逸之朝、領掌印鑑、仍追立長官。詔使、令隨身既畢、(略)苟将門、利帝苗裔、三世之末葉也、同者始自八国、兼欲虜領王城、今須先奪諸国印鑑、一向受領之限追上於官堵、然則且掌八八国且腰附万民者、大議已訖、又帶數千兵、以天慶二年(十脱カ)二月十一日、先渡於下野国、(略)既就於国庁、張其儀式、于時新司藤原公雅・前司大中臣全行朝臣等、兼見欲奪国気色、先再拜将門、便擊印鑑、跪地奉授、(略)将門、以同月十五日遷於上毛野之次、下(上)毛野介藤原尚範朝臣、被奪印鑑、以十九日、兼付使追於官堵、其後、領府入庁、固四門之陣、且放諸国之除目、

228 ◆扶桑略記 天慶二年十二月 十一日。将門率数千兵。就下野国庁。時守藤原弘雅。前司大中臣定行等。兼見擬奪国気色。先拜将門。便擊印鑑。差幹了使。追上長官於京都。同十五日。将門遷上野国。国司藤原尚範被奪印鑑。追却国

司。其後領府入庁。(略)其後将門武藏相模等巡檢。皆領印鑑。可勤公務之由。召仰留守国宰等已畢。(略)天慶三年庚子正月十一日。官符云。太政官符東海東山道諸国司。(略)冤国宰而奪印鑑。領縣邑。而事抄掠。

229 ◆類聚符宣抄 8 \*天慶三(940)。正。二十七宣旨 応相模介藤原国幹以下四人不待本任放還請印符事

230 ◆政事要略 30 年中行事(給勅符) 天慶三年二月廿七日癸亥。天晴。中案言藤原師輔卿。參議同元方朝臣聽政。此日大内記三善文明。草陸奥飛駒勅符。先「令」令覽式御曹司。覽了返給。先是中納言師輔卿。參議源高明朝臣着宜陽殿西廂座。戌尅。内尅。内記文明持來勅符。置上卿前。外記持副於勅符承知之官符。同置上卿前了。上卿官符加入勅符篋。令持大内記朝臣在昌參入御所。付右中弁藤原朝臣在衡奏聞。御画日了。還着陣座。内記於上卿前置勅符等退出。此間掃部寮敷置二枚軒廊北庭(東上南北相對)又立印案。主殿寮當兩座間西方生炭了。上卿令陣官人召内豎。入自日華門。來立軒廊南方。上仰云。召少納言(謂少物申)内豎稱唯退出。少納言橋朝臣美利。率中務大輔源国淵朝臣。大内記在昌朝臣。文明。並主鈴符二人。參入着座。(少納言中務輔主鈴着南座。内記着北座)先是將監侯陣座。上曰近衛司。將監稱唯。進侯庭中。上曰。印。稱唯。退出從宣仁門。上又曰。少納言稱唯。進膝突座。(物進者。皆侯膝突)上曰。印。少納言稱唯。率主鈴經軒廊着南廊。此間主鈴暫日花門外。取飛駒使之所隨身鈴追從。此間將監入自内相從。(先是外記隨身鈴納局。臨事令主鈴受件鈴。令持司人候日花門外。件事不見式文。檢日記。而今依式。御曹司仰所定行)退以件鈴納印辛櫃。取印少納言還着案下。主鈴置印退立。上曰。少納言稱唯。進侯。上曰。問時。少納言稱唯。還案前。召内豎二声。内豎稱唯。未進之間。少納言仰云。問時。内豎即申云。時戌三。(式云。少納言召内豎。内豎稱唯。立少納言後。仰云。問時者。而未參進之前。仰此事已違式文)少納言又進申云。時戌三。即着本座。上曰内記。(内乃記司)内

記稱唯候。上賜勅符云注。內記稱唯。還本座。御画日左辺記時尅。進置上前。又還本座。上曰中務省。大輔源國淵朝臣稱唯候。上賜勅符。〔乍納宮給之。〕國淵朝臣退立案許。上曰少納言。稱唯進候。上賜承知官符。〔乍納宮給之。〕少納言先標印於勅符。中務輔取其端。捺印訖。輔以勅符返置上前。了着座。此間少納言。令主鈴捺印於官符了。少納言持官符。還本座請印。〔官符可置上前云々。而今案式。即留便不復奏者。以此案置上前者非也。〕上令持勅符於內記。〔此度召內記不奉名。合眼召之。非也。〕復奏了。召少納言賜勅符。少納言還着座。令主鈴函封了。即令內記於函上頭記賜其國之字。押緘之處書封字。其緘下右注飛駟字。左注日月時尅。令內記於革裏短册記賜其國飛駟函字及年月日時尅。又函左注副官符一通字。〔印符副在函外。同納囊中。〕記着已訖。令主鈴納於囊中。少納言與輔主鈴一人留。餘皆退出。〔出者。經日華門出授。〕少納言取囊申云。封了。上曰。取鈴。少納言稱唯。授囊於輔。率主鈴取囊。申云。封了。上曰。取。少納言稱唯。授囊於輔。率主鈴并將監。着辛櫃納印。取鈴還着本座。輔以囊授少納言退出。少納言令主鈴着鈴了。返授。〔此間。主鈴退出。〕少納言進候。申云。着鈴。〔如式者。乍居屋可申也。而進申者非也。〕上曰。賜陸奥國。少納言稱唯。還座唱主鈴名。主鈴稱唯。少納言後以函授主鈴。主鈴還又立前所。少納言仰云。賜陸奥國飛駟函給之。主鈴稱唯。鳴鈴走出。少納言共出。仰事由給使。〔此事已在式文。而月来不被行。〕

231 ◆日本紀略 天慶三・三・二十五

次停止上総介藤原滋茂。依將門乱被奪印鑑也。

232 ◆筑前国観世音寺牒案 天慶三・五・六 『平』250 (正印)

233 ◆類聚符宣抄 8

\*天慶三・五・十宣旨 心老岐守藤原清鑿任符不待本任太宰監放還請印事

234 ◆類聚符宣抄 1 神社修造 天慶三・八・八  
太政官符 伊勢国并大神宮司 〔内印〕

235 ◆日本紀略 天慶三・九・十二夜。狐。昨内印韓櫃鎖匙而指承明門走出。

236 ◆政事要略 5 5 交替雜事(講読師) 天慶四(941)・三・二十

太政官符治部省

合雜事八箇條

一 応令綱所頒行諸国講読師任符并度者度縁事

右律師法橋上人位仁教去年八月十九日奏状備。諸国講読師孟冬簡定之後。綱所造擬補帳。省寮押署進官也。籤符捺印之後。綱所請符頒行。是承前之例也。而年来諸国講読師籤符。或留於官外記。不下綱所。是頗以違例。又寺々分及臨時度者。各師主作度縁。或威從付省寮官人令成。即各度縁表注付芳人名字。三司押署進官。請印之後。綱所請之。頒行各師主。年代已久。(略)望請。依前例。綱所請件講読師任符并度縁。將頒行之者。從三位守大納言兼右近衛大將行陸奥出羽按察使藤原朝臣実頼宣。奉 勅依請者。

以前事條如件。省宜承知依宣行之。符到奉行。

左少弁源朝臣(相識) 左大史尾張宿祢(言釜)

天慶四年三月廿日

237 ◆類聚符宣抄 6 請印事

中納言藤原卿(師輔)宣。丹波国定額願皇寺氏人等。申請可停講【読】師捕領之由。依理不盡所不判行也。而其官符在昨日庁覽之中。仍從返却。不令捺印。今如聞。官文殿使部大友安則奸作件符。号先入文。入於外記。爰案主史生偏思有例。輒以受取者。凡并官請印。外記報牒。式條已存。何致遺失。而載牒之外。別有受取。是則案主積習成例。外記少納言不加監察之所致也。自今以後。宜從停止。若有忽書無止可入者。加署之史。愼示外記。知実触少納言。仰案主。乃聽加入。踏印之後。待請印牒。乃載報牒。立為恒例者。

天慶四年五月八日

大外記伊福部安近 奉

- 238 ◆本朝世紀 天慶四・七・二十二 令捺印。率史生等着弁官庁結政所。
- 239 ◆本朝世紀 天慶四・八・五 式部省依例有請印位記之事。
- 240 ◆本朝世紀 天慶四・八・十 依例掃局。令納印。
- 241 ◆本朝世紀 天慶四・八・十一 還局。令納印。
- 242 ◆本朝世紀 天慶四・八・十七 少納言外記史生隨身印盤。列立中門外。(略)〈未請印之前有着例。〉
- 243 ◆本朝世紀 天慶四・九・四 有内印之事。数百廿九枚。
- 244 ◆本朝世紀 天慶四・九・十 就結政所。令持捺印官符四通。
- 245 ◆本朝世紀 天慶四・九・二十 就結政令捺印。依凶賊事。給諸国官符十二通。
- 246 ◆本朝世紀 天慶四・九・二十三 着結政所。官符六通令捺印。(略)參議源清平朝臣着結政所。急書官符三通令捺印。
- 247 ◆本朝世紀 天慶四・十・七 今日有内印事。
- 248 ◆本朝世紀 天慶四・十・十六 少納言(略)大外記(略)等令持印。着弁官曹司庁結政所。
- 249 ◆本朝世紀 天慶四・十・十七 有内印之事。
- 250 ◆本朝世紀 天慶四・十・二十三 昨日今日山陽南海兩道諸国警固使押領使并擊手使等停止之由官符請印。
- 251 ◆本朝世紀 天慶四・十一・九 着結政所。令請印式兵兩省位記。
- 252 ◆本朝世紀 天慶四・十二・二十九 庁覽内印書。
- 253 ◆本朝世紀 天慶五(942)・三・十四 有内印。

- 254 ◆本朝世紀 天慶五・閏三・十五 有内印文事。
- 255 ◆本朝世紀 天慶五・閏三・二十 又捺印左衛門佐源朝臣俊位記。(略)〈但此度所給位記。去月廿九日位記也。請印之後。内記橘敏通給之。〉

- 256 ◆本朝世紀 天慶五・閏三・二十九 有請印度緣之事。
- 257 ◆本朝世紀 天慶五・四・二 令持印。
- 258 ◆本朝世紀 天慶五・四・五 有内書之事(略)式部省請印准蔭位記。
- 259 ◆本朝世紀 天慶五・四・十一 式部省請印成選位記。(略)今日被請印坐京中并山城國諸神位記五十三卷。是東西諸國賊亂之時被禱討滅賊類後天下諸神可被增加一階之由。但至極位神可被奉寄封戶者。其請印儀式。(略)仰御印之事次召中務少輔給位記寫。然後少納言請印訖。
- 260 ◆本朝世紀 天慶五・四・十五 兵部省請印成選位記。
- 261 ◆本朝世紀 天慶五・四・二十三 有内印。
- 262 ◆本朝世紀 天慶五・四・二十五 被行加階叙位之人惣九人位記請印之事
- 263 ◆本朝世紀 天慶五・四・二十六 神位記百卅余卷請印。
- 264 ◆本朝世紀 天慶五・五・七 但少納言不參。仍無請印。
- 265 ◆本朝世紀 天慶五・六・二十八 請印郡司位記
- 266 ◆類聚符宣抄 8 \*天慶六(943)・三・七 宣旨 応尾張守藤原興方肥後守藤原時佐任符不待本任放還請印事
- 267 ◆類聚符宣抄 6 \*天慶六・八・十 宣旨 応請印左史生大海保平右史生百濟玄來使部高篠清陰等俸料符事
- 268 ◆類聚符宣抄 6 \*天慶六・九・二 宣旨 応請印除不申当年秋冬季祿目錄中務式部兩省之外諸司季祿符事

- 269 ◆類聚符宣抄 8 \*天慶七(944). 十二. 二十宣旨 応土佐守布瑠有平任符召名刊正之間請印事
- 270 ◆類聚符宣抄 8 \*天慶八(945). 五. 十六宣旨 応備中介和氣兼濟任符雖未下本任越前介解由于所司請印事
- 271 ◆類聚符宣抄 8 \*天慶八. 五. 十九宣旨 応因幡守平清幹任符雖未下本任上野介解由于所司請印事
- 272 ◆類聚符宣抄 8  
\*天慶八. 五. 二十六宣旨 応備中介和氣兼濟任符不待本任越前守放還請印事
- 273 ◆本朝世紀 天慶八・八・五 為請印准蔭位記。(略) 又色色官符有内印事。(略) 着結政所。官符令捺外印。(略) 件唐人安置符者。(略) 而依無政今日請印。
- 274 ◆本朝世紀 天慶八・九・十九 請印度緣。九十八「十」枚。月来依無玄蕃頭。(略) 不請印度緣。(略) 今日所請印也。
- 275 ◆本朝世紀 天慶八・十二・五 二省位記請印事。
- 276 ◆本朝世紀 天慶八・十二・七 着結政所。令請印二省位記。
- 277 ◆日本紀略 天慶九(946)・二・二十 請印諸神位記。
- 278 ◆日本紀略 天慶九・三・四 神位記官奏請印。
- 279 ◆日本紀略 天曆元(947)・二・三 此日。右大臣(美賴)着座。行内印。
- 280 ◆類聚符宣抄 8 \*天慶十(947)・二・十六宣旨 応遠江守平統理任符不待本任因幡守放還請印事
- 281 ◆日本紀略 天曆元・三・四 大納言藤原師輔卿著宜陽殿。請印神位記。
- 282 ◆日本紀略 天曆元・三・十一 此日。令覆奏去月廿七日詔書。又有内印。
- 283 ◆日本紀略 天曆元・三・二十七 有内印。
- 284 ◆日本紀略 天曆元・四・十九 請内印。諸社神宝并奉幣使符。(十三通)又請外印。大宰府八幡大菩薩。并香椎廟幣帛使禄料符也。
- 285 ◆日本紀略 天曆元・五・二 内印并位記請印。又改元詔書覆奏。
- 286 ◆日本紀略 天曆元・五・九 位記請印。
- 287 ◆日本紀略 天曆元・八・十七 請内印。是可攘除瘡。諸社奉幣詭經官符給五畿七道諸国也。
- 288 ◆日本紀略 天曆元・八・二十五 請内印。又勘伊勢斎王(悦子)御禊日時。
- 289 ◆日本紀略 天曆元・十一・四 請印神位記。
- 290 ◆日本紀略 天曆元・十二・五 請印神位記。
- 291 ◆日本紀略 天曆元・十二・二十一 位記請印。
- 292 ◆日本紀略 天曆二(948)・二・三 請内印。明日。伊勢使并鹿嶋使符等也。
- 293 ◆日本紀略 天曆二・三・五 神位記請印。
- 294 ◆日本紀略 天曆二・三・二十九 請印度緣。
- 295 ◆日本紀略 天曆二・七・十七 請内印。
- 296 ◆日本紀略 天曆二・八・五 請印准蔭位記。
- 297 ◆日本紀略 天曆二・八・八 是日。位記請印。依内印触穢。用外記印盤録。
- 298 ◆日本紀略 天曆二・八・二十 請印度緣。
- 299 ◆日本紀略 天曆二・八・二十一 請内印。今日。可請印一代一度奉遣仏舍利於諸社官符。而有穢中憚止之。又復任宣旨給二省。

300 ◆日本紀略 天曆二・八・二十五 請印郡司位記。  
301 ◆類聚符宣抄1 補宮主 天曆二・十・二十六  
太政官符 式部省〈外印〉  
應補賀茂齋院宮主卜部正【六】七位上伊岐宿祢春友事

302 ◆日本紀略 天曆二・十二・十五 官奏。除目。又於結政請印位記。

303 ◆日本紀略 天曆二・十二・二十七 請內印。

304 ◆日本紀略 天曆二・十二・二十九 請內印。

305 ◆日本紀略 天曆三(949)・二・七

請外記印。是太政大臣七十賀料。大弁已下奉地子稱官符請印也。

306 ◆日本紀略 天曆三・四・十五 二省請印位記。

307 ◆類聚符宣抄1 卜貢戶座 天曆三・九・十一

太政官符 備中国司〈內印〉 天延二年十月三日符不注上宣。但無馱鈴。  
應卜貢中宮職戶座事

308 ◆日本紀略 天曆三・九・十九 齋宮寮召名給二省。并寮頭位記請印。

309 ◆日本紀略 天曆三・九・二十二 內印。

310 ◆類聚符宣抄1 宇佐使 天曆四・九・十三

太政官符大宰府并山陽道諸國司〈內印〉

311 ◆類聚符宣抄1 宇佐使 天曆四・九・十三

太政官符大宰府〈外印〉  
調綿貳佰屯

312 ◆類聚符宣抄1 鹿嶋使 天曆五・正・二十二

太政官符 下總常陸兩國司〈內印〉(略)

右為奉鹿嶋香取兩社幣帛。

313 ◆類聚符宣抄1 御躰御卜 天曆六(952)・十二・十

太政官符 神祇官〈內印〉  
應行御卜崇參簡條事

314 ◆伊勢國長谷寺資財帳 天曆七(953)・二・十一 『平』265

銅印壹面〈方壹寸五分 鑄光寺字〉

315 ◆類聚符宣抄8 \*天曆八(954)・六・十四宣旨 應播磨守伴彥真任符不

待本任美濃守放還請印事

316 ◆類聚符宣抄4 荷前 天曆十年七月七日

闕荷前使藤原季方位祿官符不得捺印事

317 ◆日本紀略 天德二(958)・十一・四 內匠寮令冶鑄新中宮御印。

318 ◆橋元実伊賀國玉瀧杣施入扶案 天德二・十二・十 『平』271(署印)

319 ◆類聚符宣抄8 \*天德三(959)・正・二十八宣旨 應遠江守伴彥真任符

不待本任放還請印事

320 ◆類聚符宣抄8 \*天德三・二・六宣旨 應備後守藤原致忠任符不待本任放還

請印事

321 ◆類聚符宣抄8

\*天德三・二・十七宣旨 應常陸介藤原滋望任符不責本任放還請印事

- 322 ◆類聚符宣抄 8  
\*天徳三・九・十宣旨 応陸奥守藤原国紀任符不待本任放還請印事
- 323 ◆扶桑略記 天徳四(960)・九・二十三/二十四  
仰行取(出鈴印鎔櫃事。(略)宜陽殿累代宝物。温明殿神靈鏡太刀節刀契印。春興安福兩殿戒具。内記所文書。又仁寿殿太一式盤。皆成灰燼。(略)鈴辛櫃置御所内。印并鎔辛櫃納外記局。(略)二十四日(略)遣左右中少將鑿(求温明殿所納神靈鏡并太刀契印等。
- 324 ◆日本紀略 天徳四・十・八  
外記史等見宮中灰燼之上有木印一面。其文有天下太平四字。參議好古云。其蕃客來時所用也。
- 325 ◆日本紀略 応和元(961)・八・十七 請印神位記。室生龍穴神也。
- 326 ◆類聚符宣抄 8 \* 応和元・十二・九宣旨 応飛騨守藤原茂包任符不待本任放還請印事
- 327 ◆類聚符宣抄 8  
\* 応和二(962)・四・二宣旨 応下野守藤原繁正任符不求本任放還請印事
- 328 ◆類聚符宣抄 1 諸神宮司補任(宇佐大宮司) 応和二・四・十七  
太政官符 式部省(給外印符於式部省。省申補任。次給内印官符)  
 応補任豊前国八幡大菩薩大宮司正六位上宇佐公貴事
- 329 ◆類聚符宣抄 1 御躰御卜 応和二・八・二十二
- 330 ◆類聚符宣抄 8 \* 応和三(963)・三・二十五宣旨 応佐渡守朝原世常任符改正召名之間請印事
- 331 ◆類聚符宣抄 1 補宮主 応和三・十一・十  
太政官符 式部省(外印)  
 内御宮主正六位上直宿祢常純(略)  
 中宮宮主(略)  
 春宮宮主
- 332 ◆東大寺告書案 康保元(964)・十一・十五 『平』281 (印)
- 333 ◆類聚符宣抄 1 諸神宮司補任(大神宮司) 康保二(965)・二・十九  
太政官符 式部省(給外印符於式部。式部申補任。次給内印任符)
- 334 ◆類聚符宣抄 8  
\* 康保三(966)・三・十六宣旨 応紀伊守紀文利任符不求本任放還請印事
- 335 ◆類聚符宣抄 6 少納言職掌 康保四(967)・四・三十  
左大臣(美頼)宣。少納言動申故障。鎮以遲參。請印之政常闕。奉公之勤自疎。事有終始。何無隄防。
- 336 ◆類聚符宣抄 1 諸神宮司補任(諸国神社) 康保四・五・七  
太政官符 神祇官(外印)

應補坐土左冠安芸郡從四位下方業神社祝從八位下布師首勝士丸事

337 ◆本朝世紀 康保四・五・二十八 於結政請印封符。

338 ◆本朝世紀 康保四・六・三封符於結政請印。(略)官符同加請印了。

339 ◆本朝世紀 康保四・六・二十一

先皇山陵守十戸五烟可差充之由官符下山城國。去月廿五日詔書下文武諸司并五畿七道諸國承知官符等可請印者。

340 ◆本朝世紀 康保四・七・十一 有結政請印。齋宮入京。鑄錢司錢可進納官符。四品盛明親王承知官符等也。

341 ◆本朝世紀 康保四・七・十六 有盛明親王四品位記請印事。

342 ◆本朝世紀 康保四・八・七 覽內文。任符并省符等也。右大臣以下參入。行請印事。

343 ◆類聚符宣抄 8 \* 康保四・八・七宣旨 應越前守紀文相加賀守橘忠信阿波守橘高臣任符不求本任放還請印事

344 ◆日本紀略 康保四・十・十一 此日。内匠寮鑄進中宮御印。

345 ◆本朝世紀 康保四・十・十一 此日。内匠寮鑄進中宮職御印。

346 ◆類聚符宣抄 10 可給上日人々 康保四・十・二十八 應停請印左史生大石清廉等俸料官符事

347 ◆本朝世紀 康保四・十一・十 有結政請印。是齋宮退出官符等也。

348 ◆日本紀略 安和元(968)・正・十七 今日。諸卿著結政座。請印延喜式五十卷。

349 ◆類聚符宣抄 8 \* 康保五(968)・二・二十二宣旨 應伊賀守藤原仲文任符不求本任放還請印事

350 ◆類聚符宣抄 8

\* 康保五・二・二十二宣旨 應美濃守藤原時柄任符不求本任放還請印事

351 ◆類聚符宣抄 8

\* 康保五・二・二十九宣旨 應伯耆守藤原公明任符不待本任放還捺印事

352 ◆類聚符宣抄 6 請印事

右大臣(師尹)宣。奉勅。月來內文之日。內案上卿見後。有令奉覽。爰着藏人。遣于太政大臣之後。乃以捺印。此間光景已移。殆入夜漏。自今而後。上卿就陣見了者。即先遣太政大臣里第後。可經奏聞者。  
康保五年七月五日 大外記菅乃朝臣正統 奉

353 ◆日本紀略 安和元(968)・七・十三 位記請印。越前國正四位下橫山神授從三位。

354 ◆類聚符宣抄 8

\* 安和元・十一・十七宣旨 應播磨權少掾藤原為時任符不待本任放還捺印事

355 ◆日本紀略 安和元・十一・二十三 位記請印。

356 ◆類聚符宣抄 8 \* 安和二(969)・二・二十六宣旨 應長門守藤原敏政任符不待本任放還捺印事

357 ◆類聚符宣抄 6 可勤行外記政 安和二・二・二十八

右太政大臣(美賴)去年十一月七日奏狀稱。廢務休日之外。何無外記之政。方今大臣已下參議已上。其員全存。可勤仕官。着座之輩。亦是不少。上卿僅雖參入。參議亦難來着。又少納言等。遞稱故障。從事希有。或有外記不參之日。彼此參着。常致闕怠。因茲召問外記。勘申云。今年正月以後九月以前。有政之事。或月只三四日。或月僅七八日。古來未有如此之例。大少有限之務。延期累月。內外請印之文。滿閣如此。凡參議已上者。本自不定其直。譴責之法。忽難定申。今隨事之形勢。被立法之輕重。又少納言弁者。元來定其直日。不仕之輩尤在可責。而或稱障不參。或無言不動。若一月三箇度已上。不分明稱故障之輩。蹤跡雖存。不給兼國。勞効雖積。不預加階。又外記同守直日。必可參仕者也。隨其動墮。可被預叙位矣。然則人致恪勤。官無滯事者。

358 ◆類聚符宣抄1 補龜卜長上事 安和二・九・二  
太政官符 式部省〈外〉

應補龜卜長上正六位上下部宿祢中興事

359 ◆志摩國答志郡少領島実雄治田壳券案 安和二・十一・五 『平』299  
(印判)

360 ◆日本紀略 天祿三(972)・三・二十八 資子内親王一品位記請印。

361 ◆天台座主良源遺告 天祿三・五・三 『平』305

天祿三年五月初記沒後事(略)「(裏)入滅之日。印 三面(一御願 一私印)可奉妙香房。一面(楞嚴院)院司領掌。可隨前唐院之定。卅九日滿者。以妙香房申請御願院檢校之解文。早速可言上。

362 ◆日本紀略 天元元(978)・五・九

位記請印。三品宗子内親王。四品尊子内親王。正四位下敵子女王等也。

363 ◆丸部大平家地壳券 天元三(980)・二・七 『平』317 (署印)

364 ◆類聚符宣抄8 任符(肥前守維叙任符) 永觀元(983)・九・十三  
太政官符大宰府〈内〉  
從五位下朝臣維叙

365 ◆本朝世紀 寬和二(986)・二・十六 令持御印率史生等着弁官結政所。

366 ◆本朝世紀 寬和二・二・十九 諸國受領任符并廿五通。人々請印。

367 ◆本朝世紀 寬和二・四・一 須下御印於弁官庁。(略)不下御印。

368 ◆本朝世紀 寬和二・四・七 有陣覽内文廿七通捺印事。

369 ◆本朝世紀 寬和二・六・四

今日内外印相並庁覽。先印了。(略)及深夜行内印之事也。

370 ◆類聚符宣抄8 任符(近江少掾文室清扶任符)

太政官符 近江国司〈内〉

寬和三年二月二十九日

371 ◆類聚符宣抄1 補宮主 永延元(987)・五・十七

太政官符 式部省〈外印〉

應補御并春宮宮主等事

372 ◆類聚符宣抄8 任符(出羽權掾藤原貞光任符乍注伝符刻数不給其実事)

太政官符 出羽国〈外印〉

永延元年七月廿日

373 ◆類聚符宣抄8 任符(陸奥出羽按察使藤原朝光任符) 永延二・二・十三

太政官符陸奥出羽等国司并鎮守府〈内印〉



374 ◆類聚符宣抄 8 任符（撰津史生秦春友任符）永延二・二・二十五  
太政官符撰津国司〈内印〉

375 ◆類聚符宣抄 1 諸神宮司補任（大神宮司）永延二・四・二十八  
太政官符 伊勢国并大神宮司〈内印〉

376 ◆類聚符宣抄 8 任符（鎮守府將軍藤原文條任符）永延二・十・五  
太政官符 陸奥国司并鎮守府〈内印〉

377 ◆類聚符宣抄 8 任符（近江權介平惟仲任符）永延三（989）・三・二  
太政官符 近江国司〈内印〉

378 ◆扶桑略記 永延三・十二・二 宣命使少納言源時方於觀音院受取印鑰焉。

379 ◆本朝世紀 正曆元（990）・七・十三  
移着結政座。停三関固関使国可警固之由官符令請印了。

380 ◆本朝世紀 正曆元・七・二十三  
上卿云。令取印。（略）上卿宣。取印。少納言稱唯。率主鈴代官長矣。近將監等  
進上向廊。長矣自辛權出印。持印盤置案上。

381 ◆本朝世紀 正曆元・八・二十七 次請印。

382 ◆本朝世紀 正曆元・九・三 位記請印之事。（略）仍有内覽無請印。

383 ◆本朝世紀 正曆元・九・二十三 被申行内文并位記請印之事等。

384 ◆本朝世紀 正曆元・十・一 可下御印於弁官曹司庁。

385 ◆本朝世紀 正曆元・十・二十三  
被行肥後守源朝臣為親任符。大宰唐物使官符請印之事。

386 ◆本朝世紀 正曆元・十一・十一 少納言藤原朝臣時方參局。出御印。  
387 ◆本朝世紀 正曆四（993）・十・一  
須任例下御印弁曹司。而少納言不參。仍不下御印。

388 ◆本朝世紀 正曆四・十・七 有内印事。

389 ◆本朝世紀 正曆四・閏十・十四 申請度縁請印事。

390 ◆本朝世紀 正曆四・閏十・十五 位記請印之事。

391 ◆本朝世紀 正曆四・十二・二五 今日有位記請印事。

392 ◆本朝世紀 正曆五（994）・正・十九 今日内外印也。

393 ◆本朝世紀 正曆五・二・五 有内文内印事。

394 ◆本朝世紀 正曆五・四・二十一 来廿三日可有請印政。可召上仰諸司者。

395 ◆本朝世紀 正曆五・四・二十三 式兵両省成選位記之請印。（略）今日欲被行  
去正月十三日拔出叙位位記請印事。

396 ◆本朝世紀 正曆五・五・十一 可修仁王会官符八枚。於結政座請印。

397 ◆本朝世紀 長保元（999）・二・十一 令持司人御印。着弁官曹座。

398 ◆本朝世紀 長保元・二・二十二 有内文請印之事。

399 ◆本朝世紀 長保元・三・八 陣覽有内印事。

400 ◆本朝世紀 長保元・三・二十八 被行受領任符請印事。

401 ◆本朝世紀 長保元・閏三・十九 次聽尋常政。印了之後着南所。（略）内文  
并位記有印之事。

402 ◆本朝世紀 長保元・四・十三 今日位記請印之例日也。而上卿遲參并式部丞  
各申故障不參。仍無位記請印之政。

403 ◆本朝世紀 長保元・五・十 有授成選位記之事。（須四月十五日被行。而二  
省位記。式日不請印。仍延引今日行之。）（略）進庁請印如常。（略）少納言一人

外記率史生等。令覽御印。掃局如恒。

長保四年三月十九日

404 ◆本朝世紀 長保元・五・二十八  
先令覽內文。次聽尋常政印之後着南所。移着左仗座。又內文有請印之事。

412 ◆類聚符宣抄1 諸神宮司補任(補任出雲國造事) 長保四・六・二十八  
太政官符 出雲國司(內)

405 ◆本朝世紀 長保元・六・十五

依去夜內裏燒亡。(略)于時大外記宗岳為成進陣頭。行成朝臣仰云。召監物主鈴鑑等。臨御印之所加実檢。可令運納外記局者。外記為成奉此由。還局。以司人召鈴鑑等。但于外記為成者。依有所勞退出。仍西一尅。權少外記清科保重。相替臨御印之所加実檢。諸司与共令運納局訖。

413 ◆本朝世紀 長保四(1002)・八・十 先覽內文。次請印政。

414 ◆本朝世紀 長保四・八・十一 今日有考定。(略)下於御印。

415 ◆日本紀略 長保四・八・二十三

右大臣(顯光)參入。被行伊勢豐受遷宮官符請印事

406 ◆本朝世紀 長保元・六・十六

天皇入給之後。諸卿始着右近陣座。行幸之後。御印鈴鑑等從局令持左右衛士十人。運置彼院西中門內北掖。

416 ◆本朝世紀 長保四・八・二十五 但今日請印文中。下左右京職并五畿內諸國為祓。請伊勢豐受宮遷宮官符。不可請印。上卿着聽之後。以召使被仰云。素服上卿被行神宝官符。有事憚。過今日可請印者。

407 ◆日本紀略 長保二(1000)・十・十五 遷宮之後。旬。番奏并請印音樂。

417 ◆本朝世紀 長保四・八・二十八 今日可請印伊勢豐受宮遷宮祓官符。(略)  
被行遺官符請印畢。(略)於結政行祓官符請印畢。

408 ◆東寺宝藏燒亡日記 長保二・十一・二十六 『平』21404

長保二年十一月二十七日立日記(略)

御印三面(二面正印 一面供家印 一面造印)

409 ◆近江國符案 長保三(1101)・十一・七 『平』419 (印文)

410 ◆山城國珍皇寺領坪付案 長保四・二・十九 『平』421 (署印)

411 ◆類聚符宣抄1 諸神宮司補任(補任筑前國香椎廟宮司事)

太政官符 太宰府(內)(略)

418 ◆本朝世紀 長保四・九・五 請印伊勢豐受大神神宝送官符。

419 ◆本朝世紀 長保四・九・二十一 今日有度緣請印。

420 ◆本朝世紀 長保四・十・五 内外印文。

421 ◆本朝世紀 長保四・十・二十 已刻。下御印。

422 ◆本朝世紀 長保四・十一・十一 被行位記請印事。

423 ◆本朝世紀 長保四・十一・二十九 着庁覽內文。并行外文請印。(略)次內印畢。

424 ◆本朝世紀 長保五(1003)・正・六 有位記請印事。

425 ◆本朝世紀 長保五・二・七 而少納言不參。仍不下御印。

426 ◆本朝世紀 長保五・二・十一 下御印於弁官庁。

427 ◆本朝世紀 長保五・二・二十九 被行女叙位并臨時男叙位位記請印之事。

- 428 ◆本朝世紀 長保五・四・一  
須依例下御印於弁官曹司序。而少納言遲參。不下御印。仍無尋常政。
- 429 ◆本朝世紀 長保五・四・二十六 無位記請印政。
- 430 ◆本朝世紀 長保五・六・五 有神位記事并加階人々位記内印事。
- 431 ◆日本紀略 長保五・六・五 神位記請印。
- 432 ◆八幡大菩薩字佐宮司解案 長保五・八・十九 『平』4599  
(鑑印)
- 433 ◆類聚符宣抄1 補神琴師 長保五・十一・二  
太政官符 神祇官〈外印〉  
応以正六位上中臣朝臣良兼補任權神琴師伊岐貞廉死闕替事
- 434 ◆日本紀略 寬弘二(1005)・三・二十八  
左大臣參入請印修子内親王三品位記。
- 435 ◆日本紀略 寬弘三(1006)・四・五  
請印角振。準而明神奉授正二位位記。并叙人等位記。
- 436 ◆日本紀略 寬弘四・三・十 請印一品(修子)内親王位記。
- 437 ◆日本紀略 寬弘七(1010)・十一・二十七  
齋宮歸京官符請印。恭子女王遭父為平親王喪也。
- 438 ◆日本紀略 寬弘八(1011)・十二・二十八  
又固関使可付国司。又有内外印官符。是則固関付国司。并給京職五畿七道。停止素服等宴飲作樂美服等云々。
- 439 ◆日本紀略 寬弘八・十一・二十二  
今日。開関官符請印。召諸衛三寮可解警固之由召仰。
- 440 ◆日本紀略 長和二(1013)・三・二十三  
第二敦儀親王。第三敦平親王。於清涼殿加元服。左右大將勤加冠事。左近中将公信。右中弁朝經理髮。左右大臣給大樹。而親王叙三品。即日。有位記請印。
- 441 ◆日本紀略 長和四(1015)・五・七  
入唐僧寂昭。元燈。念救。覺因。明蓮等五人度緣請印。撰能書。以白色紙書之。以朱砂捺印。可渡大宋之故也。(百鍊抄 長和四・五・七)
- 442 ◆扶桑略記 長和五(1016)・正・二十九 後一條天皇(略)大臣以下公卿引率近衛府少納言等。令持神璽宮寶劍大刀契櫃鈴印鑑等。(略)其神璽鏡劍并太刀契奉於殿上。鈴印等。置東廊。是追元慶八年例也。
- 443 ◆日本紀略 寬仁元(1017)・八・二十三 奉渡東宮御印。
- 444 ◆日本紀略 寬仁四(1020)・四・十一 請印大宰府遣高麗国返牒官符。
- 445 ◆日本紀略 治安元(1021)・八・七  
伊勢豊受廿年一度御遷宮神宝幣物官符請印。
- 446 ◆僧兼清解案 治安三(1023)・十・五 『平』492 (印鑑)
- 447 ◆日本紀略 治安三(1023)・十一・三  
今日。度緣請印。雖當山科祭。准長和四年□月十三日大神祭例行之。
- 448 ◆類聚符宣抄1 諸神宮司補任(大神宮司) 万寿二(1025)・三・五  
太政官符式部省(件官符捺外印賜式部。式部作補任捺省印進官。官作任符捺内

印賜了)

應補任以正六位上大中臣朝臣惟理伊勢太神宮權大宮司公宣秩滿替事(略)

造伊勢宮使及大神宮司

上卿奉勅仰弁。給官符式部。式部

申補任。官給任符。〈内印〉

案 請印奉之

449 ◆類聚符宣抄1 諸神宮司補任(大神宮司) 万寿二・六・十  
太政官符 伊勢国并大神宮司〈内印〉

450 ◆類聚符宣抄6 請印事

左大臣宣。但馬国申請。治安二三。万寿元二并四箇年。無直交易。年別絹佰玖拾捌疋。糸捌佰參拾肆約可免除之官符。今日請印捺漏已了。宜仰民部省。以白紙官符。且令勘会公文者。

万寿二年十二月廿九日 大外記兼主稅權助教伊予權介清原真人頼隆奉

451 ◆日本紀略 万寿三(1026)・二・二十三 位記請印。

452 ◆日本紀略 万寿三・十一・八 度緣請印。

453 ◆日本紀略 万寿四(1027)・十・二十五 成選位記請印。

454 ◆日本紀略 長元元(1028)・三・十三 有度緣請印事。

455 ◆日本紀略 長元元・十・二十七 成選位記請印。

456 ◆日本紀略 長元二(1029)・二・五 諸国相共可追討忠常之官符請印。

457 ◆日本紀略 長元三(1030)・三・二十七  
安房守藤原光業。依忠常乱逆。棄印鑑上洛。

458 ◆日本紀略 長元三・十二・十 今日。兵部省請印位記。

459 ◆上野国交替実録帳 長元三年 『平』4609

弘輪寺(略)

資具捌種

銅印壹面 辛鑑壹柄

460 ◆日本紀略 長元四(1031)・四・十一 式部省請印位記。

461 ◆日本紀略 長元四・五・四 兵部省位記請印。

462 ◆日本紀略 長元五(1032)・四・十七 位記并成選位記請印。

463 ◆日本紀略 長元六(1033)・十二・十 成選位記請印。

464 ◆日本紀略 長元七(1034)・十二・二十五 成選位記請印。

465 ◆類聚符宣抄1 神社修造(應補任造伊勢大神宮使事)

太政官符 式部省〈外印〉  
散位從五位下大中臣朝臣為信(略)

長元八年・九月九日

式云。十七年孟冬祭山口云々。因之使為信云。早賜任符。可申請

山口祭等事者。侍從中納言奉 仰。十月四日着厅。令請印件官符。賜式部省省成補任。即進官。〈件補任須請印進之。而省申云。依有早可進仰。乍乍白紙奉之。先例如此之時。後日返給補任。請印重進官者云々。〉官作任符。〈任符所弁史加署。〉渡外記。外記申上卿。上卿同日被行陣覽内文如常云々。

466 ◆類聚符宣抄1 神社修造(式部省解申補任造伊勢大神宮使事)

式部省解 申補任事〈省印不捺之由見裏。件裏書書端了〉

補任造伊勢大神宮使散位從五位下大中臣朝臣為信(略)  
長元八年十月四日

467 ◆類聚符宣抄1 神社修造(補任造伊勢大神宮使事)

太政官符伊勢国并大神宮司〈内印〉

散位従五位下大中臣朝臣為信(略)

長元八年十月四日

468 ◆日本紀略 長元八(1035)・十二・八 成選位記請印。

469 ◆日本紀略 長元八・十二・二十五 成選位記請印。

470 ◆本朝世紀 長元九(1036)・七・七 行位記請印事

471 ◆本朝世紀 長元九・七・十九 有位記請印事。

472 ◆類聚符宣抄1 神社修造(應補任造伊勢齋宮使事)

太政官符式部省(外印)

應補任造伊勢齋宮使大神宮司正六位上大中臣朝臣兼任事(略)

長曆元年六月五日

473 ◆類聚符宣抄1 神社修造(式部省解申補任造伊勢齋宮使事)

式部省解 申補任事(省印)

補任造伊勢齋宮使大神宮司正六位上大中臣朝臣兼任事(略)

長曆元年六月八日

474 ◆僧聖命田地施入状 長久三(1042)・七・二 『平』596(寺印)

475 ◆河内守源頼信告文案 永承元(1046) 『平』640 (当国印)

476 ◆陸奥話記

貞任等益横行諸郡、劫略人民、經清率數百甲士出衣川関、放使諸郡、徵納官物、命曰、可用白符、不可用赤符(白符者經清私徵符也、不捺印故云白符、赤符者国符也、有国印故云赤符也、)

477 ◆本朝世紀 治曆四(1068)・七・九 政。覽内文。請印如常。

478 ◆本朝世紀 治曆四・八・十九 有位記請印内文事。

479 ◆本朝世紀 治曆四・十・十

又有位記請印事。但依御衰日留去年旧位記等。今年位記三通請印了。

480 ◆本朝世紀 治曆四・十一・十四 有位記請印事。

481 ◆百鍊抄 治曆四・十二・十一

皇居二條第炎上。主上遷幸閑院。累代御物印鑑鈴等多以燒失畢。

482 ◆扶桑略記 治曆四・十二・十一 又累代内印燒闕了。

483 ◆本朝世紀 治曆四・十二・十一

申尅。皇居燒亡。二条殿。御物并印鑑鈴等燒了。僅所取出辛櫃二合也。

484 ◆本朝世紀 治曆四・十二・二十八 燒損印鑑鈴等被納新造辛櫃了。

485 ◆扶桑略記 延久元(1069)・四・七

仰中務省。令鑄内印。去年十二月十一日燒損也。

486 ◆扶桑略記 延久二(1070)・八・一

宣旨。散位藤原基通面縛降之由。下野守源義家所言上也。然則陸奥守源頼俊不可向陸奥国追討者。義家朝臣依有所申請也。抑頼俊合戰時。基通奪取彼印鑑者也。

487 ◆太政官符案 延久六・七・二十三 『平』1101 印三ヶ所方二寸四分

488 ◆民部省符案 承保元(1074)・八・二十八 『平』1105 印三ヶ所方二寸八分 但豎聊長

- 489 ◆民部省符案 承保元・八・二十八 『平』 1106 (印)
- 490 ◆百鍊抄 承曆元(1077)・五・五  
請印大宋國返信官符。長季朝臣書黃紙。入螺鈿管。答信物六丈織絹二百疋。  
水銀五千兩也。
- 491 ◆範俊解案 承曆二・三 『平』補遺十三(封印)
- 492 ◆範俊解案 承曆二・七・十 『平』補遺十七(印鑑)
- 493 ◆扶桑略記 承曆三(1079)・二・十八 伊勢祭主輔經言上。大神宮內  
宮外院六十餘宇。弘地燒亡。印鑑并累代文簿同為灰燼。
- 494 ◆本朝世紀 寬治元(1087)・八・十  
內印(大嘗會。旬。大祓。使官符等也)
- 495 ◆本朝世紀 寬治元・八・二十五  
次他上卿被行內印。大嘗會下旬大祓使官符也。
- 496 ◆本朝世紀 寬治元・九・七  
政并內印。依大嘗會諸國大奉幣并拔穗使官符等也。
- 497 ◆本朝世紀 寬治元・十・十一 政。覽內文。位記請印。
- 498 ◆本朝世紀 寬治元・十一・十八 有叙位事。(略)入眼請印。
- 499 ◆百鍊抄 寬治二(1088)・十・十七 宋人張仲所獻竹豹廻却官符請印。
- 500 ◆東大寺牒 寬治七・十・十一 『平』 1322 (東大寺印)
- 501 ◆官宣旨 寬治七・十二・二十五 『平』 1327 (請印)
- 502 ◆筑前國觀世音寺資財帳案 嘉保元年(1094) 『平』 1368  
(外題)「嘉保 年資財帳 但不行交替」(略)  
銅印壹面
- 503 ◆法隆寺上座慶元解 嘉保二・六・八 『平』 1346 (寺印)
- 504 ◆時範記 承德三(1099)・二・十五/三・二  
十五日。戊子。雨雪。(略)入夜着惣社西飯屋。依例儲酒肴。于時戌尅。着束帶  
着惣社西舍。騎馬。先以官符令給稅所。官人先以奉行。次行請印。次以鑑置下  
官傍。亦給封令付印櫃。次着府。鑑取在前如例。入自西門於南庭(庭カ)下馬  
昇入。簾中弁備饗饌如恒。殘二ヶ日兼日下知停之。次召介久經仰神拜事。次食  
饗。次召保清令下知勸農事。子尅。令始造神宝。亦以反閑馬令潔齋。為宛宇倍  
宮神馬也。次就寢。今夜無宿申。政始之後可在云々。(略)
- 505 ◆本朝世紀 康和元(1099)・四・一 次有位記請印事
- 506 ◆本朝世紀 康和元・六・二十八  
関白從一位行內大臣藤原師通公薨。(略)嘉保元年三月(略)十一日得氏長者印。
- 507 ◆左衛門少志中原資清勘文案 承德三・八・二十八 『平』 1407  
(署印/有印)
- 後令成返抄請印。案主所・稅所成上吉書之後請印。了入內印宮隨身。諸郡司等  
出一把半利田請文。今夕始宿申。

508 ◆本朝世紀 康和元・十・六  
前関白内大臣〈師通〉後家渡氏長者印契等於左大将〈忠実〉家。

509 ◆堀河天皇旨案 康和三(1101)・十・五 『平』1455 (印鑑)

510 ◆勸学院政所下文写 康和三・十二・四 『平』1468 (官符国判印鑑)

511 ◆東大寺政所下文案 康和四・七・二十一 『平』1491 (寺印)

512 ◆本朝世紀 康和五(1103)・正・六 入眼請印如常

513 ◆本朝世紀 康和五。三・十二  
【是日市司令史以下相引持来本司印鑑給小録酒肴等了】

514 ◆本朝世紀 康和五・四・十九 内印。鹿嶋使符也。

515 ◆本朝世紀 康和五・五・十一 度縁請印。千枚。

516 ◆本朝世紀 康和五・六・十六 政。親王宣旨官符請印。

517 ◆本朝世紀 康和五・六・二十八  
内印。〈親王御封省符并受領符等也〉上卿仲美卿召予。仰云。自今以後。省符請印不可有陣覽。必可申行庁覽。是指 天氣也。

518 ◆本朝世紀 康和五・七・三 政。〈請印興福寺供養殺生禁断官符等〉

519 ◆本朝世紀 康和五・七・二十八 内印。詔書施行符并受領任符等也。

520 ◆本朝世紀 康和五・八・十三 結政請印如常。

521 ◆本朝世紀 康和五・八・二十七  
亥尅。春宮大属紀盛言以下参局請取坊御印。〈件御印。去【本局】応徳三年二月。自修理職。進納本局。無印盤。属盛言内々所造送也。不具  
有憚之故歟。今夜於官庁請印。吉書【之】云々。

522 ◆本朝世紀 康和五・九・十 政。請印春宮頼給官符御料符等。

523 ◆本朝世紀 康和五・十・八  
有内印事。是大宰権帥季仲卿任符紛失由自西府被申上之故也。

524 ◆本朝世紀 康和五・十・二十四 有度縁請印事。二千枚。

525 ◆本朝世紀 康和五・十一・十三 有庁覽内印事。

526 ◆本朝世紀 康和五・十一・二十四 内外請印如常。

527 ◆本朝世紀 康和五・十二・五 政。請印春宮御厨官符等。

528 ◆本朝世紀 康和五・十二・二十五 行位記請印事。

529 ◆官宣旨案 長治元(1104)・六・十七 『平』1645  
宇治大僧正康平七年賜円満院印。

530 ◆僧頼源解 嘉承二(1107)・閏十・五 『平』1679 (国印)

531 ◆伊賀国名張郡郡司等勘注 天永元・十二・十三 『平』1739 (判印)

532 ◆東大寺申文 天永二(1111)・二 『平』1743 (判印)

533 ◆權大僧都書状 天永三・十一・十一 『平』1782 (請印)

534 ◆檢非違使新家重房勘状案 永久四・十・十 『平』1861 (印判)

535 ◆撰津国正税帳 保安二年(1121) 『平』補遺45  
保安元年税帳注年年交替欠穀額拾肆萬伍仟玖(略)  
倉印貳拾六面  
不動倉拾参面 動用倉拾参面

鑑貳拾陸勾

不動倉拾參勾 動用倉拾參勾

536 ◆前安房守伴広親勘注案 大治四(1129)・三『平』2130(請印)

537 ◆大隅国正八幡宮執印行賢寄進狀案 天承元・九・十七 『平』2205  
(正宮執印僧行賢)

538 ◆本朝世紀 康治元(1142)・正・五 次有位記請印事。

539 ◆本朝世紀 康治元・正・九 〈行人眼請印事〉

540 ◆本朝世紀 康治元・正・十七 申文并請印如恒。

541 ◆本朝世紀 康治元・正・十九 今日結政請印。

542 ◆本朝世紀 康治元・二・二 請印。

543 ◆本朝世紀 康治元・二・七 度縁請印。

544 ◆本朝世紀 康治元・四・二十五 次有官符請印事(略)次有結政請印。

545 ◆本朝世紀 康治元・五・六

開勅封倉御覽宝物。(略)隨身鑑參向。〈件鑑在鈴印辛櫃也〉

546 ◆本朝世紀 康治元・六・九

被行請印事。伊勢二所大神宮祓宜以下二百餘人位記也。

547 ◆本朝世紀 康治元・七・十五 又有内印事〈新院官符〉

548 ◆本朝世紀 康治元・七・二十六 齋宮婦京官符請印也。

549 ◆本朝世紀 康治元・八・十六 為請印大嘗会官符等也。

550 ◆本朝世紀 康治元・八・十九 大嘗会官符請印事

551 ◆本朝世紀 康治元・八・十九 大嘗会官符被請印。

552 ◆本朝世紀 康治元・八・二十九 内印事

553 ◆本朝世紀 康治元・八・二十九 行内印事〈大嘗会官符等〉

554 ◆大隅国正八幡宮執印行賢寄進狀案 康治元・九・二十 『平』2479  
(正宮執印僧行賢)

555 ◆本朝世紀 康治元・十・二 又有内印事。

556 ◆本朝世紀 康治元・十一・十四 入眼事(略)次有請印事

557 ◆本朝世紀 康治元・十一・二十六 即有位記請印事。

558 ◆本朝世紀 康治元・十二・二十九 今日無請印。

559 ◆本朝世紀 康治二(1143)・正・六 勤位記請印事。

560 ◆本朝世紀 康治二・閏二・三 次同官符有請印事

561 ◆本朝世紀 康治二・四・五 行位記請印事。

562 ◆本朝世紀 康治二・五・二十八 次有度縁請印事。

563 ◆本朝世紀 康治二・六・二十九 行内印事

564 ◆本朝世紀 康治二・七・二十三 行内印事(略)〈大隅国司籤符也〉

565 ◆本朝世紀 康治二・七・二十五 向結政。請印件等官符二枚了。

566 ◆本朝世紀 康治二・七・二十九 向結政行請印事。

567 ◆本朝世紀 康治二・八・十一 參仗座。行位記請印事。

568 ◆本朝世紀 康治二・八・二十 參仗座。行内印事。

569 ◆本朝世紀 康治二・十・三 行位記請印事。

570 ◆本朝世紀 康治二・十一・九

為字佐使。同使官符有請印事。少納言(略)勤内印事。次有結政請印。

571 ◆本朝世紀 康治二・十一・十二

行内印事(略)改官符文所請印也。(略)又有位記請印事。

572 ◆本朝世紀 天養元(1144)・正・六 位記入眼之後。請印延引。

573 ◆本朝世紀 天養元・正・七 被行位記請印(略)是昨日位記請印延引。

574 ◆本朝世紀 天養元・二・十二 度縁請印。



- 593 ◆本朝世紀 久安元・十一・二十五 女叙位記入眼請印事。
- 592 ◆本朝世紀 久安元・十一・二十三 女叙位(略)入眼請印延引。
- 591 ◆本朝世紀 久安元・十・二十九 度緣請印。
- 590 ◆本朝世紀 久安元・十・二十八 次內印。
- 589 ◆本朝世紀 久安元・六・二十九 內文并位記請印。
- 588 ◆本朝世紀 久安元・五・三 又度緣請印。
- 587 ◆本朝世紀 久安元・四・八 上卿被行內印(鹿嶋文并他官符)
- 586 ◆本朝世紀 久安元(1145)・二・十二 度緣請印。
- 585 ◆紀伊国大伝法院陳狀案 天養二・三・二八『平』2554(印璽/請印)
- 584 ◆本朝世紀 天養元・十二・三十 次內印。
- 583 被行官符內印。(略)又宇佐宮被調進御裝束。件官符同請印。
- 582 ◆本朝世紀 天養元・九・二十六 內印(伊勢介以下任符)
- 581 ◆本朝世紀 天養元・十・二十三 先內印。〈群行長奉送使官符。并若狹守泰重罷符〉
- 580 ◆本朝世紀 天養元・七・二十七 內印(齋宮群行官符等)
- 579 ◆本朝世紀 天養元・四・十九 請印之間。座席無人。下謂違例。上卿參內。被行內印。
- 578 ◆本朝世紀 天養元・三・十 次內印(金剛勝院御封官符)
- 577 ◆本朝世紀 天養元・三・六 着仗座。被行位記請印。
- 576 ◆本朝世紀 天養元・三・四 內印(鹿嶋符。并造伊勢齋宮寮使官符)
- 575 ◆本朝世紀 天養元・二・十三 一代一度大仁王會官符請印。

- 613 ◆本朝世紀 久安三・八・五 是則中務大輔平清盛朝臣贖銅官符請印也。
- 612 ◆本朝世紀 久安三・七・一 少納言藤能忠勤請印事。
- 611 ◆本朝世紀 久安三・六・十九 參仗座。被行內印事。
- 610 ◆本朝世紀 久安三・五・二十九 月次祭三箇国召龜甲官符請印也。
- 609 ◆本朝世紀 久安三・五・十三 有度緣請印事。(略)參結政行之。
- 608 ◆本朝世紀 久安三・四・一 次申文如常。次有請印事。
- 607 ◆本朝世紀 久安三・二・二十七 參仗座。行位記請印事。(略)春日行幸勸賞位記等欲請印之處。中務輔不候。
- 606 ◆本朝世紀 久安三・正・三十 左大臣(有仁)依病上表(略)解此左相之印。
- 605 ◆本朝世紀 久安三(1147)・正・五 次有位記請印事。
- 604 ◆本朝世紀 久安二・十二・十九 又有度緣請印事。
- 603 ◆本朝世紀 久安二・十一・四 被立宇佐使。權大納言藤宗輔卿參仗座。(略)官符等有請印事先內印。少納言源俊長。左近將監藤仲盛從其事。次參議教長朝臣率少納言能忠等向結政。有外印事。
- 602 ◆本朝世紀 久安二・十・四 次有位記請印事。
- 601 ◆本朝世紀 久安二・九・九 位記請印事。
- 600 ◆本朝世紀 久安二・八・二十四 參仗座。行內印事。(略)〈暲子內親王封戶符。甲斐国司符也。〉
- 599 ◆本朝世紀 久安二・六・五 勤請印事。
- 598 ◆本朝世紀 久安二・四・八 又有先僧御詵經度緣請印事。
- 597 ◆本朝世紀 久安二・四・三 勤請印事。是則東寺別當任符也。
- 596 ◆本朝世紀 久安二・四・一 次被行內印。
- 595 ◆本朝世紀 久安二・二・十九 勤請印事。
- 594 ◆本朝世紀 久安二(1146)・正・五 即有請印事。

- 614 ◆本朝世紀 久安三・八・十六 次有位記請印并内印事。  
615 ◆本朝世紀 久安三・九・二十一 勤請印事（陸奥安房兩國計歷符也）  
616 ◆本朝世紀 久安三・十・二 勤請印事。  
617 ◆本朝世紀 久安三・十・十四 参仗座行内印事（但馬国司籤符也）  
618 ◆東大寺别当寛信書状案 久安三・十二・十 『平』2638（請印）  
619 ◆本朝世紀 久安三・十二・十九 勤請印事（上総。信濃国。天治二年長承二年等符請印也）  
620 ◆本朝世紀 久安三・十二・二十 着官庁聴政。少納言俊長勤請印事。  
621 ◆本朝世紀 久安四（1148）・正・五 留仗座。行清書并位記請印事。  
622 ◆本朝世紀 久安四・正・十九 今日戌時。外印被納官文殿。少納言源俊長。権少外記中原長俊。史生藤井俊貞等参仕。取出印櫃納官文殿。是則修造外記庁之故也。  
623 ◆本朝世紀 久安四・二・二十七 参仗座。行内印事。  
624 ◆本朝世紀 久安四・四・十八 着結政座。行請印事。齋院司申三年一請大宰府蛞蝓袋蛞蝓笠官符也。  
625 ◆本朝世紀 久安四・五・八 着官結政座。行請印事。是則来十日法勝寺千僧御読経度縁也。  
626 ◆本朝世紀 久安四・六・二十三 勤庁事。是則紀伊国造官符請印也。  
627 ◆本朝世紀 久安四・六・二十六 主上駕腰輿幸撰政（忠通）近衛第。（略）少納言藤能忠参。出鈴印辛櫃。  
628 ◆本朝世紀 久安五（1149）・正・十一 請印符二枚（遠江参河等計歷）  
629 ◆本朝世紀 久安五・正・十六 宗輔卿欲申行内印。（略）任符未被請印者。其□不請印他符。是先例也。是則伊予守盛章朝臣任符也。仍不被請印。件朝臣無音下向云々。頗希代事也。  
630 ◆本朝世紀 久安五・四・三 今日所請印諸国重任符也。  
631 ◆本朝世紀 久安五・四・十 次有請印事。  
632 ◆本朝世紀 久安五・四・十五 勤請印事。是則藏人右衛門少尉源経光檢非違使符也。  
633 ◆本朝世紀 久安五・四・十九 参仗座。行内印事。（略）是鹿嶋使符并伊予老岐等国司任符也。抑伊予守盛章朝臣。去比不賜任符下向已了  
634 ◆本朝世紀 久安五・五・十四 有千僧御読経度縁請印事。  
635 ◆本朝世紀 久安五・六・六 参仗座。行位記請印事。  
636 ◆本朝世紀 久安五・七・二十二 下野守藤宗国申請條事。大式卿申請條事等請印也。  
637 ◆本朝世紀 久安五・八・八 参仗座。行内印事（略）（下野守宗国任符也。）  
638 ◆本朝世紀 久安五・八・十七 勤請印事也。  
639 ◆本朝世紀 久安五・八・二十五 参仗座。行位記請印事。  
640 ◆本朝世紀 久安五・九・二十五 参仗座。行内印事（若狭守藤清□任符）  
641 ◆本朝世紀 久安五・十・二 次忠基卿帰参仗座。行内印可事  
642 ◆本朝世紀 久安五・十・十二 有内印事（大神宮山口祭符也）  
643 ◆本朝世紀 久安五・十一・七 次有内印事（祿綿符）（略）次有結政請印（通

- 送符) (略) 又左中弁朝隆朝臣參陣。上卿仰官符事。而不加判。參上向梅宮祭。請印之間。少納言成隆稱無弁暑抑留之。然而事罷不能愁請印。頗非穩便子音歟。其後弁追加暑云々。
- 644 ◆本朝世紀 久安五・十二・十  
次有位記請印事(略) 又有請印事(北政所准后符也)
- 645 ◆本朝世紀 久安五・十二・十三  
勤請印事(伊勢大神宮遷宮。山口祭符。長門國計歷符也)
- 646 ◆本朝世紀 久安六(1150)・七・二十四  
次有位記請印事(略) 次有內文請印事。
- 647 ◆本朝世紀 久安六・七・二十五 勤請印事。仁王會及檢非違使等符也。
- 648 ◆本朝世紀 久安六・八・十三 中宮大屬左大史惟宗信弘就外記局受印一枚。
- 649 ◆本朝世紀 久安六・八・十六 內印事(和泉若狹等任符也)
- 650 ◆本朝世紀 久安六・八・二十四 還着仗座。內印事。〈中宮封戶省符等〉
- 651 ◆本朝世紀 久安六・九・二十二  
勤請印事(太政大臣從一位叙符并新任檢非違使等符也)
- 652 ◆百鍊抄 久安六・九・二十六 入道大相國(忠実)取藤氏長者印并朱器大盤。渡左大臣(賴長)。此間喧嘩多端。
- 653 ◆本朝世紀 久安六・九・二十六 即以左大臣可為藤氏長者之由。被定行。稱撰政讓給。被渡朱器大盤及氏印。
- 654 ◆本朝世紀 久安六・十・十六 參仗座。被行內印事(同造宮使符也)
- 655 ◆本朝世紀 久安六・十・二十八  
着庁聽政。(右衛門權佐平範家權非違使符請印也)
- 656 ◆本朝世紀 久安六・十一・十三  
着庁聽政。(伊勢造宮使符。八十一枚請印也)
- 657 ◆本朝世紀 久安六・十二・一 令作重仁親王叙三品位記。即有請印事。
- 658 ◆本朝世紀 久安六・十二・一 (經宗卿記)  
先之。忠雅卿依為位記請印。上卿被參內了。
- 659 ◆本朝世紀 久安六・十二・八 撰政室家以所被建立之堂為公家御祈願所之由。被成官符。件符今日請印故也。
- 660 ◆本朝世紀 仁平元(1151)・正・六 入眼請印如常。
- 661 ◆本朝世紀 仁平元・正・二十二  
行鹿嶋香取宮司并使等官符內印事。但不經闕白內覽云々。
- 662 ◆本朝世紀 仁平元・二・十五 檢非違使官符被請印了。
- 663 ◆本朝世紀 仁平元・六・二十七  
伊世太神宮并豐受宮祢宜等各賜一階位記請內印。
- 664 ◆本朝世紀 仁平元・八・十三 次齋內親王封戶省符請內印。
- 665 ◆本朝世紀 仁平元・九・十六 着右仗。行內印事。但馬守藤定隆籤符。
- 666 ◆本朝世紀 仁平元・九・二十五 請印造太神宮使官符也。
- 667 ◆本朝世紀 仁平元・十・六 着仗座。被行內文請印。是豐受宮土宮使官符也。
- 668 ◆本朝世紀 仁平元・十一・二 請印官符了。
- 669 ◆本朝世紀 仁平元・十一・七 着仗座。行內印事。肥前守源俊保籤符

- 671 670  
◆本朝世紀 仁平元・十一・十四 着仗座。行内印事。  
◆本朝世紀 仁平元・十二・八  
今日被請印太神宮祓官等位記并三品重仁親王省符。
- 672  
◆本朝世紀 仁平元・十二・二十六 勳請印事。  
◆本朝世紀 仁平元・十二・二十八 從請印事。  
◆本朝世紀 仁平二(1152)・正・五 行位記請印事。  
◆本朝世紀 仁平二・正・九 行入眼請印事。  
◆本朝世紀 仁平二・二・六 被行鹿嶋使官符内印。  
◆本朝世紀 仁平二・二・十五  
着結政座被行度緣請印事。是依千僧御誦經并御賀請僧事也。
- 673 674 675 676 677  
◆本朝世紀 仁平二・三・十 着仗座。被行御賀勳賞位記請印。  
◆本朝世紀 仁平二・三・十六  
石清水宮權別当。玄清信乃国計歷。美作国重任僧事等官符被請印也。  
(略)今日依召還流人可被行結政請印。而依參議不參延引。
- 678 679  
◆本朝世紀 仁平二・三・二十九 依少納言不參。結政請印延引。  
◆本朝世紀 仁平二・四・五 參結政所請印召還流人賴盛之官符。  
◆本朝世紀 仁平二・四・十 少納言実経從請印事。  
◆本朝世紀 仁平二・六・十 其後有内印事。諸国任用官符也。  
◆本朝世紀 仁平二・六・二十三  
着仗座。行内印事。是豐受宮造宮使親成符也。諸国任用官符同請印。
- 680 681 682 683 684  
◆本朝世紀 仁平二・七・一 檢非違使義康官符請印也(略)從請印事。  
◆本朝世紀 仁平二・七・八  
着庁聽政。是造太神宮判官主典并諸国召物符等也。少納言実経從請印事。
- 685 686  
◆本朝世紀 仁平二・八・十七  
着庁聽政(造豐受宮官符請印也)少納言成隆朝臣從請印事。(略)被行内印。是伊勢豐受宮造宮使判官主典并諸国召物符等也。
- 687 688  
◆本朝世紀 仁平二・九・七 右衛門權佐顯遠檢非違使官符請印也。  
◆本朝世紀 仁平二・九・八 行内印事。(略)又有結政請印事。  
◆本朝世紀 仁平二・十・四 藏人左衛門尉藤賴業檢非違使官符請印也。  
◆本朝世紀 仁平二・十・十三  
少外記中原景良法申。弁一人之由請印官符新賞会文一枚也。
- 689 690 691 692  
◆本朝世紀 仁平二・十一・四  
着仗座奏宣命。并行内印事。(略)參陣結政。請印官符。
- 693 694 695 696 697 698 699  
◆本朝世紀 仁平二・十二・二十  
行請印事。豐受太神宮造宮使大中臣家親并賀茂神主保久等官符請印也。  
◆本朝世紀 仁平二・十二・二十二 豐受宮造宮使判官主典等官符内印。  
◆本朝世紀 仁平三(1153)・正・五 忠基卿。雅通朝臣行入眼請印事。  
◆本朝世紀 仁平三・正・十六 次權中納言忠雅卿着仗座行位記請印事。  
◆本朝世紀 仁平三・三・十九 權中納言経定卿着仗座。行位記請印事。  
◆本朝世紀 仁平三・四・七 着庁聽政。少納言教宗從請印事。  
◆本朝世紀 仁平三・五・十九 左大臣着座之後。始被行結政。(略)着結政不着庁(略)少納言教宗少外記中原師尚。史生俊貞從請印事。
- 700 701 702  
◆本朝世紀 仁平三・六・二十 着仗座。有内印事。  
◆本朝世紀 仁平三・七・三 從請印事。  
◆本朝世紀 仁平三・七・二十 少納言成雅朝臣隨請印事。

703 ◆本朝世紀 仁平三・八・十六  
次有内印事（下野薩摩等裁符。仮（役）田任用民部省封戸等文也。）

704 ◆本朝世紀 仁平三・八・二十八  
此間有七道諸国清祓官符内印。（略）（史申云。七道諸国官符請内印。左右京職官符請外印云々。雖然依難參結政混合請印云々。）

705 ◆本朝世紀 仁平三・九・四 下野守義朝申請條事官符請印也。

706 ◆本朝世紀 仁平三・九・十四 又有内印事（長奉送使官符也。）

707 ◆本朝世紀 仁平三・十・六 着仗座。有位記請印事。

708 ◆本朝世紀 仁平三・十・二十六 依石山別当官符請印也。

709 ◆本朝世紀 仁平三・十一・一 着結政座。有申文并請印事。

710 ◆本朝世紀 仁平三・十二・十九 從請印云々。

711 ◆本朝世紀 仁平三・閏十二・二十八

晚頭。中納言公能卿。參議師長卿着庁。弁官不參。（略）上卿無答。祐安退後。即捧内印文。覽上卿。退立庁廂西第三柱西際。北面。上卿覽畢。外記進取筥

退出。次少納言（略）少外記（略）史生（略）從外印請印。了引參陣。少納言着陣掖床子。少納言侍物部助正取大弁前床子立少納言前。次史生俊貞入官符并内案於筥。覽少納言。見畢。史生取筥退出。挿文杖。（内案一枚統一加立様差之。官符一通横刺。）立敷政門代外。此間上卿召藏人長定奏事由。問内侍候否。次少納言起座。進軾申云。漏庁覽（太）文横挿（尔）候（牟）。上卿許之。少納言退挿笏取杖。居小庭。（筒居）。上卿目之。少納言微唯。就膝突覽之。了返給。即取副文杖退出。史生付内案於外記。外記納筥參殿下。左府内覽。帰付内案於史生。史生刺内案於文杖。（立様挿也。）少納言取杖立小庭。上卿起座。

（頃少納言可付内侍。而依内侍不候。上卿付藏人。）就弓場以藏人長定奏聞。不侍勅退出。（略）次召將監俊宗仰印事。次少納言成隆朝臣。右近將監俊宗主鈴等從事。（於官符者入筥置案上。持參）次少納言取案上筥覽上卿。即返給。置

案下。取出文書一枚請印（主鈴捺之。）少納言進筥退出。次召外記下給云々。

712 ◆東大寺觀世音寺文書目錄 保元三・六・十五 『平』 2933 (奈印)

713 ◆金剛峯寺官符等奉納狀 平治元・七・一 『平』 3000 (国印)

714 ◆東大寺文書出納日記 応保元・九・二十一 『平』 3180 (正印)

715 ◆大隅国台明寺住僧等解 応保二・五・十五 『平』 3220 (執印)

716 ◆大隅国台明寺住僧等解 応保二・十・二十九 『平』 3230 (執印)

717 ◆紀伊国大伝法院僧都重解案 応保二・十一 『平』 3234 (正印/官印)

718 ◆薩摩国新田宮前執印桑田信包請文 長寛二・六・一 『平』 3281 (執印)

719 ◆藤原太子解 仁安二（1167）・四 『平』 3423 (執印)

720 ◆百鍊抄 仁安二（1167）・九・三十 可幸大内。當太白王相方。内侍所劍璽已下累代御物皆悉取出之。内印雖在煙中不燒。櫃燒失了。（後新造納之。）

721 ◆太政官符 承安二（1172）・二・二十八 『平』 3594 (印)

722 ◆続左丞抄 1

印事（文字旧損新寫之。）  
太政官符中務省

応鑄充壹面事 〈以下字損〉

右得正二位行大宰權帥藤原朝臣光隆今月十九日奏狀稱。得在庁官使去十月十三日解狀稱。謹檢案内。印者奉安。置府院內。鑑者一府官所受領也。而去寿永二【六】年口逆之時。軍兵等最先依乱入府院。於印者奉取。奉至于鑑者。受領府官逃入山林之間奉懸頸。希有所不奉失也。因符其後謂奏書謂府符。不能捺印。宰府陵遲尤在斯事。就中八幡宇佐宮還御之日。令貢進着緋六通之例也。不捺者定以可謂違例歟。望請府裁。速奏聞公家。奉鑄下府印。被遂行希代神事真勅在言上如件者。任在庁官人等申狀。欲被鑄下件印者。正三位行權中納言平朝臣親宗宣。奉勅。任先例令鑄下者。省宜承知依宣行之。符到奉行。

右少弁正五位下藤原朝臣〔資実〕  
修理東大寺大仏長官正五位上行左大史小槻宿禰

建久四年十一月廿八日

723 ◆統左丞抄 1

〈近例二斤也〉

熟銅貳斤 〈下大藏〉

白鑄參兩 〈直〉

荒炭貳斛 〈直〉

油貳合 〈直〉

腸陸兩 〈直〉

細布伍尺

不見

伊予碓半顆 〈下大藏〉

右大宰府印壹面料。内匠寮所請如件。

建久四年十一月廿八日

權中納言平朝臣親宗宣。宜充之。

右少弁藤原朝臣〔資実〕奉

724 ◆統左丞抄 1

応令大藏書博士勘申大宰府印字樣事

右右少弁藤原朝臣資実伝宣。權中納言平朝臣親宗宣。奉勅。件字樣宜令彼書博士勘申者。

建久四年十一月廿八日

左少史 三善 奉

725 ◆統左丞抄 1

右少弁藤原朝臣資実伝宣。權中納言平朝臣親宗宣。奉勅。大宰府申請印壹面。宜仰内匠寮令鑄進者。

同日 左少史三善 奉

726 ◆内裏儀式 少納言尋常奏式

皇帝御紫宸殿時左近衛將監一人引近衛一人開左掖門〔他時效此〕大舍人詣延政門叩門少納言付奏案於闈司闈司就位奏云少納言姓名〔我〕申給〔牟止須流〕政〔乃〕案文奉〔止〕申勅曰將來升自南階進差退待御覽訖勅曰令申闈司伝宣云姓名等〔乎〕令申掃部寮立漆案於版下少納言就位奏曰太政官奏〔久〕某国某使等〔乃〕進〔礼留〕若干尅〔乃〕鈴若干口若干尅伝符若干枚進〔止〕申勅曰收之稱唯又云某事〔爾〕縁〔氏〕某国某人〔爾〕給若干尅鈴若干口若干尅伝符若干枚官符若干枚合賜〔流〕鈴若干口伝符若干枚官符若干枚〔爾〕印賜〔止〕奏勅曰取之稱唯喚主鈴名主鈴稱唯少納言退立廊前主鈴就櫃取印少納言引復就位主鈴捺之少納言監之訖奏云印捺〔都〕勅曰給〔弊〕少納言稱唯引主鈴收印退出掃部寮撤案若有可毀文者不捺印勅曰訖稱唯即奏云縁某事賜〔止〕文若干枚依事改毀〔留〕勅曰毀〔礼〕稱唯又奏季禄位禄馬料事者捺印勅曰訖奏云可賜某禄人等總若干人〔位禄稱五位以上若干人 季禄馬料稱司々人等〕就中中務省申〔世流〕人数若干人式部省申〔世流〕若干人兵部省申〔世流〕若干人可給某色物若干於大藏可給若干於国々可給若干可賜事〔乎〕申賜〔止〕奏又奏調物数云某国守姓名等可進某年御調某物若干進〔流〕事〔乎〕奏〔久止〕申並案内勅答〔其奏調物者奏一両国可進耳〕

727 ◆西宮記〔臨時1 甲〕 内印

一内印 上卿着庁、先見内文。〔儀在政事中。有誤文者、上卿着陣仰外記覽。〕

上卿着陣。〈着外座。納言・參議間、一人可相具。〉少納言覽內案。〈有橫刺文。少納言就膝突、申事之由之後覽之、挿書杖、候小庭。上卿目少納言微言唯就膝突進文。上卿取之、見了、〈近代不卷返。〉返給。少納言取文加杖退出。或少納言有不膝突者、凡人不可為例。〉內侍進倚、〈渡小庭。兩日、經宜陽西御上、聞內侍宣歸。〉着座。〈有臨時位記者、上卿令持位記於內記付內侍。內侍奏聞。返給、上卿進倚取笏、令持內記着座。召近衛府・少納言等、立廊下之時、少納言覽官符召中務輔給位記笏。少納言印位記之後、輔進宮之後印官符。〉上卿召近衛府。〈大將召政人。〉將監候小庭。〈雨、候宜陽壇上。〉上卿云。印。〈天。〉將監稱唯。將監・少納言・主鈴召印。〈將監出自敷政門。少納言等入自日華門、立長樂門橋西。兩日、立廊中。〉掃部寮立案。〈立軒廊中間。〉少納言就案。〈主鈴置印案上。將監在南。〉少納言覽官符。〈有省符者、不覽案。〉上卿見了、返授。少納言持官符歸案下。主鈴取官符捺之。畢、少納言以下共納印。掃部撤案。少納言退出自日華門。無內侍奏聞、以命婦・女藏人為代。無中務輔者、可奏聞用近衛將。無主鈴者、又用中務錄・主殿屬為代官。陣覽官符。〈豫奏聞。〉上卿着陣。外記覽官符。〈入宮。〉上卿就御所奏聞、返給、着陣。外記取官符退出。上卿召將監之儀、如常。少納言覽官符。同例陣覽請印。次請印位記、有恒例。〔略〕

內印文。位季祿〔文〕、下詔書文、預官社文、下駄鈴文、出器仗文、免課役文、封戶雜田文、遷穀文、諸國國司一分・郡司〔主政・主帳〕講読師任符、五位以上出畿外事、百姓改貫文、斷罪文、主神司任符、下諸國勘判文、損田使文、民部封省符、〔雜田〕用正稅文、諸社大神宮司任符、下諸國大祓文、〔給京職者外印。〕交替・損田等使文、治部國分僧尼文、宮內采女文、給諸國內供供米文、大宰・畿內統領文。

已上、近代所見文、自餘好可尋。內外觸類甚多、內案小書枚文半紙。〔延喜十三年八月五日、神位記・僧任符、同捺印事。同十三年三月廿二日、神位記・人位記、一度捺印事。內侍所印二面〔一朱 一墨〕〕寬平四年正月廿二日、於左近陣外捺印事。

◆西宮記 (臨時1 甲) 外記政〔在庁例〕

諸卿着左衛門陣、〔略〕次申文、〔略〕請印、〔有內文先可覽。外記持笏參進屈行。〕

〔覽大臣可膝行置笏〕置上卿前案上、拔笏立南廂西二間東面。上卿見文如例。乃外記取退。內文中有難書入內之後、仰外記。少納言着床子。〔入自西戶北行。雨儀、入自南小戶。〕外記捧笏文、入自西戶渡庭。史生捧印櫃在後。外記入自東第四間、至上卿前一許丈、秉笏屈行三度、置笏於上卿前案上。於大臣者跪膝行三度置。此間、史生入自印机間、即置印櫃於案上、取出印壺置櫃上、即出印置丹盤。外記屈行退立、拔笏左廻、經印机西柱西辺、以左袖摩柱西辺。越退之間、史生拔笏早速走退了摩史生走下砌外。外記渡印机南、就南庇床子。〔在東二間庇。〕上卿置笏、〔左尻下。帶劍人置右方。〕以右手〔入指〕曳〔寄笏、先以卷文、置笏外右辺。有毀符置笏左。〕〔元置櫃也。〕一々開笏文、有散落文不取留、急書可用意。次見卷文及毀符。訖、毀符如元、橫置於文上。即以左右手推笏把笏。外記立床子手勅道〔進カ〕至上卿前、〔入自印東間也。〕挿笏屈行、三。取笏、〔有難書者、上卿以右指懸笏。外記拔笏跪候。上卿仰難言。〕

外記稱唯、立取笏。〔經印机西柱西辺、立同机異角、北面召史生名。史生於西戶外唯、〔雨儀、於本座唯、入自南小戶。〕趁入立印机下。〕〔至外記西辺、相並立。〕外記授笏於史生、拔笏立矣。史生挿笏取笏、置印盤西辺。即以櫃置右方、取文披置板上、以鉄尺展鎮其上。把笏退立六七尺許、申云、卷文若干枚、文若干印刺寸。〔先印枚文、次卷文。有位記度縁者、同申其由。雖有數枚、史生申冊枚。過冊枚之時、少納言密奏之故也。〕上卿宣、刺〔世〕。史生稱唯、就案挿笏、収袖捺印。史生拔笏退立、申云、刺〔以ッ〕〔召使聞此音至結政、申印了由。仍弁已下出立。〕上卿宣給〔見少納言方之後可仰。〕少納言摩靴、乍居唯了摩史生就案、入文於管授外記挿笏立矣。有毀符者、史生授管於外記、举印板西避。外記正向印机、置管開毀符、申云、文若干枚ヤ留。上卿云、〔ヤ礼〕外記唯、〔此間、史生容印之鎖。〕破文入笏。史生取櫃置板上取印、入壺納櫃中、又置丹盤板上、即捧板右廻退去。史生出砌外之次、摩左履摩外記聞其音、捧笏右廻自廊西戸還出摩〔雨儀、外記行自庇西行。史生行自砌上、

入結政小戸。少納言又自同廊下退還、着本局座。無他少納言者、出立。無少納言時、四位弁出立、近代不立。上卿以下就庁之後、外記不為法申。良久徒然之時、上卿以下或起座、直渡侍從所、着淺沓、或説云、渡侍從所、是非也。今案、非有急事者、猶可渡敷。入内。是則責外記之懈怠也。又諸卿相定立座、從上臈起座出云々。

729 ◆西宮記 (臨時1 甲) 結政請印事

上卿着左仗、見官符、度縁不持入陣、參議令持官符外記向結政、出自敷政門云々、參議着北壁下(南面、中間也)、少納言着西面、外記着史座、史生居史座前印文、印文(若印度縁枚数多者、史生相替之)、旧例十二月比、請印大位記、

730 ◆西宮記 (臨時1 甲) 二省請印位記事(在年中行事)

上卿着庁。式部丞録就版、上卿召(爪)共唯、着床子、丞録立申云々、次録披文読申了、上卿云、給(礼)、共唯退出、外記請印之間、重參入着床子、録持管授史生、史生開文、(目時進授之)、史生申云、其文(二)印捺、先印位記了、史生申云々、上卿云、給(へ)、史生唯、録受文、次印官符、(兵部同之)、

731 ◆北山抄 請内印雜事/外印雜事

一 請内印雜事

凡太政官下諸国符、隨事請内外印。其頒下詔書、及預官舎・神舎、得度・還俗、増減官員、遣使使并賦鈴、新任国司赴任、五位已上出畿外、出納兵庫器仗、用正税、懲免謀役、輪調庸物色、及賜人官物、公地封戸雜田遷収穀、百姓付籍、移貫改姓、蕃人還国御馬、廢置郡駅、断罪禁制、放賤從良等類、並請内印。(給諸国者内印、給京庫者外印)餘皆外印。省請印。下諸国符、亦各准此。

凡用正稅者、一事以上、皆請内印。但、用畿内官田稻者、請外印。(民部式)凡請内印文、作二通。一通奏進、一通施行。(官式)

下諸国符、五位以上位祿事

下諸国符、男女王祿事

下諸国符、又任掾・目・史生任符事

下諸国大少領并主政・主帳等任符事

下諸国符、交易進上修理諸司料糞事

下諸国符、給守以下・史生以上任符事(復任符、不注依例任用句)

下齋宮寮符、主神司任符事

下諸国符、損田使某姓某丸等事

下諸国符、勘判報符事

下諸国符、科祓神社預等事

民部省下諸国符、收給封戸事

下諸国醫師并醫師任符事

下諸国符、充民部省主計・主稅寮等官人以下食料白米事

下大宰府符、并管内統領任符事

下諸国符、復任守以下・史生以上任符事(承和)

下諸国符、檢風水損田使等事

下大宰府符、充八幡彌勒寺造佛料穀事

下諸国符、給諸司官人季祿事

民部省下諸国符、任中四箇年間減省、年々交替無実公廩稻事

下伊勢国符、奉大神宮月次幣帛使事

民部省下諸国符、新委不動穀事

同省下諸国符、用不動穀事(開用符可委填之句例文也。有官符)

同省下諸国符、遷納全倉不動穀事

治部省下諸国符、度補国分寺僧尼等事



民部省下諸国符、減少自任中四箇年間出挙・正税公廩雜稻事

下遠江国符、以不動穀改充造伊勢豐受神宮料穀事

下諸国講読師任符事

下諸国符、充内供十禅師供養米事

下諸国符、充以不動穀左右坊城修理料事

下諸国符、正税符女孀某姓某丸事

下諸国符、給諸司直丁婦郷料事〈三百束〉

民部省下京職其国符、改居某姓△丸事

下其国符、入京故守・介復家事

民部省下諸国符、收給卍位田事

同省下其国符、開用賑給高年鰥寡孤独料不動穀事

民部省下△国符、除帳度者△姓△丸事

下其国符、某丸向温泉料正税稻事

下諸国符、充隼人司申女孀大角・隼人△丸婦郷料事

民部省下某国符、開用位祿料不動穀事

下其国、以正税符充諸司大粮事

五位已上就事出畿内并諸国事

民部省下△国符、補采女△姓△丸事

下諸国符、奉幣使△姓△丸事

下其国符、給△国押領使借物事

民部省下其国符、班田事

同省下△国符、給復其年百姓調庸事

下京職并其国改居符事

下某国符、採進法性寺御願堂料材木事

下山城国符、充修理宇治御網代料正税稻事

下某国符、充修理女官厨家雜舍料錢事

下某国符、旧御匣殿藏人△姓△丸拜氏神料正税稻事

民部省下某国符、開用齋宮寮年料米代不動穀事

一 請外印雜事

下諸国、朝集・調庸・大帳・税帳等返抄事

下諸国符、禁制殺生事

下諸国符、早採進年料銅事

下治部省符、度補諸国分寺僧事

下民部省符、承知諸国充上行位祿・季祿・女王祿等事

下治部省符、得度諸寺年分度者事

下諸寺符、補寺司等任牒事

下諸国、国司計歷事

下諸国、承知不給伝符事

下諸国符、免田租例損之外一分大半事〈損不堪符、地子田不在免除之句、官所定也。不在奉勅上宣之詞云々〉

下神祇・宮内・勘解由官省使符、充諸司要劇事

下諸国符、充大歌所月料事

下左右京職符、東西悲田院隱欄樓并養病孤子料事

下諸司符、充中宮職御月料米事

下諸国符、減省任中四箇年出挙雜稻事

下神祇官符、補坐諸国神社神主等事

下民部省符、除帳△姓△丸事

下諸国、任中四箇年間割公廩利稻十分之二充国儲事

下大藏省、充釈奠座主・問者祿事

下式部省符、補木工長上某姓△丸事

下諸国符、充内堅所粮米事〈年料之内〉

下民部省符、充源氏并諸司月料米事

下信濃国符、以牧田地子稻充上行年貢御馬冬麩直事

- 下諸司符、充作物所預・進物所・膳部等衣服并雜工雜用事  
下神祇官符、科<sub>レ</sub>祓伊勢齋宮・大宮司某姓某丸等事  
民部省下諸國符、充左馬寮申國飼御馬秣事  
下宮内省符、充齋院正月元日節儲料雜物事  
下民部省符、改<sub>レ</sub>居某姓<sub>△</sub>丸事  
下諸國符、每年耕<sub>レ</sub>作不堪佃田事  
民部省下諸國符、免<sub>レ</sub>除前司任終調庸率分事  
下式部省符、勘<sub>レ</sub>籍木工寮工部等事  
下諸司符、補<sub>レ</sub>大學諸堂得業生・陰陽得業生事  
下民部省、開<sub>レ</sub>用諸國不動倉事  
下大藏省符、給<sub>レ</sub>親王并乳母秋冬衣服事  
下諸國符、早充<sub>レ</sub>行位祿事<sub>〈責符〉</sub>  
民部下伯耆國符、任<sub>レ</sub>中四箇年間庸綿<sub>兩</sub>數准調綿進納事  
同省下諸國、准<sub>レ</sub>見舉正稅數任<sub>レ</sub>中四箇年間春進白米事  
下諸國符、充<sub>レ</sub>掃部寮申<sub>レ</sub>供御帖張席用物事  
下式部省符、承<sub>レ</sub>知五位已上上日事  
下中務省符、充<sub>レ</sub>諸司月料紙墨事  
民部省下諸國符、免<sub>レ</sub>除前司以往年年交易欠并勘<sub>レ</sub>出穀額事  
下式部省符、補<sub>レ</sub>諸司長上等任符事  
下諸國、檢<sub>レ</sub>非違使任符事  
下加賀國符、充<sub>レ</sub>賀茂齋院釀酒酢料米事  
下諸國符、令<sub>レ</sub>弁行雜事若干箇條事  
下宮内省符、諸司所<sub>レ</sub>所三年一請鋪設事  
下大藏省符、充<sub>レ</sub>嘉祥寺地蔵悔過料事  
下讚岐國符、國掌<sub>△</sub>姓<sub>△</sub>丸事<sub>〈諸國亦同。〉</sub>  
下諸國符、給<sub>レ</sub>諸司月料米事  
下諸司符、充<sub>レ</sub>齋宮寮米・十一月新嘗會料物事
- 下大宰府符、會<sub>レ</sub>赦十郡司<sub>△</sub>姓<sub>△</sub>丸事  
下尾張國符、留<sub>レ</sub>熟食行料物、諸國貢御馬使食料事  
下民部省符、免<sub>レ</sub>石見國言<sub>レ</sub>上疫死百姓事  
下同省符、返<sub>レ</sub>上前春宮坊仕<sub>レ</sub>丁事  
下諸國符、令<sub>レ</sub>立春宮坊御廚事  
下其國延期符、牽<sub>レ</sub>進年貢御馬事  
下諸國符、承<sub>レ</sub>知損田・損戶事  
下陸奥國符、交<sub>レ</sub>易進沙金事  
下周防國符、減<sub>レ</sub>行鑄錢料雜稻事  
民部省下諸國符、充<sub>レ</sub>供御并中宮年料菓事  
民部省下諸國、速<sub>レ</sub>進<sub>レ</sub>納春米事  
下式部省符、課<sub>レ</sub>試針生<sub>△</sub>姓<sub>△</sub>丸事  
下民部省符、附<sub>レ</sub>帳其<sub>レ</sub>國言<sub>レ</sub>上新委不動穀額、并填<sub>レ</sub>納官物舍事  
民部省下<sub>△</sub>國符、免<sub>レ</sub>除漂蕩年料進官庸米事  
下讚岐國符、造<sub>レ</sub>進内裏・八省・豐樂院・宮城、并壇石事  
下諸國符、殊<sub>レ</sub>致精誠勤<sub>レ</sub>修安居事  
民部省下<sub>△</sub>國符、免<sub>レ</sub>除一任四ヶ年間無直交易事  
下諸國符、追<sub>レ</sub>捕群盜并海賊事  
下諸國符、充<sub>レ</sub>諸司所<sub>レ</sub>所年大糧米事  
下諸國、營<sub>レ</sub>作無身百姓口分田、可<sub>レ</sub>弁進濟調庸未進事  
下式部省符、補<sub>レ</sub>筑摩御廚長<sub>△</sub>姓<sub>△</sub>丸事  
下治部省、得<sub>レ</sub>度臨時度者某姓<sub>△</sub>丸事  
下神祇官符、令<sub>レ</sub>行御体御<sub>レ</sub>筮事  
下其國符、齋<sub>レ</sub>内親王入京儲料・雜物等事  
下<sub>△</sub>國符、停<sub>レ</sub>止諸封家以當任所進物寄前司未進代事  
下某等寺符、別<sub>レ</sub>當右少史某姓<sub>△</sub>丸事  
下民部省符、充<sub>レ</sub>新嘗會供御并粟事

下同省符、其国勘出修理去年風水流損堰溝河防料稻事

〔有奉勅作上宣、上宣作奉勅之符。又如鹿嶋使符者、依無右狀、不見奉勅上宣。〕\*1 (\*1永本・天本・丹本にはこの後に「異損過分不堪符(事)」の項があり、ついで「地子田不在免除之句、官所定也。不在奉勅上宣之詞也、或有奉勅作上宣之符、或有上宣作奉勅之符。如鹿嶋使符者、依無右狀、不見奉勅上宣」と割注)

732 ◆律 名例律

八唐(略)六曰。大不敬。(略)盜及偽造神璽。内印。〔神璽者。依令。踐祚之日。中臣奏天神之壽詞。忌部上神璽之鏡釵。〕

733 ◆律 職制 在外長官使人有犯条

凡在外長官。及使人於使處有犯者。所部属官等。不得即推。皆須申上聽裁。〔謂。大宰国郡等長官。及諸使人於使處。有犯者。處部次官以下。及使人所詣之司属。並不得輒即推鞠。若无長官。次官執印者。亦同長官。皆須先申上司聽裁。〕若犯當死罪。留身待報。〔謂據糺告之状合死者。散留其身。待上報下。若留身。印及管鑰等。付知事次官。〕違者。各減所犯罪四等。

734 ◆律 賊盜律 神璽条

凡盜神璽者絞。〔謂踐祚之日壽璽。〕関契。内印。鐸鈴者。遠流。

735 ◆律 賊盜律 外印条

凡盜外印及傳符者。徒二年。餘印者杖一百。畜産印杖八十。亦謂。貧利之而非行用者。餘印。謂。諸司諸国之印。〔皆謂。籍以為財。不擬行用。若符行用。即從偽造行用。規避之罪科之。〕

736 ◆律 賊盜律 詔書条

凡盜詔書者。徒二年。官文書杖一百。〔謂在司尋常施行文書。有印無印等。〕

737 ◆名例律 裏書

神璽事 疏云。說文云。璽印也。古者尊卑共之。秦漢以來。天子曰璽。諸侯曰印。

738 ◆律 逸文 廐庫律 主典擅開印封官物条

凡補官物有印封。而主典擅開者。答卅。〔但此官物有封閉印記。欲開者。皆須請當司判官以上始開。而不請擅開者答卅。〕○政事要略59

739 ◆律 逸文 詐偽律 偽造神璽条

凡補偽造神璽者斬。造内印者絞。○法曹至要抄、金玉掌中抄 偽造不録所用。但造即坐。○唐律

740 ◆律 逸文 詐偽律 偽寫官文書印条

諸偽寫官文書印者。流二千里。餘印徒一年。寫。謂。倣効而作。亦不録所用。即偽寫前代官文書印。有所規求。封用者。徒二年。因之得成官者。徒詐假法。○唐律

741 ◆律 逸文 詐偽律 偽宝印符節假人出賣条

諸以偽宝印符節。及得宝印符節。假人若出賣及所假若買者。封用各以偽造寫論。即以偽印。印文書施行。若假與人。及受假者施行。亦與偽寫同。未施行。及偽寫印符節未成者。各減三等。○唐律

742 ◆律 逸文 詐偽律 盗宝印符節封用条

諸盗宝印符節封用。謂。意在詐偽。不関由所主。即所主者盗封用。及以假人。若出賣。所假及買者封用。各以偽造寫論。主司不覺人盗封用者。各減封用罪五

等。印又減一等。即事直及避稽而盜用印者。各杖一百。事雖不直。本法應用印而封用者。加一等。主司不覺。笞五十。故縱者。各與同罪。○唐律

743 ◆律 逸文 雜律 棄毀符節印條

諸棄毀符節印及門鑰者。各準盜論。亡失及誤毀者。各減二等。○唐律

744 ◆律 逸文 雜律 私發官文書印封視書條

諸私發官文書印封視書者。杖六十。制書杖八十。若密事。各依漏泄坐。減二等。即誤發視者。各減二等。不視者不坐。○唐律

745 ◆律 逸文 雜律 棄毀官私器物備償條

凡補棄毀亡失及誤毀官私器物者。各備償。〈○法曹至要抄、裁判至要抄、金玉掌中抄（謂非在倉庫而別持守者。○法曹至要抄）若被強盜者。各不坐不償。〉  
○法曹至要抄〉即雖在倉庫。故棄毀者。徵償如法。其非可償者。坐而不備。謂符印門鑰官文書之類。○唐律

746 ◆律 逸文 雜律 亡失器物符印條

諸亡失器物符印之類。心坐者。皆聽三十日求訪。不得然後決罪。若限內能自訪得。及他人得者。免其罪。限後得者。追減三等。官文書制書。程限內求訪得者。亦如之。即雖故棄擲。限內訪得。聽減一等。○唐律

747 ◆令義解 公式令 行公文皆印條

凡行公文。皆印事狀物數及年月日。并署縫處。給傳符尅數。

748 ◆令義解 廐牧令 牧駒犢校印條

凡在牧駒犢。至二歲者。每年九月。國司共牧長對。以官字印。印左髀上。〈謂股外為髀。〉犢印右髀上。並印訖。具錄毛色齒歲。為簿而通。一通留國為案。

一通附朝集使申太政官。

749 ◆令義解 關市令 官私權衡條

凡官私權衡度量。每年二月。詣大藏省平校。〈謂凡諸司及庶人。用權衡度量者。皆詣大藏省平校然後用之。其諸國并要用官者。司別給樣也。依律。雖平而不經官司印者。笞卅。即知平校日。官司題印。但唐令云。並印暑然後聽用。此令除印暑文。故不可暑。唯依律可印。即與量函不同。〉不在京者。詣所在國司平校。然後聽用。

750 ◆令義解 關市令附載

凡行人欲向關國。而請過所者。本部具錄其事及人物物數二通。申送所司。所司勘問印署。一通留為案。一通判給。

751 ◆令義解 獄令 宥除免條

凡犯罪宥除免及官當者。奏報之日。〈略〉除名者。位記悉毀。官當及免官。免所居官者。唯毀見當免。及降至者位記。降所不至者。不在追限。〈略〉宥毀者。並送太政官毀式部案注毀字。〈謂。令元授司乃注毀字。〉以太政官印。印毀字上。

752 ◆令集解 職員令 神祇官條

神祇官〈略〉惣判官事。〈謂。卜兆以上。皆既大事。是故別注供神之耳。自外諸事不可具顯。故稱總而兼之。問。總判。糺判。其別如何。答。考課及他司移送諸事。不待判官。而長官得獨行。故曰總判。判官者唯知官內尋常之事。故曰糺判。糺云。凡長官者。考事及自他司來雜事。不待判官而判之。但判官者糺判官內尋常之事。故稱長官總判。判官糺判。穴云。惣判與判官注糺判。以臨時尋常為別。不以大小為別也。私案。雖尋常。事若大者申長官令判。何者。弁官條雖尋常。弁官勘定後。申大臣令惣判故。凡應送他司事。皆為符移解。下述了。

故送他司及自他司來書者。必經長官令判。何者。施行之文必印。印即長官掌故。  
 (略) 審署文案。(謂審署者。審察主典勘造文案而署之也。文案者。施行日  
 文。繕置文案也。積云。審察史所注之文案(略)署名。故稱審署也。施行謂之文。  
 留官謂之案也。跡云。審署文案者。謂主典自勘造公文。訖判官見監印其文  
 并案署也。(略) 勾稽失。(謂勾勘也。稽稽留也。失失錯也。依律公事及文書  
 並有稽留失錯之罪。即知。稽留失錯者。行事文書皆兼之也。(略) 古記云。問。  
 判官勘校稽失。監印若為。答。勘校長官以下稽失。往來公文印之。監印知耳。  
 但无印所掌也。或說。當司之內政事稽失勘問。無所廢闕施行耳。問。若為司別  
 无印。答。案公式令。內印方三寸。下諸國公文。則印事狀物數及年月日。亦印  
 鈴尅傳符署處。外印方二寸半。太政官及諸司。案文則印之。太政官判用。諸國  
 印方二寸。上京公文及案調物則印之。自外勿用。唯師說隨後造符給宣也。(略)  
 但物云。稱不得問在外長官者。去上京遠。是故疑不申上官問。律別立文云也。  
 然則在京長官者。必申上官。可令推問耳也。(不收) 又物記依此說也。私案。  
 亦不安也。二度尚不收也。抑稱在外長官者。只長官一人歟。何者職制律云。若  
 無長官者。次官執印者。亦同長官故。又物說云。次官執印者。若無次官者。判  
 官亦同者。未知依此不何。答。次官亦同者。未知。判官何。

753

◆令集解 職員令 太政官案

太政官(略)少納言三人。(略)掌奏宣小事。(謂。公式令所謂請進鈴印及賜衣  
 服。如此少事之類是也。朱云。奏宣小事者。奏請便奏式云。請進鈴印及賜衣  
 服。塩酒。菓食。并給医薬。如此小事之類。並為便奏者是也。未知。宣一端何。  
 (略) 請進鈴印傳符。(讚云。當可用之時申給。謂之請也。至事給之日受。  
 取而進。謂之進也。朱云。少納言問鑿請進。(略) 進付飛駟函鈴。(跡云。  
 (略) 朱云。(略) 或說。少納言請進鈴印也。(略) 兼監官印。(謂。唯得監視  
 踏印。其印者。依律長官執掌也。積云。兼監官印。謂監掌捺印。不掌印矣。但  
 印者。長官掌之。若長官无者。次官掌也。見職制律也。唐令。監印者監掌之意。  
 與此不同也。穴云。監官印。謂令捺印也。但封治長官掌。无者次官掌耳。今時

754

◆令集解 職員令 中務省案

行事。惣集合印文。少納言給印也。跡云。監官印謂令踏印并封治事。但印長官  
 掌耳。問。少納言視踏印。未知誰人捺印。問。此印外印也。未知。內印諸人可  
 令捺之。答。不見令條。可有別式。主鈴式云。凡下諸公文。少納言奏請印狀。  
 訖主鈴之。但勅符位記。少納言印之。讚云。兼監官印者。掌捺官印。但印實者  
 長官掌。若无者次官掌耳。何者。職制律云。在外長官。犯當死罪者。留身待報。  
 注云。若留身印及管鈴等付知事次官者。是知長官掌之也。倉庫令云。置公文庫  
 鎖鑰者。長官自掌。若无長官者。次官掌之者。令積云。鎖鑰是輕。尚長官掌之。  
 鈴印是重。亦長官掌故也。(略) 大外記二人。(略) 掌勘詔奏。(謂。勅止詔書  
 及勘造奏文也。積云。詔書始出者。先至弁(問。公式令義云。宣奉行。謂。  
 凡詔書者。內記於御所作訖。即給中務卿。卿受詔書宣大輔。大輔奉付少輔。令  
 送太政官。故曰宣奉行也。太政大臣位臣姓。謂。自此以下。皆是外記之自中務  
 來詔書之後上所注記。故外記職掌云勘詔奏也者。令稱送太政官者。不送弁官。  
 而直送外記) 官至也。新令私記无別也。跡云。(略) 朱云。(略) 朱云。(略)  
 貞說。(略) 朱云。(略) 穴云。(略) 伴云。跡云。詔者始至中務。從中務送弁官。  
 從弁官送外記。外記勘誤不。合捺印奏。(略) 史生十人。(略) 行署文案。(謂。  
 行官人所。取文案署也。(略) (問。公式令云。行公文皆印事狀物數及年月日  
 并署。縫處。鈴傳符尅數者。未知誰人踏其印哉。答。縫寫公文之史生即捺耳。  
 然則少納言監踏印謂令史生捺耳) 左大弁一人。(略) 勾稽失。(謂。勾官內  
 稽失也。其被管稽失亦同也。積云。无別。古記云。勘校稽失。謂。官內并管  
 諸司稽失也。監印。謂與神祇官祐同也。一說。印者大弁所掌。然今外記主當耳。  
 一二。少納言官判官所掌耳。(略) 諸國朝集。(新令私記云。諸國朝集。式部  
 省散位寮兵部省皆掌朝集。未知。其掌如何何。答。弁官式部兵部。並為申雜政  
 并考選等掌耳。唯散位寮為點檢申官。請外印下國耳。(內相定) (略) 讚云。  
 諸國朝集者。為勘考選并雜務等掌之。式兵部亦為考選事掌之。但散位寮者為點  
 檢申官。官捺印下國耳) 。

中務省(略)卿一人。(略)掌審署詔勅文案受事覆奏。(謂)依公式令詔書式。御書日者留中務省為案。別寫一通印署。(略)大監物二人。(略)掌監察出納。請進管鑰。(略)古記云。管鑰謂宮門及百官諸國倉粟等鑰也。凡在御所鈴印管鑰等進付事。中務所掌。少納言兼與知耳。何以知者。少納言職掌兼知故。或說此條。少納言知鈴印傳符以外不經太政官。進付鈴印等者。又每年諸國進送太政官鈴印。官進下納中務。其不動倉鑰者不常給。因司依請給耳。或說云。主鈴。典鑰是中務之撰。不可知。但鑰者監物等。率典鑰等請進也。(略)(略)大主鈴二人。掌出納鈴印傳符。

755 ◆令集解 職員令 散位寮條

散位寮條 頭一人。掌散位(略)名帳。朝集(謂)諸國朝集使。皆於此寮判其上日也。積云。弁官式部兵部并散位寮共掌朝集。其弁官式部兵部者。為申雜務并考選事。唯散位寮為判上日也。官判其上日者。式部點檢申官。請外印下國耳。內相定也。

756 ◆令集解 職員令 玄蕃寮條

玄蕃寮 頭一人。掌仏寺僧尼名籍。(謂)在京并諸國仏寺及僧尼名籍也。積云。諸國仏寺皆知。朱云。凡住諸國寺僧尼名籍掌。何者。雜令云。僧尼。京國官司。每六年造籍三通。各頭出家年月及夏臘德業。依式印之。一通留職國。以外申送太政官。一通送中務。一通送治部云々之故。謂供宮內并在京仏事也。(略)

757 ◆令集解 職員令 左兵庫寮條

左兵庫寮 右兵庫准此。(略)天平神護元年閏十月廿五日官符云。出納兵庫器杖事。右被大納言從二位藤原朝臣永手宣備。奉勅。出納庫兵。事可重密。故先下勅。內印施行已畢。而今中務監物。仍承前例。唯與本庫知之。行符既重。檢司猶輕。自今已後。宜令諸司出納。

758 ◆令集解 職員令 太宰府寮

太宰府帶筑前國。(略)城牧。(略)又條云。凡須校印牧馬者。先盡牧子。不足國司量須多少。取隨近者充。

759 ◆令集解 神祇令 踐祚條

凡踐祚之日(略)忌部上神璽之鏡劍。(謂)璽信也。猶云神明之徵信。此即以鏡劍稱璽。積云。神璽鏡劍也。唐令所云。璽者。以白玉為之印也。

760 ◆令集解 僧尼令

僧尼。(略)僧尼何為案業事。答。雜令云。凡僧尼。京國官司。每六年。造籍三通。各頭出家年月及夏臘德業。依式印之。一通留職國。以外申送太政官。一通送中務。一通送治部。

761 ◆令集解 僧尼令 非寺院條

判許。京內仍經玄蕃知。(穴)云。問。國郡司勘知精進練行判許。京內經玄蕃者。未知。國司玄蕃判許行事何。答。取欲乞食人辭牒。三綱署而送郡。郡勘吏而加署。轉送國。國判給耳。但郡司署所者。用郡印。國司署所者。用國印耳。京內三綱僧綱玄蕃治部。以次署名亦同。其用印亦同郡國也。

762 ◆令集解 僧尼令 禪行條

凡僧尼有禪行。(略)三綱連署。在京者。僧綱經玄蕃。在外者。三綱經國郡。勘實並錄申官判下(穴)云。問。文云。在京僧綱經玄蕃。在外三綱經國郡。勘實並錄申官。判下者。案之。在京三綱經僧綱。僧綱經玄蕃。玄蕃經治部。治部申官。未知。國司直申官哉。為當。先經玄蕃哉。又官受取行之何。答。依文。經申官。官判下耳。但官勘知事由。并弁史共署印下耳。申官判下。以為一句也。下。謂判下書也。

763 ◆令集解 僧尼令 身死条

盆僧尼等身死。三綱月別經国司。国司每年附朝集使申官。其京内。僧綱季別經玄蕃。亦年終申官。〔釈云。謂。省総目録申官也。養老七年七月廿日。太政官處分。僧尼死去。并犯罪還俗者。収其公驗進於弁官。隨即毀之。寮案。注犯罪還俗字。以官印印文。又入師位。并遷寺。及還俗者。収其公驗。仍於紙後。具頭由狀。安置於省。寮案注入師位。遷寺。還俗字。以官印印之。〕

764 ◆令集解 戸令 造戸籍条

凡戸籍六年一造。〔略〕国承錯失。即於省籍具注事由。〔謂。失錯之由。具注省籍也。釈云。失錯之狀。即注著其籍耳。穴云。注事由。謂改帳而即注其由也。朱云。具注事由。謂省之所注。更籍不下国也。所注之上者。以省印印耳。〕

765 ◆令集解 田令 宅地条

凡壳買宅地。〔略〕皆經所部官司申牒。然後聽之。〔穴云。所部官司。謂郡及国相須也。〔師同之。〕〕私案。郡必經国司。為郡司不掌田宅故。朱云。貞說。不經国司者。科違令罪者。未知。申郡。郡則申国。若壳人自申国何。先云。案郡可申国。国則其書末署名。其所捺国印耳者。〕

766 ◆令集解 賦役令 調皆随近条

凡調皆随近合成。〔略〕絹絶布兩頭。及絲綿囊〔略〕具注国郡里戸主姓名〔略〕年月日。各以国印印之。〔穴云。年月日。謂国勘記国印之日耳非元輸日也。〕

767 ◆令集解 賦役令 調庸物条

凡調庸物。每年八月中旬起輸。〔略〕近国十月廿日。中国十一月廿日。遠国十二月廿日以前納訖。〔古記云。〔略〕穴云。問。畿内京戸調何處分。答。亦注戸主姓名。及以国職印。印如上。但百姓八月中旬起輸訖。近国十月廿日入官。宜放近国。以十月入期也。〕

768 ◆令集解 賦役令 口及給侍条

凡課口。及給侍老疾人死者。限十日内。里長與死家。注死時日月。經国郡司印記。〔謂。〔略〕釈云。〔略〕古記云。〔略〕穴云。〔略〕朱云。課口及給侍老疾人死。謂為免課役。并取侍人異云耳。經国郡司印記者。未知。經行事何。里長經郡。經国不何。又不待告朔計帳之時。則經国何。又印記何其志也。經国郡司印記。謂至計帳時。除取耳者。〕

769 ◆令集解 賦役令 人在狹郷条

凡人在狹郷。樂遷就寬。〔謂。〔略〕古記云。問。凡人在狹郷。未知。人戸何別。答。人者謂一戸以上。不稱一人。案戸令云。凡戸居狹郷有樂遷寬不出国境。申於本郡。當国處分者。戸令遷狀說。此令復狀頭文放耳。更无別義也。其科下之日。依公式令請内印耳。朱云。民部預於畿内斟量科下。謂不申官者。未知雖不申官。下符者必捺内印何。〕

770 ◆令集解 賦役令 雜徭条

凡令條之外雜徭〔略〕厩牧令云。牧馬須校一印牧馬者。先盡牧子。不足国司量須多少。取随近者充者。

771 ◆令集解 選叙令 在官身死条

凡在官身死。〔略〕及下国守闕者。〔跡云。下国守闕者。目掌鈴印耳。穴云。問。下国守或致仕。或待解。未知。馳馭耳。讚云。侍致仕者。且侍且申。不馳馭。致仕人者。申後未替任前。依旧理事。不合為闕。闕謂上之死及解免是也。馳馭。謂假於鈴印。判官以下不掌之說。直白文而馳申。此說劣。依文習文。鈴印并諸政等。一同判官也。守朝集年目在釐事。同判官。凡諸馳馭事。皆如常。但史生。文不明。殊勘耳。又除此使之外。灾異不馳馭而直言上耳。或云。下国守就政在京。目在身死者。史生等白文。可言上耳。无鈴故不可馳馭者。問。下国守在京。目身死者。馳馭哉。答。跡云。馳馭无妨。然則史生等得用馭鈴哉。答。白

紙言上耳。鈴印納官庫耳者。〈在跡記背〉

772 ◆令集解 選叙令 官人至任条

凡官人至任。若无印文者。不得受代。〈謂。此為主典以上立文其雜任亦准此也。積云。此條官人非唯長上。何者。外国史生。郡司。軍団被任之日。必有印文。此是笨重包經之義耳。今時行事。京官之中。武官有任。文官无任文。古記云。問。若无印文者不得受代。有限以不。答。外国不限遠近貴賤皆得印文。史生主政主帳等皆同耳。唯畿内不合。跡云。至謂任京官雜任以上皆是也。穴云。職制律貢舉。吏部格官人。有犯贓賄名教者。即與替。又條。内外官令與替者。勅到之日。即停理務。此格述令心欺以不。答。稱官人。京外官並同。番上亦有印文也。跡云。亦同。朱云。无印文者。不得受代。未知何司可出印文。答。〉

773 ◆令集解 考課令 官人景迹条

凡官人景迹功過應附考者。〈略〉皆須實錄。〈略〉先云。此書每日判官以上実勸。加主典以上署名為印。可收置者。〈略〉其前任有犯私罪。断在今任者。亦同見任法。〈謂略〉穴云。問。雜任初位犯公罪。任職事發者何。答。放名例无官犯罪條之積也。〈略〉前任後任。謂。以印文至日為定。不以遷代日。且約此此案耳。〈略〉注云。故失等者。案之。失是公罪也。問。前任後任。以何日定之。答。選叙令云。官人至任。若无印文。不得受代者。即明。以印文為定之。問。律所謂卑官犯罪。遷官事發。在官犯罪。去官事發。或事發去官等。若有異科歟。答。私案。此令為於今任考。以印文為定。彼律為原張罪生文。既遷任他司。何不勿論乎。然則。除前任断訖之外。皆以遷代日為限。縱有印文未到。但犯在前任。依律勿論也。〉

774 ◆令集解 考課令 最条

最條(略)承旨无違。吐納明敏。為少納言之最。〈略〉〈奏宣小事。請進鈴印傳符。進付飛駢函鈴兼監官印。〉

775 ◆令集解 公式令 詔書式条

詔書(略)  
可。御書。(略)  
右御書日。留中務省為案。別寫一通印署。送太政官。〈謂。御書日者。依勅旨式。取署留為案。為顯宣奉行事故也。但以御書為驗。不可更印。即下文。畫可訖。留為案者亦准此也。別寫一通者。少輔自寫。為判官以下不得參預也。積云。御書日者。依勅旨式。取署留為案耳。為顯宣奉行事故。但不印也。何者。文云別寫印署故。寫。謂少輔以上寫。為判官以下无預知故。一云。史生可寫。為職掌故者非。至太政官外記可寫。職掌勸詔奏故。跡云。留中務省為案。謂少輔以上依式署。為審署詔勅文案故。又少輔自寫繕。或說云令史生寫者非。何者。詔勅未宣行者。非司不合得觀看故也。〈略〉畫可訖。不捺外印而直為案也。〈朱先云。在可御書内。故更不印。〉朱云。職員令。中務卿職掌云。審署詔勅文案者。則知。留案亦可署名。而何稱放勅旨式署名哉。答。雖依彼令可注。而此式只稱留中務省為案。不云署名。故云爾耳。无別意者。留省為案者。不可為印者。或云。署名之所可印者。不収。額云。印无妨。寫一通印署送太政官。謂広皆印更寫故也。穴云。留為案。謂依勅書式署耳。跡云。掌審署詔勂文案故。所留之案亦署耳。問。印何。答。印於署上也。〈師云。不見可印事也。〉御書日已上不合也。師云。印署送太政官者。明神以下少輔位臣姓名行也。已上皆悉可捺。不言別故。〈略〉送太政官。謂少輔以上送耳。私案。於勅旨令史生送為是也。為覆奏訖之也。後日定。少輔已上奏耳。不依古私記也。畫可訖。留為案。問。印哉。答。不印。為在自可字内故也。〈略〉〈師同。〉古記云。(略)  
大納言覆奏。畫可訖。留為案。〈跡云。大納言覆奏。謂中務官人署盡未印。太政大臣以下自署姓名。不捺外印直奏也。〉更寫一通。誥穴云。更為誥寫。故只寫詔書云々狀年月日。不合寫中務以下也。〈師同此說。〉朱云。更寫一通誥。謂不捺印。此只寫。取詔書辭誥諸司。即毀弃也。不可署案一也之。訖施行。〈謂略〉朱云。訖施行。謂只寫詔書捺印。副官符出行耳。詔書可无人之署



名。未明。先不同。可依此式者。(略)穴云。問。更寫一通。誥訖施行者。未知。行下之日。可字已上皆寫哉。又捺印如何。答。師云。為誥所寫。然則御書日已上施行也。然則中務已下不可寫之。然則更不可煩署名。此說。可反。於又行下之時。下諸国者。捺内印。下在京諸司者。捺外印也。亦可覆請。私思。此說不合式者。仍須任式寫明神已下可字已上施行。但於印者如前說也。)

776 ◆令集解 公式令 勅旨式條

勅旨式  
勅旨云々。(略)

右受勅人。宣送中務省。穴云。受勅人。不明其色也。侍從等耳。問。勅旨送中務日。有内印也。答。不合也。跡云。勅旨云々。年月日。此不捺印故。中務覆奏耳。古記云。問。詔勅无印之文何。答。案下條。踏印之文不見也。中務覆奏。訖依式取署。留為案。穴云。中務覆奏。謂侍從奉勅。宣送中務。中務即以其勅書覆奏訖。取署印捺為案也。穴云。依式取署。謂先不署奏訖乃署耳。印如上條也。師異說上條了。更寫一通。送太政官。謂。准詔書。印署送。是詔書勅書。互相發明者也。釈云。此亦少輔以上可送。何者。為宮衛令云詔勅未宣行者。非司不得輒看故。時行事錄送。此前令錄署名。仍因循耳。送太政官勅。依上條亦印署耳。跡云。送太政官書亦捺省印。與上條互相明耳。(略)少弁以上。依式連署。留為案。穴云。(略)朱云。少弁以上。依式連署。留為案。謂不捺印也。不捺詔書案故者。而此今官加筆所云々耳。其初捺中務省印故。未知。而何。外印印六位以下位記及太政官文案者何。答。先云。此不可云太政官文案耳者。額說不定耳何。更寫一通施行。跡云。(略)朱云。更寫一通施行。謂寫勅書辭捺印。副官符出行也。不膳者。未明。後返云々。具別記也。然此依稱不膳之說所云耳。(略)皇太子監国。亦准此式。以令代勅。穴云。(略)跡云。(略)朱云。皇太子監国。亦准此式。以令代勂。謂不得行詔書耳。問。皇太子留守條。師記云。雖給鈴契。不可給内印。又不在御所事。餘公事不可行者。未知。依此式。可行令旨此何色事。答。言云々。不明決耳。額云。内印不可給。

但事行不々一決耳。)

777 ◆令集解 公式令 論奏式條

論奏式。(略)穴云。問。論奏奏事等。有捺印哉。答。師云。不見捺。但疑有捺印。朱云。問。論以下三式。捺官印以不。答。不見。然不可印。何者。不可稱太政官文案故。依下條。詔案奏案不入官公文也。(未明)但諸国奏文捺印可進。何者。諸国印上京公文等。可印故者。)

778 ◆令集解 公式令 便奏式條

便奏式。(略)右請進鈴印。朱云。謂付使并反納也。此作書。或時口奏也。隨事便者。穴云。請進鈴者。朝集使鈴亦同之。此條為偏小々耳。請進。謂鈴也。於印進時。无書而申合理。(師同之。時行事同之。)

779 ◆令集解 公式令 令旨式條

皇太子令旨式。(略)  
右受令人。宣送春宮坊。(略)春宮坊覆啓。訖留書日為案。謂。准勅旨式。亦須印署也。(略)更寫一通施行。(略)跡云。(略)朱云。問。更寫一通施行者。未知。捺印不。答。額云。可印者。未知。印給不何。又問。施行者。未知。下所管坊官。并送太政官等。答。不見。而案只可下管内諸司耳。)

780 ◆令集解 公式令 飛駟式條

飛駟式。(略)  
下式。(略)師云。飛駟書封可送下。但未審。於御所封。為當。於中務封之。可檢耳。又不見署其案。但中務受給少納言令付耳。其案不合在弁官也。又此式无文。更不副官符也。隨文習耳。問。捺内印哉。答。為公文印耳。師同之。)

781 ◆令集解 公式令 符式條

符式(略)其出符。皆須案成。并案送太政官檢勾。〈謂凡省台出符者。向太政官請內印。官即發本案。檢勾出符。其案者。以官印印之。送還本司。積云。(略)古記云。問。出符皆須案成。并案送太政官檢勾。未知。送案意。答。誤乎不誤乎為檢勾也。跡云。(略)朱云。額云。凡省符下諸國者。為捺內印進官耳。官更不可作改者。問。送太政官檢勾案。捺官印還不。答。官還後可捺本司印也。或云。捺官印可還者。不同。穴云。(略)師云。出符并案。並送太政官。出符者捺內印。官案者檢勾了後。還本司。本司捺其司印為案耳。古記云。案者即官印者。師不依之也。私思。直止出符者。捺內印後不反本司。依下條。弁官附便使令送耳。但事急。本司差使可遣者。隨狀付本司耳。若事當計會者。仍錄會目。與符俱送太政官。〈謂。依下條。有不会之事。故云當計會者。假如。刑部省為徵贖。出符諸國者。即出符之外。更副別狀云。為徵贖。下其國符一紙。准例請印之類。即其別狀者。留官計會故謂之會目。積云。假有。刑部為徵贖錢。符下諸國者。符外副別狀云。為贖錢下其國符一紙請印。此狀留官。擬準計會。是謂會目。跡云。(略)朱云。問。會目之案。送官之外。更亦可在本司者。未知。此案亦送官檢勾不。亦捺官印不。而事狀既以符案可見。何更本司留會目案意。答。捺本司印。可送官耳。又本司可有會目案者。額同也。此文。錄會目。與符俱送太政官者。未知。可出移諸司亦與移。俱送會目不。答。可送。文一端云耳。牒案亦同者。未知。捺官印。可下諸國牒何色。答。可求耳。僧綱等牒可送諸國耳。已上事額同也。何。穴云。造會目樣略依計會式耳。事當計會者。可有不会色故云爾也。可案計會式以前所也。但會目者。捺本司印進耳。為留官之故。凡移牒等。皆放符送案及會目耳。古記云。(略)注云。若事當計會者。仍錄會目與符俱送太政官者。謂假。由民部省。勘當之義倉於諸國符下。即錄民部案之目錄。及符送太政官。即官子細勘會目及符。而請印內。踏其符等。付令下諸國。其符案及會案爾以官印印之。還本。一道其事。二道此為會目。唯一道以下。不錄會目也。〉

782 ◆令集解 公式令 諸司會式條

諸司應官會式(略)自餘諸司。各本司勘審。並無漏。然後長官押署。〈謂。(略)積云。(略)跡云。(略)朱云。本司長官以下主典已上押署了。後紙所管長官覆勘押署者。未知。押署上。捺上官印以不。又无長官者。次官判官押署不。答。不明見。然押署上可捺上官印耳。〉

783 ◆令集解 公式令 天子神璽條

天子神璽。〈(略)〉謂踐祚之日壽璽。宝而不用。內印。方三寸。五位以上位記。〈朱云。五位以上位記者。未知。勳六等以上相准不。答。相准可捺內印者。穴云。五位。謂勳位亦同也。案之。六等已上也。古記云。問。上條五位以上位記。以內印印之。未知。以外詔勅書者。用內印不。答。文不云。故不應用之。然今行事。詔勅書者皆用也。〉及下諸國公文則印。〈古記云。內印。下諸國公文則印事狀物數及年月日。亦印鈴冠傳符署處。朱云。下諸國公文則印者。未知。下諸司公文何。亦有何處可印。答。依此文。下諸國公文則印者。然則。送在京諸司公文者。各可捺本司印也。但捺內印者。御所可印者。凡撰津職為京官故。下撰津職公文。可捺本司印也。不可捺內印也。又下津國之諸郡公文。可捺職印也。凡不同諸國之例也。職印則約諸司印耳者。或云。依撰津職事下公文者。捺諸司印也。依津國事下公文者。可捺內印者。貞不同。為一司故不然可者。額云。同也。額云。過所文不捺內印也。此私事書耳。不可云公文故者。穴云。下諸國。謂凡在京諸司出符移牒之類。皆經官下類者印之也。但過所是一者。无可經官故印職印耳。〈(師同之)〉自餘公文者。撰津京職下諸國者。皆請內印耳。或云。諸司下撰津之職符移牒等。若隸國事者捺內印。若因職事者外印之。師同此云。可檢是非。或云。不用內印。一事已上如諸司。何者。政所在京之故也。此說合私思也。問。此職下符管郡者。請內印哉。答。師云。可捺職印。一端如諸國下符諸郡之時。未審。外印。方二寸半。六位以下位記。及太政官文案則印。〈朱云。外印者。太政官之印也。未知。誰人可掌。答。長官可掌耳。下條讀了。太政官文案則印者。未知。於諸司送來案何。答。可捺本司印者。但或云。捺外印可還者。不收。額亦不收。出符之案。捺官印還。見符式義。穴云。私案。太

政官文案。謂下在京諸司文及雜案是。時行事。正詔勅下國時。副官符捺外印下也。古記云。問。外印。太政官及諸司文案。則印之。未知。施行文者用之不。答。於案印二。故施行文皆可用之。又問。於案文印之。未知。其限。答。在諸司案一无不印也。諸司印。謂省台寮司等。各皆有印也。朱云。諸司印。謂省台寮司皆約也。或云。被管八省等寮司更下給印也。上司之印可用者非也。依此文。不見別者。但用印字不見耳。假用本司名等耳歟。額同。問。諸司印者。未知。坊官及家司何。額云。坊官可給也。但家司不可給。穴云。寮司皆有印。〈師依此說〉。或云。寮司无印。此文諸司。謂省台庫等是。故文云。進官公文。謂寮司公文者。皆經省故也。此說為不也。方二寸二分。上官公文及案。移牒則印。謂。太政官及諸司與僧綱若三綱。相牒之類是。釈云。牒。謂太政官及諸司與僧綱及三綱相牒是也。諸國印。方二寸。上京公文及案。調物則印。穴云。依令條。不合有郡印也。師同之。朱云。郡可无印也。有國印之故者。凡印皆官作給耳。如下條案調物。謂三事也。非調。広可有他物之故。古記云。注。過所符者。随使用竹木。謂和銅八年五月一日格云。自今以後。諸國過所。宜用國印也。

784 ◆令集解 公式令 諸國給鈴條

凡諸國給鈴者。略二枚。並長官執。无次官執。謂。略釈云。古記云。略朱云。並長官執者。為有鈴関契稱並字者。凡長官在日。次官以下不可執耳。以下亦可放此義也。无次官執者。次々主典以上可執耳。凡无者身病并受假之類。皆同也。凡印等主夕還館時。封收置官庫耳。不可持還館者。於鈴稱可執人也。未知。於印何不稱乎。答。可放鈴者。穴云。略師云。次官者以次々官也。即知。判官以上全无者。主典亦可執。但史生非也。問。執鈴契行事何。答。封置庫耳。問。判官不掌鈴印。及可掌狀誰條見。答。鈴此條有文。及次官。但及判官不明。其印有判官掌文。主典无掌文。廡庫律云。官物有印封。而主典擅開者。答四十。

785 ◆令集解 公式令 車駕巡幸條

凡車駕巡幸。略留守官。給鈴契。謂。留守官者。皇太子。若不在者。餘官留守者亦是也。給鈴契者。案唐令。不給内印。但有事應用鈴契者。更副官符行下。其依上條。太子監國之日。唯得用勅旨及便奏。以外大事。不須施行。此據尋常之時。不由非常之變。若有軍機急速處分兵馬者。不拘恒法。亦得兼行。古記云。略跡云。略朱云。留守官給鈴契者。未知。内印給不。无印何可行事乎。答。不印給也。給鈴契者。為合御所之契也。鈴亦為進遣御所也。凡上勅旨式便奏式。皇太子監國。以奏勅代啓令。謂只為御所事也。広不可行諸司諸國事者。未明。後云。内印不給也。御所亦可行政故。但留守官。以外印可行公事耳者。未明。額亦不明決何。穴云。問。文云。給鈴契者。未知。有給印哉。答。雖給鈴契。若不給印者。不可得施行。然則。印亦給耳。雖云内印此一也。而據留守者。其印不從行幸哉。答。不可然。但内印數不見幾有。抑靜可檢。或云。留守官者。皇太子以下。於諸國鈴契不施行。但給鈴契本意者。為通行在所。只給鈴契。以已可不給印。其於行在所通鈴契事者。用外印耳。不可有内印之故。後師云。依文習不給印耳。但理於留守官。可有官印。然至行鈴契之時尚難矣。靜可案之。後案。上條皇太子。不得行奏事以上。但止得行便奏之小事。准此論之。留守之官。不可行中事以上及發兵之事。是知。為通行在所之說。合宜也。又内印可給之說合私思。可檢。

786 ◆令集解 公式令 給隨身符條

勘符同。然後承用。其左符。勘訖封印付使。謂。封印。猶云封也。跡云。封印。猶封也。朱云。假令。以名字等可封耳。

787 ◆令集解 公式令 京官條

凡在京諸司。為京官。略穴云。問。撰津職者為京官哉。答。然也。又問。下符撰津者。捺内印哉。答。預百姓事者捺也。預撰津事者。捺外印耳。一云。下撰津公文。猶捺外印。為政所在京内故也。又問。撰津下符郡者。未知。捺

內印。捺外印哉。別何。答。師云。可捺職印。不可請內印。尚未審耳。〈

788 ◆令集解 公式令 詔勅條

凡詔勅及事有促限。(略)不在假限。〈義云。(略)或云。此文之志。雖明日假日。而必參入有行耳。但假日始事者。隨其色。雖不掌印鈴之官。可行者行耳。〉

789 ◆令集解 公式令 受事條

太政官施行詔勅。案成以後頒下。〈義云。(略)或云。案成者。依式印署留為案之間者見義解。〉

790 ◆令集解 公式令 京出使條

凡京官以公事出使。皆由太政官發遣。(略)弁官皆令便送。〈謂。凡省台及餘司符移。應下國者。皆送弁官而請內印。官即附使送下也。積云。省台及餘司有事。應下國者。符移送弁官。而請內印。即合官便附耳。跡云。移。謂諸司移合下諸國者。申捺官內印而下耳。然上條云。出符須案成并案送太政官。事當計會者。注會目與符俱送官之處。移皆可相放也。〉

791 ◆令集解 公式令 任授官位條

其任官簿。除實屬年紀。官人連署印記。〈跡云。官人連署。主典以上皆署也。穴云。印記。謂當省印也。〉其有考解及犯罪除免者。解免之司。〈謂。(略)積云。(略)古記云。(略)跡云。解之司。謂太政官。言式部勘定可解官之狀申官。官奏聞下報符。是日錄報元任授也。免之司。謂刑部。言刑部斷官當以上申官。官奏報之日刑部移式部令注毀字。是日錄報元任授也。准前造簿。謂官注置解官之狀。刑部亦注除免之狀造簿。連署印記耳。(略)穴云。(略)私案。放考解太政官造簿耳。又問。以理去任者。只朱書注除。其考解犯罪解官。別造簿用何。答。後任日通計前勞。是已寬故云爾。免之官。謂刑部也。其諸國斷官當以上申官。官案覆。假十日程了申奏。奏報日則下符刑部。刑部移式部。於官毀訖也。式部

案注毀字。并印除注簿案是也。〉

792 ◆令集解 廐牧令 牧每牧條

其牧馬牛。皆以百為群。〈謂。凡駒犢至二歲校印。即校印之年。亦為別群。其未別間。猶從本群。積云。凡為群者為遊牝也。然則。以遊牝年為別「為別」群耳。未為別群之間。從本群耳。一云。駒犢生二歲者。即校印。即以校印年為別群耳也。〉

793 ◆令集解 廐牧令 每乘駒條

其牧長帳。各通計所管群賞之。〈謂。(略)積云。(略)案。此條記者。紛紜其旨難定。唐令。謂賞物二分入長。一分入牧子。牧子謂長上專當者。其監官及牧尉各通計所管長尉賞之。皆准印後定數。先填死耗足外。然後計酬者。此令既除准印後定數之文故。雖未至校印之歲。每責課年。乘者酬賞。不足科罰。〉

794 ◆令集解 廐牧令 死耗條

凡牧馬牛死耗(略)〈古記云。死耗者。謂依死而為減也。耗。減也。問。死耗始幾年至幾年作增減。答。始一年計。但增減停止者。將有別式。一云。賞罰共當年檢印時了。唯以乘課折死耗者聽耳。(略)問。以何日為年元。答。不明。但推以九月校印。所以亦校印次便計新。謂百為群。亦計乘課除死耗。在律私記。新令問答。生二歲為群者是也。〉

795 ◆令集解 廐牧令 須校印條

凡須校印牧馬者。先盡牧子。不足。國司量須多少。取隨近者充。〈謂。以雜畜驅使。積无別也。古記云。取隨近者充。謂取白丁充。折雜畜也。朱云。須校印牧馬。謂上條為印。此條為用人立耳。〉

796 ◆令集解逸文 倉庫令 置公文庫鎖鑰條

令釈云。鎖鑰是輕。尚長官掌之。鈴印是重。亦長官掌故也。○職員令集解太政官條

797 ◆令集解逸文 倉庫令 欠失官物條

釈云。勾印勘<sub>レ</sub>勾実是謂勾<sub>レ</sub>獲隱截哉。○要略五十九書人

798 ◆延曆交替式

勘解由使謹奏

撰定諸国司交替式事

選叙令。凡官人至任。若無印文者。不得受代。

式部省符。交替官人付解由狀事。凡国司等相代向京。或替人未到以前上道。或

雖交替訖。不付解由。因茲。去天平三年告知朝集使等已訖。然国司寬縱。曾不

遵行。仍遷任之人。不得居官。無職之徒。不許直寮。空送日月。豈合道理。国

宜知狀遷替之人必付解由申送於官。自今已後。永為恒例。

天平五年四月五日

799 ◆延喜交替式

内外官交替式

凡官人至任。若無印文者。不得受代。其内官詔書出日。即得相代。

800 ◆延喜交替式

凡内外官六分交替之程。四分為付領之期。一分為所執之程。一分為繕寫署印之

限。

801 ◆延喜交替式

凡諸国講師。准長官百廿日。読師准任用六十日内申解由与不之狀。但不与解由

狀前後連署。国司署印本牒之末。解由狀講読師署印之上。国司加暑。並限内言

上。

802 ◆弘仁式 式部

授成選位記

奏短冊訖令諸番各寫其冊。立位案訖令書位記。丞録共執位記案別記等。令史生

読冊。計会訖申送太政官讀印。外記覆勘印之如常。預択吉日申送太政官并弁官。

宣示諸司。其日式部兵部引成選人。赴官就座。唱授如常。〈事見儀式。〉

803 ◆弘仁式 式部

諸司畿内長上考選文進左弁官

在京諸司及五畿内国司勘造考選文印署。十月一日。〈外国十一月一日。〉進左

弁官。〈事見儀式。〉

804 ◆弘仁式 式部

叙任諸国郡司大少領

対試才能。計会功過。訖三月廿日以前。輔若丞自成奏案。令史生寫。前一日令

外記申可奏之狀於大臣。当日輔以下令持文簿候於内裏。大臣引奏。御定已訖即

勘籍書位記。申官請印。專當丞自書除目。録抄歷名。預択吉日申太政官及弁官。

前一日録率史生省掌置版位。并植置位記筥實標如常。〈事見儀式。〉

叙任諸国主政帳

三月卅日以前。比較対試。亦同上例。訖聚其狀書。判其等第。造簿申卿取決。

即勘籍書位記請印真訖專當録自書除目。史生抄歷名。預択吉日宣示雜掌。

805 ◆弘仁式 式部

毀罪人位記

内外有位犯官當以上者。刑部處断申官。奏問訖刑部移二省。〈五位以上。移中

務省。〉并申弁官。太政官預定其日。少納言弁外記史引三省人。三省録各執位

記及位案進就版位。依次就座竝如常儀。書毀字捺印。訖以次退出。〈事見儀式并刑部式。〉

806 ◆延喜式 3 神祇 臨時祭 預名神官社

凡諸神預名神。官社等者。待官符下。更修下國符。請內印。

807 ◆延喜式 5 神祇 齋宮 納印

凡齋王歸京者。寮印授山城國令納。〈寮司任後。申官請並用。〉主神司印及長例公文。並納神祇官。備後據勘。

808 ◆延喜式 11 太政官 牒式

凡左右弁官各錄入奏并請印文書及請進駢鈴傳符等色目。牒送少納言外記錄入奏請印及請進駢鈴傳符訖之狀牒弁官。其式如左。

弁官牒少納言式

左弁官 〈右弁官准此〉

(略)

下某國為正稅帳使官位姓名事畢還任事一通若干尅駢鈴一口

下某國為位姓名任守事一通若干尅傳符一枚

民部省下某國為給官位姓名食封事一通

右三通請內印并駢鈴一口傳符一枚

下民部宮內等省為給諸司某月公糧事一通

下民部省為心徵免某季課役事一通

右三通外印

牒件入奏文書并請進駢鈴傳符及請印文書具件如前故牒

年 月 日

左弁位姓名

左史位姓名牒

少納言牒弁官式

(略)

下某國為正稅帳使官位姓名事畢還任事一通若干尅駢鈴一口

下某國為位姓名任守事一通若干尅傳符一枚

民部省下某國為給官位姓名食封事一通

右內印三通某日少納言某請印并駢鈴一口傳符一枚奏訖

下民部宮內等省為給諸司某月公糧事一通

下民部省為心徵免某季課役事一通

右外印二通某日少納言某監印訖

牒具件如前至請檢領故牒

年 月 日

外記位姓名牒

少納言位姓名〈古式少納言署於下。今改署於上。〉

809 ◆延喜式 11 太政官 内外印

凡太政官下諸司諸國符。隨事請内外印。其下頒詔書及預官社神。得度還俗。增減官員。遣駢傳使。并下駢鈴新任國司。并諸司在外国者赴任。五位以上出畿外。出納兵庫器杖。用正稅徵免課役。輪調庸物色。及賜人官物〈給諸國者內印。給京庫者外印〉公地封戶雜田遷收穀。百姓附籍移貫改姓。蕃人還國御馬。廢置郡駢。斷罪禁制。放賤從良等類。竝請內印。餘皆外印。諸省請印。下諸國符。亦各准此。〈民部省符。治部國分僧文。宮內采女符。皆請內印類也。〉

810 ◆延喜式 11 太政官 請印文

凡少納言所奏請印文。過五十張密奏。

凡請內印文作二通。一通奏進。一通施行。

凡請印文書初入之日。外記細加檢察。明日捺印。

811 ◆延喜式 11 太政官 省符

凡免除官物。先下符民部省。省修符請印。不得直下符於國。

812 ◆延喜式 11 太政官 籤符印

凡諸國史生博士醫師籤符。外記勘會補任帳。明知其補由。然後請印。

813 ◆延喜式 11 太政官 改印

凡內印公文。若脫錯心改者。少納言先申上。然後奏請改印。

814 ◆延喜式 11 太政官 毀內印

凡毀內印官符者。其請毀之下注事由。〈外印符准此。〉

815 ◆延喜式 11 太政官 改造印

凡內外諸司印。副盡心改造者。下符中務省。仰內匠寮。令請料度。官仰式部省。召書博士。就中務省。令書印字樣。即少納言中務輔寮助以上臨監。鑄造畢進奏。付弁官令給。

816 ◆延喜式 11 太政官 賑給

凡遺賑給使。奏國解訖即仰式部。二日之內進擬使文。同日弁官修符請印。訖五日內使者發去。若致闕怠者。尋情勘當。臨時緩急之使亦同。

817 ◆延喜式 11 太政官 行幸

凡行幸心經旬者。〈略〉前十餘日仰下諸國。令進國飼御馬。〈略〉左右馬寮儲負印馬。〈略〉又給陪從五位以上朝服及袍衫。其覆太政官印櫃皮。并擔夫二人。及黃衫者。裝束司充之。事畢返上。若諸司鑰匙有勅付留守官者。大臣若大納言率侍從五位以上。俱侍內裏。令典鑰等就櫃所出收。

818 ◆延喜式 11 太政官 位記請印

凡式兵二省請印准蔭成選等位記。先令印廿張已下。後更定日。參議於弁官結政所捺了。〈所須丹謬等物。預先請受。〉

819 ◆延喜式 11 太政官 位記召給

凡成選心叙位者。奏短冊後預書位記。式部四月十日。兵部十三日請印。十五日大臣已下就朝座。二省率心叙人就標位。弁大夫宣命。〈內記進宣命文。外記請其文授宣命大夫。任郡司亦同。〉畢叙人稱唯再拜舞蹈。〈任郡司拜舞亦同。〉二省互唱名授之。於曹司序行之亦同。〈事見儀式。〉若當賀茂祭。改用他日。

820 ◆延喜式 11 太政官 任郡司

凡諸國銓擬言上郡司少領者。式部對試造簿。先申大臣即奏聞。訖式部書位記請印。其後於太政官。式部先授位記。次唱任人名。如除日儀。〈事見儀式。〉

821 ◆延喜式 11 太政官 断罪

凡刑部省所申断罪文「書」者造二通。十月四日進弁官。即日史讀申。外記覆勘造論奏。廿日以前奏聞。〈謂流罪以上及除免官當。〉若有依奏及恩降。竝具狀錄刑部解後印之。訖附弁官。〈一通留弁官。一通下刑部。〉

822 ◆延喜式 12 中務省 奉詔

凡奉詔書者。使內豎喚省輔。輔稱唯入閣門。進就版位。即奉勅執詔書宮退出。〈事見儀式。〉別寫一通。印署送太政官。〈慰勞詔署不在此限。〉

823 ◆延喜式 12 中務省 叙位

凡叙內親王以下品位者。卿叙品及三位已上。輔叙五位已上。其授宮人位。畢下知縫殿寮。〈其六位已下位記者申太政官請印。〉

824 ◆延喜式 12 中務省 位記印

凡捺印五位以上并勳六等以上位記者。書位記日。少納言預告中務輔（輔不在者。近衛少將代之。）若丞并主鈴（持印板。）令候。兼令掃部寮立案於版位辺。即少納言率輔一人。進就版位奏請。〈事見儀式〉。其位案者。內記送省。省附位帳。即具注本位年紀并今授位階等。申送弁官。官申大臣。下知諸司。〈授神位及授僧尼滿位已上亦同。〉

825 ◆延喜式 12 中務省 官人考

凡 長上及宮人考選文者。十月一日輔率考選丞錄并所管諸司。共進弁官。〈諸司考選文。省卿押署。便以省印印之。〉

826 ◆延喜式 12 中務省 鑄印

凡應改鑄諸司諸國印者。隨太政官符到。即下符內匠寮。寮錄用度申省。省申官。其字樣者。官仰式部令書博士就省書之。即少納言輔及寮助以上共檢校令鑄造。少納言輔不在者。寮頭監鑄。訖即造奏文。少納言執進內侍。

827 ◆延喜式 12 內記 飛駅

凡在外官飛駅奏事者。大臣奏畢。即令內記作勅符。大臣自持昇殿上奉覽。畢少納言中務輔內記主鈴等請印。封函發遣。〈事見儀式。〉

828 ◆延喜式 12 內記 勅封

凡封駅傳勅符式。少納言。中務輔。主鈴等請印准飛駅式。內記。主鈴封函。官史發遣。〈事見儀式。〉

829 ◆延喜式 12 主鈴 請印／年料／飛駅儲料

凡下諸國公文。少納言奏請印狀。訖主鈴印之。但勅符并位記。少納言印之。凡行幸從駕內印。并駅鈴傳符等。皆納漆篋子。主鈴與少納言共預供奉。其馱者左右馬寮充之。

燃料所須朱沙十二兩。膠八兩（位記料。）練絲三兩。苧一斤。費布一丈。〈敷印板料。〉柳篋二合。〈納印板料。〉赤土一斗。年終申省請受。但銅盤二口。印板漆案二脚。緋氈二枚。並隨損請換。飛駅儲料。（略）皺文革袋一口。〈納印板筒料。長六尺五寸。広四尺五寸。〉（略）並隨用盡及破損請受。

830 ◆延喜式 15 內藏寮 油絹

凡年料油絹料。寮請取充隼人司。正端捺寮印。其結解帳彼司每年造進一通。一通留寮。一通押署返充。

831 ◆延喜式 17 內匠寮 內印／外印／諸司印／諸國印

內印一面料。熟銅大一斤八兩。白鑄大三兩。臈大三兩。調布二尺。炭三斗。和炭二斗。長功七人。〈取臈樣工二人。鑄二人。磨三人。〉中功八人小半。短功九人大半。外印一面料。熟銅大一斤。白鑄大二兩。臈大二兩。調布二尺。炭二斗。和炭二斗。長功七人。〈臈工二人。鑄二人。磨三人。〉中功八人小半。短功九人大半。諸司印一面料。熟銅大十四兩。白鑄大二兩二分。臈大二兩二分。調布二尺。炭二斗。和炭二斗。長功六人。〈臈工二人。鑄二人。磨二人。〉中功七人小半。短功八人大半。諸國印一面料。熟銅大十二兩。白鑄大一兩一分。臈大一兩一分。調布二尺。炭二斗。和炭二斗。長功五人。〈臈工一人。鑄二人。磨二人。〉中功六人大半。短功七人小半。

832 ◆延喜式 18 式部上 公驗

式部省。位姓名（年若干。某国某郡人。）右人元某色。今補某司某色任為公驗。



年月日  
輔位姓名  
錄位姓名

右印署訖告知本司。令附考帳。仍即給與。隨身為驗。

833 ◆延喜式 18 式部上 考選

凡考選文者。太政官長上番上。並作符下省。諸司諸國長上者。作解進官。官亦下省。諸司番上者。作移送省。〈但諸國作解。〉其被管考選文。皆惣官長官押署。便以司印之。

834 ◆延喜式 18 式部上 朝集使

凡朝集使事了還國者。皆待神祇。治部。民部。兵部等移。而後錄上日。申官請印。

835 ◆延喜式 18 式部上 請印

凡考選目及位記請外印。補任文学家令。銓擬郡司者。竝直申太政官。凡准蔭成選并臨時位記等。一度以廿枚已下為調印之限。

836 ◆延喜式 18 式部下 授位記

十五日授成選位記  
奏短冊訖。令諸番各寫其冊。立位案訖。令書位記。丞錄共執位記案別記等。令史生誦冊。計會訖申送太政官。十一日請印。外記覆勘。印之如常。當日式部。兵部引成選人。赴官就座。宣命畢。即選人稱唯拜舞。其後唱授如常。若當賀茂祭日者。改用他日。〈事見儀式。〉

837 ◆延喜式 19 式部下 長上考

諸司畿內長上考選文進左弁官。在京諸司及五畿內國司。勘造考選文。印署十月一日〈外國十一月一日。〉進左弁官。〈事見儀式。〉

838 ◆延喜式 19 式部下 大少領  
叙任諸國郡司大少領

對試才能計會功過。訖三月廿日以前。輔若丞自成奏案。令史生寫。四月廿日以前。令外記申可奏之狀於大臣。當日輔以下令持文簿候於內裏。大臣引奏。御定已訖。即勘籍書位記。申太政官請印。專當丞自書除目。錄抄歷名。六月廿日以前。申太政官補任之。前一日錄率史生省掌置版位。并植置位記筥案標如常。〈事見儀式。〉

839 ◆延喜式 19 式部下 主政帳

叙任主政帳。  
三月卅日以前。比較對試。亦同上例。訖聚其狀書。判其等第。造簿申卿取決。即勘籍書位記請印。訖專當錄自書除目錄。史生抄歷名。預撰吉日。宣示雜掌。

840 ◆延喜式 19 式部下 毀位記

毀罪人位記  
內外有位犯官當以上者。刑部處斷申官。奏聞訖刑部移二省。〈五位以上移中務省〉并申弁官。太政官預定其日。少納言弁外記史引二省入。二省錄各執位記案進就版位。依次就座。竝如常儀。書毀字捺印。訖以次退出〈事見儀式并刑部式。〉

841 ◆延喜式 21 治部省 度緣請印

凡度緣請印者。不經弁官。直申太政官。

842 ◆延喜式 21 玄蕃寮 諸國講誦師

凡諸國講誦師者。寮與僧綱俱孟冬一日簡定牒送省。〈其牒僧綱盡署。便捺綱所印。〉但其牒不留寮家。副寮解送省。省亦加解文共進官。即經奏聞明年二月以前下任符。其裝束程准俗官法。若有事故。安居以前不到。便令前講師或國分僧

堪之者且為講說。其供養布施料者。隨各講經日數充分。

843 ◆延喜式 2 1 玄蕃寮 講読師

凡諸國講読師不與解由狀。前後司連署踏印。國司押署。限內言上其與不之限。講読師者准俗官受領。読師者准任用。

844 ◆延喜式 2 1 玄蕃寮 授戒

凡年分度者。試業訖更隨所業。互令各論。扱其翹楚者。及聽得度。其心度者。正月齋會畢日令度。畢省先責手実申官。與民部共勘籍。即造度緣一通。省寮僧綱共署。向太政官請印即授其身。其別勅度者勘籍度緣亦宜准此。但沙弥尼度緣者用省印。

845 ◆延喜式 2 1 玄蕃寮 判授

凡沙弥。沙弥尼心受戒者。限三月上旬。集於僧綱所。先勘会度緣。然後受戒。受戒畢具錄僧數。使并十師連署進官上奏。即省於度緣末注受戒年月日。并官人署名即捺省印以為記驗。其外國沙弥。沙弥尼者。皆請當國文牒。東海道足柄坂以東。東山道信濃坂以東。並於下野國藥師寺。西海道於筑紫觀世音寺受戒。即當處官司案記印署。並准上例。仍造歷名二通。一通留國。一通附使進官。官付所司。

凡受戒時。省丞錄。寮允屬各一人。率史生各一人。與威從共向戒壇院。子細勘会官符度緣。便收取受戒者戒牒。具注後紙。以其本籍姓名。即省寮相共押署。捺以省印。五月以前下於僧綱。僧綱六月一日頒給。若有持白紙戒牒者。科違勅罪。

846 ◆延喜式 2 1 玄蕃寮 死闕

凡延曆寺僧身死者。其度緣戒牒。三綱勘取令座主毀。所毀名數。作日署印。備之檢閱。

847 ◆延喜式 2 2 民部下 職封

凡給公糧者。本司每月十一日錄移送省。省惣勘錄。十六日申官。待印書到給。但六。九。十二合三箇月。以十三日為申省期。

凡心造籍者。預前一年。省錄申官待報施行。職國官司依例勘造。其諸國附調使。太宰付貢綿使申送。檢領訖即錄白返抄。〈関市令云。行人賣之所出入関者。関司勘過。錄白案記。義云直於白紙錄之。不點朱印。故云。錄白也。積云。錄白白紙也。〉

848 ◆延喜式 2 3 民部下 用正稅

凡用正稅者。十束以上皆請內印。但用畿內官田稻者請外印。

849 ◆延喜式 2 3 民部下 免除符

凡免除雜官物符下省者。即承知行先下所司。若有執申。十五日內令勘申。過此之後。請印下符。以承知行符日。為施行符日。

850 ◆延喜式 2 3 民部下 雜米

凡諸國所送雜米者。隨送即收。且給日收。使用省印。既進畢日。返抄申官。

851 ◆延喜式 2 5 主計下 調帳損益

凡調帳損益帳者。先令貢調使進納調庸雜物十分之九。然後待主稅寮租帳勘畢移。署印下國。以為憑准。〈造二通。一通留寮。〉

852 ◆延喜式 2 5 主計下 失文

凡諸國貢調并雜物綱丁等。若失諸司収文有申官者。官先令所司勘之。即加外題。經省下寮。更寫前収文。具注其由。允屬共署。捺寮印與之。

853 ◆延喜式 2 7 主稅下 正稅帳

都合若干字

不動若干字〈穀倉若干 粟倉若干 糯倉若干 穀屋若干〉

動用若干字〈穀倉若干 粟倉若干 糯倉若干 穎倉若干 穎屋若干〉

空若干字 〈倉若干 屋若干〉

不動倉鑰若干勾 〈鑰若干勾 匙若干隻〉

動用鑰若干勾

倉印若干面 〈已上郡亦准此。〉

(略)

以前某年正稅穀類并雜用等勘録附官位姓名申上如件。謹解。

854 ◆延喜式 28 兵部省 考選

凡位記請印。及内外武官考選。叙位。除目。并季祿。馬料等類。一准式部。

855 ◆延喜式 28 兵部省 省符

凡廢置御馬。馭家。軍毅。器械等者。造省符副内案進官。請印施行。但留案捺

省印。

856 ◆延喜式 28 兵部省 移式

凡補任武官番上以上者。移送本司。其式如左。

兵部省移某司

位姓名〈年若干 某京人〉 元某司某官

右人某年月任〈若番上把笏稱補。〉某司某官訖。仍移送如件。移到任用。故移

年 月 日

錄位姓名

輔位姓

右署印訖即送本司。

857 ◆延喜式 28 隼人司 造進用途

凡每年造進油絹六十疋。〈緋卅疋。縹廿五疋 白五疋〉其料絹自内藏寮請取。即捺寮印行之(略)。其絹結解帳。每年造二通。一通送内藏寮。一通取寮押署收司。

858 ◆延喜式 29 刑部省 遠近

凡流移人者。省定配所申官。具録犯狀下符所在并配所。〈良人請内印。賤隸請外印。〉

859 ◆延喜式 30 大藏省 返上雜物

凡諸司返上雜物者。竝待符到。檢納正倉。若印書到後。一月不進者。具録色目。每月申官。不動催納。致有亡失。交替之日拘其解由。

860 ◆延喜式 30 大藏省 鹿惡買換

凡諸國所進調庸等物。緣鹿惡短狹及欠失等。若有買換者。檢納之日。便捺省印。

861 ◆延喜式 30 大藏省 商布

凡諸國所進交易商布者。其端別注其國郡。年月日。色直幅若干束。外端捺國印二處。内「一」端一處。

862 ◆延喜式 31 宮内省 諸節

凡供奉雜物送大膳。大炊。造酒等司者。皆馱擔上豎小緋幡。以為標幟。其幡一給之後。隨破請替。以内侍印印之。

863 ◆延喜式 36 主殿寮 諸司年料

凡諸祭及節會等所須油。皆待印書出充。〈數各見本司式。〉

864 ◆延喜式 39 内膳司

凡供雜物標緋幡一十六條。〈各長一尺九寸。広五寸五分。〉每年請內侍所。以內侍印印之。

865 ◆延喜式 4 1 彈正台

凡遺台官人於五畿內之儀。預定忠一人。然後尹若弼一人。忠一人。參太政官請進止。訖即參入被唱定。訖還出即作下國符。請官印及官符。訖教使忠云。除殺罪之外悉決之。

866 ◆延喜式 4 2 東西市司 沽價帳

凡每月勘造沽價帳三通送職。職押署即以職印印之。一通進官。一通留職。一通付司。

867 ◆延喜式 4 4 勘解由使 狀帳

凡勘內外諸司所進不與前司解由狀。令任用分付表錄帳。檢交替使帳等者。弁官外題下於使局。即率解文紙數。令本司本國進料紙。〈略〉諸國七通。〈上紙五通。奏并內案。端書長案解文等料。凡紙二通。草案并勘判等料。〉諸司五通。〈略〉先書其草案而隨解文所載事條。召緣事所司令勘申之。〈略〉主典已上。次官已下。次第勘判。其後長官閱彼此之所執。定勘判之得失。即書熟紙。長官已下共署進。檢校覆勘。既訖捺使印為長案。更書奏文并內案及解文等。〈略〉次官已下。相共校讀。竟則加署。〈略〉大臣奏聞之後。錄奏了狀副解文進官。〈解文捺使印。〉其奏文踏印訖。〈下外官踏內印。下內官踏外印。〉副之官符。更下使局。〈符直注奏文解文下某司某國及所司之狀。〉使局受取須行。〈下諸司奏文并解文。副官符。召惣官付之。下諸國召雜掌付之。〉

868 ◆延喜式 4 5 左右近衛府 行幸

凡行幸者。將監一人升自西階受取御劍供奉。即率近衛二人護之。亦令近衛二人護印鈴。

869 ◆延喜式 4 8 左右馬寮 御牧

御牧 甲斐國〈略〉武藏國〈略〉信濃國〈略〉上野國〈略〉右諸牧駒者。每年九月十日國司與牧監若別當人等。〈略〉臨牧檢印。共署其帳。

870 ◆延喜式 4 8 左右馬寮 返却

凡諸祭并大祓料。繫飼馬及給人馬者。皆燒返印。但臨時奉名神馬非此限。

871 ◆延喜式 4 8 左右馬寮 巡幸

凡車駕巡幸鈴印駝。用樞飼強壯者充之。

872 ◆政事要略 2 2 年中行事八月

五日有申文式部請印准蔭并毀位記事〈兵部省有請印〉今日請印。式文不明。但位記之事。略見四月五日請印樣位記部。至申文庁申文歟。西宮記云。承錄立版上召之。次丞法申。次錄法申。上卿云給〈禮〉。

873 ◆政事要略 2 2 年中行事八月

七日牽甲斐勅旨御馬事〈略〉又云。在牧駒積至二歲者。每年九月。國司共牧長對以官字印。印左髀上〈略〉續印在右髀上。並印訖。具錄毛色齒歲。為簿四通。一通留國為案。一通附朝集使申太政官。〈略〉右諸牧駒者。每年九月十日國司與牧監若別當人〈略〉臨牧檢印。共署其帳。

874 ◆政事要略 2 2 年中行事八月

十一日定官中考事 職員令〈略〉少納言三人掌奏宣小事。〈謂。公式令所謂請進鈴印及賜衣服。如此小事之類也。〉請進鈴印伝符。進付飛駝函鈴。兼監官印。〈謂。唯得監視踏印。其印者以律長官執掌也。〉〈略〉

西宮記 考定事延引例(略)

先史等自上記座。降自西階。經西庁前退出。次少納言弁各攝版退出。(略)

次少納言率外記并史生。入從西軒廊北戸。請印如例。畢退出。

875 ◆政事要略 25 十月  
奏年終斷罪儀

刑部省預修解文進太政官。外記勘定修奏。訖大臣持奏文。率參議以上。升殿奏。刑部省乃年終政書進止申。大臣奉勅語引退。即奏文并解文二通尾書勅語云々。  
一 通給刑部。一通留弁官。其奏文収太政官並捺外印。

876 ◆政事要略 60 交替雜事(賑給)

太政官式云。諸国申賑給百姓者。具注歷名言上。不得直申其狀。  
又云。遣賑給使。奏国解。訖即仰式部。二日之内。進擬使文。同日弁官修符請印。訖五日內使者発去。若致闕怠者。尋情勘当。臨時縁急之使亦同。

877 ◆政事要略 82 糺彈雜事(大不敬)

六日。大不敬。(略)盜及偽造神璽内印。

878 ◆政事要略 82 糺彈雜事(議請減贖事)

古答云。問。八唐何色得贖。何色不得贖。答。案。文云。有官者除名而已。唯有陰者即有聽贖者。不聽贖者。其謀大逆。謀叛。及偽造内印。

879 ◆朝野群載 15 陰陽道

扱可被赴向任国雜事日時(略)  
着館日時 以件日時受領印鑑  
同日壬寅 時未酉(略)

天仁三年六月七日

陰陽助賀茂家采

880 ◆朝野群載 20 異国

公憑(略)

一本州令 給杖一條 印壹顆(略)

勘一会諸蕃船州商客。願往諸国者。官為檢校。所去之物。及一行人口之數。所詣諸国。給一與引牒。付次捺印。其隨船防盜之具。兵器之數。並量曆抄上。候同日照點。不得少欠。如有損壞散失。亦須具有照驗一船人保明文狀。方得免罪。

881 ◆朝野群載 22 諸国雜事上

國務條々事(略)

一 境迎事

官人雜仕等。任例來向。或国隨身印鑑參向。或国引卒官人雜仕等參会。其儀式隨土風而已。參著之間。若當惡日者。暫返国庁。吉日領之。(略)

一 受領印鑑事

扱定吉日。可領印鑑。但領印鑑之日。即令前司奉行符。乃後領之。又著館日儀式。前司差官人。分付印鑑。其儀前司差次官以下目以上一兩人。令齎印鑑。

令參新司館。即官人就座之後。鑑取書生。以御鑑置新司前。(其詞云。御鑑進ル)新司無答(或云。答云。與之)(略)

一 尋常庁事例儀式事

長官著座之後。庶官著訖。但出入之時。各有例道。鑑取御鑑置案上。申云。御鑑進上申寸。長官无答。次又鑑取申開御鑑封由。(其詞云。御鑑封開)長官喚史生。史生動座稱唯。長官命云。令出印與。稱唯罷出。其後鑑取以印櫃。居印鑑盤之外。(上下隨便。又有国例)即申開印封之由。(其詞云。印乃封開久)長官命云。開介。鑑取出印。置印鑑之上退去。其後隨判捺印。印印之時。以判書帖。置印鑑之上。申捺印之由。(其詞云。某書若干枚印佐須)長官命云捺印(其詞云。佐世)鑑取稱唯。一々捺之。尋常之儀。大略如此。納印之時。其儀亦同。(略)

一 交替程限事

外官任訖。給仮装束。近国廿日。中国卅日。遠国卅日。除装束行程之外。百廿日為限。分為六分。四分付領之期。一分所執之程。一分為繕寫署印之限。分付受領。過其定限。解却見任。并奪俸料云。

一 扱吉日。可度雜公文由。牒送前司事

所謂前々司任終。年四度公文土代。交替廻日記。前司任中。四度公文土代。僧尼度縁。戒牒。国印。倉印。文印。駅鈴。鈎匙。鉄尺。田図。戸籍。詔書。勅符。官符。省符。譜第図。風俗記文。代々勘判。封符。代々不與状。実録帳案。交替日記。税帳。大帳。租帳。出挙帳。調帳。官符帳案。地子帳等合文。諸郡収納帳案等也。自餘公帳。随国例耳。次巡檢諸郡糶塩穀類。及雜官舎。五行器等。若有不動穀者。依丈尺商勘之。其動用穀者。簸棄土石。以実受領。次勘官舎。神社。学校。孔子廟堂。并祭器。国庁院。共郡庫院。駅館。厨家。及諸郡院。別院。駅家。仏像。国分二寺堂塔。経論等。

882 ◆朝野群載 27 諸国公文下

元永貳年十二月貳拾玖日請印目錄

山城国永久肆伍。元永元。并参箇年大帳〈損益参卷〉

同国同箇年調帳。損益帳参卷

同国同箇年朝集帳参卷

同国永久伍。元永元。并貳箇年大帳惣返抄肆枚

同国同箇年調庸惣返抄肆枚

同国元永元貳。并貳箇年雜米惣返抄肆枚

同国移参通〈正税。交易。烟数。得度。除帳〉。

已上守源師行等所濟

- 史生安倍
- 算師清原
- 少属安倍
- 権少允紀

883 【補遺】◆法隆寺伽藍縁起并流記資財帳 天平十九・二・十一 『大古』三一

五九三

合銅印漆面〈二面寺内 六面所々庄等者〉

884 【補遺】◆拾芥抄 印員部第廿二

印員

官三 国四 郡五 私六

印寸法

内印方三寸 外印方二寸半 諸司印方二寸三分 諸国二寸〈公式令〉

家印一寸五分〈貞観雜〉郷印一寸

馬牛印二寸広一寸五分以下〈弘仁格兵下〉

凡内外諸司剋尽応政道者下府中務省云々。進奏付并官令給〈延喜官〉。

## 日本古代印関係文献史料抄【索引】

(凡例)

日本古代印関係文献史料抄にみえる印関係の主要な語句を史料番号で示した。索引に採録した語句は便宜上のもので、必ずしも印文そのものをさすものではない。また、紙幅の都合上、「印」1字、「請印」については省略し、「内印」、「外印」についても、内印請印(捺印)・外印請印(捺印)を表す場合は省略した。

史料中、直接印がつかない語句については／をいれた。

〈例〉織部司言。元来無印。 → 織部司／

- |  |  |   |
|--|--|---|
| 赤符 476   | 印文字 129・137・142  | 御願／ 361   |
| 安芸国／ 137   | 印鑑 6・124・165・226・227・<br>228・231・378・442・446・<br>457・481・483・484・486・<br>492・493・509・513・879・<br>881 | 供家印 408   |
| 伊賀国／ 95  | 印鈴 783・788・868   | 宮内／ 17  |
| 位記印 824  | 氏印 653   | 公文印 780   |
| 位記請印 818   | 氏長者印 506・508・652(藤)  | 国職印 767   |
| 和泉監印 15  | 右坊城使／ 133  | 弘福／ 45  |
| 伊勢斎宮主神司／ 111   | 恵美家印 33・37   | 郡印 761・783  |
| 伊勢国／ 129   | 園池／ 90   | 契印 323  |
| 印 23(倉印)   | 円満院印 529   | 家印 122・884  |
| 印案 230   | 正親寮司／ 90   | 外(印) 358  |
| 印辛櫃 230  | 大蔵／ 17   | 外印 9・46・301・311・328・<br>331・333・336・371・372・<br>433・448・465・472・622・<br>727・735・752・755・775・<br>776・783・785・787・808・<br>809・814・831・835・848・<br>858・867・875・884 |
| 印鑑 510   | 織部司／ 98  | 結政印 215   |
| 印記 738・768・791   | 尾張国／ 108   | 検印 869・873  |
| 印机 728   | 改印 813   | 校印 748・758・770・792・<br>793・794・795  |
| 印公文 118・182  | 改造印 815  | 勾印 797  |
| 印験 132   | 戒壇院／ 112   | 郷印 884  |
| 印券文 96   | 雅楽／ 90   | 綱所印 842   |
| 印匙 146・154   | 春日齋院／ 126  | 興福／ 45  |
| 印璽 585   | 上司之印 783   | 国印 48・53・80(陸奥)・95<br>(伊賀)・155(出羽)・476・530・<br>713・761・765・766・783・<br>861・881  |
| 印署 62・88・750・754・775・<br>776・779・789・803・822・<br>832・837・845 | 官印 20・36・38・53・55・73・<br>83・127・132・152・717・753・<br>763・774・777・781・782・<br>783・785・865・874          | 国郡印 53  |
| 印署日記 147   | 監印 752・753・808   | 穀倉院印 79   |
| 印書 51・59・101・847・859・<br>863                                 | 勘印 802   | 斎宮寮／ 16   |
| 印暑 749   | 観察使印 64・67   | 西隆／ 45  |
| 印状 104   | 官司印 749  | 左相之印 606  |
| 印字様 815  | 官司題印 749   | 讃岐国／ 105  |
| 印壺 728   | 官字印 748・873  | 私印 134・361  |
| 印捺 57  | 元興／ 45   | 使印 867  |
| 印判 359・534   | 偽印 741   | 寺印 45・92・474・503・511  |
| 印盤 178・242・380・521・<br>728・881                               | 京職印 14   | 璽印 1・2・737  |
| 印盤褥 99(内印)   | 御印 50・259・365・367・384・<br>386・387・397・403・405・<br>406・408・414・421・425・<br>426・428・521                | 職印 783・787・866  |
| 印板 728・824・829   | 刑部／ 17   | 職家印 127   |
| 印盤鑑 297  |  |   |
| 印櫃 504・622・728・881   |  |   |
| 印文 131・132・409・729・<br>753・763・772・773・798・799               |  |   |
| 印符 230・741・742   |  |   |
| 印封 128・738・744・784・881                                       |  |   |

式部／ 17  
 執印 115・116・537・554・  
 715・716・718・719・733・  
 752  
 四天王／ 45  
 治部／ 17  
 治部省印 44  
 朱印 847  
 主計(寮)／ 56  
 主神司印 807  
 主税(寮)／ 56  
 署印 70・91・167・318・363・  
 410・507・762・776・800・  
 846・851・856・881  
 暑印 801  
 掌印 68(主典代)  
 省印 70・141・148・448・466・  
 473・764・776・791・825・  
 844・845・850・855・860  
 正倉印 22・23(→印)・24・25  
 諸国印 7・752・777・783・831・  
 884  
 諸国符印 10  
 諸司印 783・831・884  
 諸司諸国印 826  
 諸司諸国之印 735  
 諸司之印 121  
 所司之印 70  
 諸陵／ 90  
 白符 476  
 新印樣 5  
 臣家之印 121  
 尋常政印 404  
 新薬師／ 45  
 崇福／ 45  
 正印 232・408・714・717  
 節度使／ 21  
 籤符印 812  
 倉印(23)・535・853・881  
 奏印 72  
 僧綱／ 15・29・45  
 僧綱印 53  
 造印 408  
 造兵司／ 125  
 大安／ 45  
 台印 140  
 大學寮印 81  
 大膳職印 69  
 宅私印 177  
 大宰府印 722・723・724・725  
 大宰府管内諸司印 30  
 太政官印 18・36・47・70・83・

751  
 太政官之印 783  
 多祢嶋印 12  
 彈上台／ 140  
 畜産印 735  
 鑄印 82(冷然院)・107(美作国)・  
 108(尾張国)・826  
 中宮御印 317・344  
 中宮職御印 345  
 中台印 135  
 調印 835  
 勅印 119  
 鎮西府印 26  
 司印 781  
 凶書／ 90  
 鉄印 8  
 伝印 3  
 踏印 78・85・101・149・150・  
 237・753・776・843・867・874  
 銅印 105・109・111・114・  
 117・123・125・126・129・  
 130・131・133・137・138・  
 142・143・153・157・161・  
 161(壺)・314・459・502・883  
 道鏡印 44  
 春宮／ 17  
 東宮御印 443  
 春宮職印 100・106  
 春宮坊／ 521  
 春宮坊印 160  
 当国印 13・475  
 藤氏長者印 652  
 東大／ 45  
 東大寺印 112・500  
 懐印 748  
 土佐国／ 142  
 内(印) 364・370・411・412  
 内印 11・18・19・40・53・66・  
 163・234・297・307・310・  
 312・313・328・329・333・  
 369・373・374・375・376・  
 377・448・449・467・482・  
 485・720・731・732・734・  
 739・752・753・757・769・  
 775・776・780・781・783・  
 785・787・790・806・808・  
 813・814・829・831・858・  
 867・877・878・884  
 内印盤褥 110  
 内印文 727  
 内外印 27・218・225・226・  
 369・392・420・438・809

内外之印 113  
 内外之三印 139  
 内外諸司印 815  
 内宮政印 175  
 内侍印 862・864  
 内侍司印 65  
 内侍所印 727  
 捺印 50・54・74・75・78・101・  
 120・121・127・141・163・  
 166・230・236・237・316・  
 351・352・354・356・441・  
 476・504・712・722・753・  
 775・776・777・779・805・  
 810・824・840・880・881  
 女官厨／ 114  
 納印 230・807・881  
 馬牛印 55(私)・884  
 白銅印 21  
 隼人司／ 117  
 判印 102・103・531・532  
 東市司／ 94・109  
 肥後国／ 138  
 左相撲司印 93  
 備中国採銅使／ 153  
 兵部／ 17  
 府印 722  
 符印 745・746  
 封印 491・786  
 符節印 743  
 文印 881  
 法王宮職印 43  
 坊御印 521  
 法隆／ 45  
 法華／ 45  
 本司印 89・91・101・781・783  
 美作国／ 107  
 民部／ 17  
 武蔵国／ 131  
 陸奥鎮守府印 80  
 陸奥国／ 123  
 木印 4・58・324  
 焼印 52  
 鑑印 432  
 薬師／ 45  
 悠紀主基行事所印 136  
 寮印 56・807・830・852・857  
 鈴印 28・31・32・35・37・38・  
 39・41・42・49・99・145・323・  
 442・545・627・753・754・  
 771・774・778・784・796・  
 871・874  
 冷然院／ 82